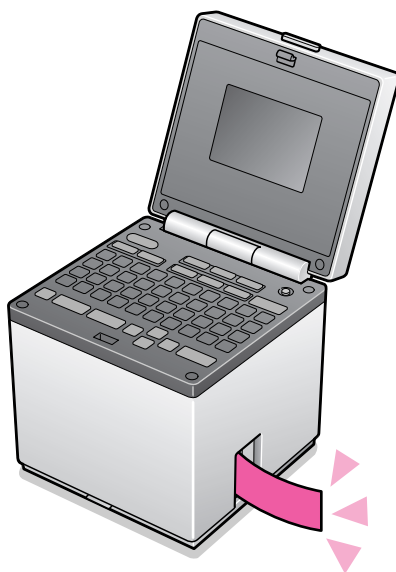


# TEPRA

## PRO



# SR600

## 取扱説明書

# はじめに

このたびは、ラベルライター「テブラ」PRO SR600をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は「テブラ」PRO SR600の使いかたを、「準備編」「使いかた編」「機能編」「活用編」に分けて説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。

取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。いつもお手元においてご利用ください。

「テブラ」PRO SR600を本書とともに未永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- この製品は、日本国内専用です。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

## !! 注意 !!

- 本機で保存する文章などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「テブラ」で得られるラベルについて  
塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。  
なお、これによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

「キングジム」、KING JIM、「テブラ」、「テブラ」PRO、P テープマークはいずれも株式会社キングジムの登録商標です。

「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。




その他記載の会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

# 安全上のご注意…必ずお守りください！




お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。

 <b>危険</b>	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

	⚠ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	⊘ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	❗ 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

## 危険

### 電池の取り扱いについて



電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。



## 警告

### ACアダプタについて



同梱の専用ACアダプタ（AC1116J）以外のアダプタは、使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



ACアダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



ACアダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。



## 警告

### 電池の取り扱いについて



電池の(+)と(-)を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。



電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。



新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。



長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。



電池の使いかたを誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。



### その他



本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ぬれた手で本機やACアダプタ、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。



本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶったり、飲み込んだりしないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。



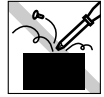
本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水をこぼした場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



## 警告



本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。



## 注意

### 電池の取り扱いについて



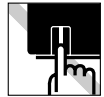
電池の使いかたを誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。



### オートカッターについて



印刷中もしくはカッター作動中にテープ出口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。



### その他



本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをすおそれがあります。



電源が入っている状態でACアダプタを抜かないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



### 「テプラ」で得られるラベルについて



塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



## テープカートリッジ取り扱いについてのご注意

- テープカートリッジを落としたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。
- テープ出口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。
- テープカートリッジは直射日光、高温、多湿、ホコリを避け、冷暗所に保管してください。  
テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。



### MEMO

使用済みのカートリッジには、印刷済みのインクリボンが入っています。  
印刷済みのインクリボンが必要に応じてお手元で廃棄してから回収に出してください。

### テープカートリッジの回収およびリユース（再利用）について

当社では使用済み「テブラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。使用済みの「テブラ」テープカートリッジはお近くの「テブラ」取扱店の「回収BOX」までお持ちください。なお、「エコマーク商品」（ラベルにエコマークが表示されているテープカートリッジ）については、当社にてリユース（再利用）をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、お近くの「テブラ」取扱店の「回収BOX」までお持ちください。



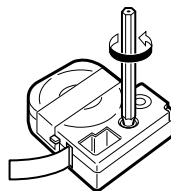
## テープカートリッジをセットするときのご注意

テープカートリッジをセットするときは、以下の注意をお守りください。

### ■ セット前に、必ずインクリボンのたるみを取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いてたるみを取ってください。

インクリボンにたるみがあると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破れたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



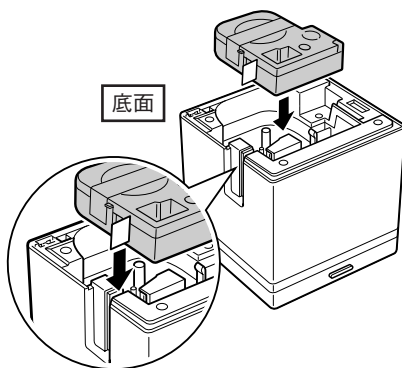
### ■ 正しく本機にセットする

本体を裏返して下カバーを取りはずし、テープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。

正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。

新品のテープカートリッジやテープの先端が長めに出ているテープカートリッジを本機にセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミソに通します。

テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



### ■ セットした直後は必ず「テープ送り」をする (Shift + Print)

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンにたるみが発生します。そのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

「テープ送り」または「送りカット」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照 P.29「5. テープ送りをする」

## その他のご注意

- 本機の使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。
- ACアダプタは、使い終わったら本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるとの思わぬ事故を防げます。
- 直射日光のあたる場所、車内など熱がこもる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所での使用、保管はおやめください。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
- ACアダプタ差込み口、テープ出口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。
- 印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。
- テープカートリッジは、必ずPテープマークのついた専用のテープカートリッジをご使用ください。点字テープカートリッジ（DL規格）は、お使いになれません。
- 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに **Print** を押したりすることはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。
- テープ送りは、必ず **Shift** + **Print**（＝テープ送り）でおこなってください。無理に手で引っ張ったりすることは、絶対におやめください。テープ出口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。
- テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。
- キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。
- テープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- テープをハサミで切るときに指をはさまないように注意してください。
- オート・パワーオフ機能に頼らず、ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。
- 長期間使わないときは、電池、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。
- 長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
- 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。
- 取扱説明書に記載された内容、仕様、デザインなどは予告なく変更されることがあります。



# 本書の使いかた

## 本書の構成

本書は次のような構成になっています。

### 準備編

本機を使用する前の準備作業について説明しています。

### 使いかた編

「使いかた編」では、文字入力の基本操作と段落の追加などテキスト画面での操作について説明しています。初めて「テブラ」PROシリーズをお使いになる方は、順を追って読まれることをおすすめします。

### 機能編

ラベルの見栄えをよくする機能や、フォーム機能など、デザイン性の高いラベルを作っていただくための情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。「使いかた編」の内容を十分に理解されたうえでお読みくださるようお願いいたします。

### 活用編

ファイル、あて名といった各種登録機能など、「テブラ」をさらに使いこなしていただくための情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。

## 本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【 表記 】	【 説明 】
①、②	操作の手順を示しています。
M、FO	文字ボタンを示しています。 ボタン上側の文字は省略して表記している場合があります。
文字サイズ、縦・横、編集	機能ボタンを示しています。
◀ ▶ ▲ ▼	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
参照 ↗	関連する事項の参照ページを案内しています。
<b>MEMO</b>	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
<b>!! 注意 !!</b>	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

ラベル見本について：本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

# 目次

## はじめに

安全上のご注意…必ずお守りください！	1
テープカートリッジ取り扱いについてのご注意	4
テープカートリッジをセットするときのご注意	5
その他のご注意	6
本書の使いかた	7
本書の構成	7
本書の見かた	7
同梱品の確認	10
別売品のご案内	11
まず使ってみよう	
…すぐ使いたい人のために	12
「テブラ」PRO SR600の特長	14

## 準備編

各部の名前とはたらき	16
本機各部の名前（表）	16
本機各部の名前（背面）	16
本機各部の名前（底面/内部）	17
操作パネルの名前とはたらき	18
ディスプレイの見かたとはたらき	20
ディスプレイ（画面）の見かた	20
表示の切り換え（みえ <sup>2</sup> ）	22
バックライトの切り換え	23
表示濃度を調整する	23
使う前の準備	24
1. ACアダプタを接続する	24
2. 電池（別売）を入れて使用するときは	24
3. テープカートリッジをセットする	26
4. 電源を入れる	28
5. テープ送りをする	29

## 使いかた編

文字を入力する （文字入力～ラベルの完成まで）	32
文字入力をはじめる前に	32
入力状態の切り換え	34
文字を入力する	35
長い文章を変換する	38
変換する「読み」の長さを変える	38
英字を入力する	39
スペースを入力する	40
記号を入力する	40

印刷イメージを確認する （プレビュー）	41
印刷する	42
ラベルを貼る	43
使い終わったら（電源を切る）	44
文章を作る	45
カーソルボタンの使いかた	45
文章を入力する	45
文字を削除/挿入する	46
すべての文章を消去する	46
行を増やす（改行）	47
新しい行を作る	47
文字を次行に移動する	48
改行を取り消す	48
段落を増やす（改段落）	49
新しい段落を作る	49
段落を分割する	50
特定の段落を消去する	50

## 機能編

ラベルの向きを変える（縦・横）	52
$\square$ 「縦・横」を使う	52
文字サイズを指定する	54
$\square$ 「文字サイズ」を使う	54
ラベルの見栄えをよくする ～装飾機能を使おう～	55
機能を指定する	56
メニュー一覧	58
機能の説明	63
デザインされたラベルを呼び出す （フォーム）	73
ラベルの作りかた	73
フォーム/特殊フォームメニュー一覧	76
フォーム見本	77

## 活用編

文章を呼び出す・登録する（ファイル）	88
$\square$ 「ファイル」メニュー	88
ファイルを登録する	89
ファイルを呼び出す	90
ファイルを消去する	91
最近印刷した文章を呼び出す	92
印刷履歴を呼び出す	92
印刷履歴を消去する	92
名前や語句を登録する （あて名/名前/辞書）	93
あて名ラベルを作る	93

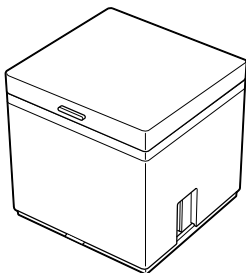
あて名を登録する	94
あて名を修正する	95
あて名を消去する	95
あて名を複写する	96
あて名ラベルを印刷する	96
カスタマバーコードについて	97
名前を登録する	99
名前を修正する	100
名前を消去する	100
名前ラベルを印刷する	101
変換できない語句を登録する (辞書の登録)	102
語句を呼び出す	102
辞書の語句を修正する	103
辞書の語句を消去する	103
外字を使う	104
外字を作成し、登録する	106
外字を修正する	107
外字を呼び出す	107
外字を複写する	108
外字を消去する	108
外字を参照作成し、登録する	109
読みのわからない漢字を入力する	110
漢字検索メニュー一覧	110
コードで入力する	111
部首による漢字検索	112
連番やバーコードを印刷する	113
連番・バーコードメニュー一覧	113
連番を印刷する	114
バーコードを印刷する	116
QRコードを印刷する	118
特殊な印刷(てが?)	120
特殊印刷メニュー一覧	120
テープ幅より大きなラベルを作る (てが?)	121
鏡文字を印刷する	123
印刷設定	124
印刷設定メニュー一覧	124
「自動カット」を設定する	125
印刷濃度を調整する	126
印刷設定をリセットする	126
環境設定を変更する	127
環境設定メニュー一覧	127
学習内容を初期化する	128
各種の初期値(保存値)を設定する	129
保存値を変更する	130
本機を初期化する	131
初期化する	132
デモ印刷をする	133

## 付録

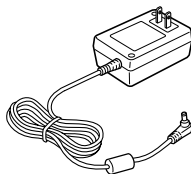
メニュー一覧	136
記号メニュー一覧	136
テープ送りメニュー一覧	138
消去メニュー一覧	138
テープカートリッジを使いかわける	139
こんな表示が出たときは	140
ディスプレイが消えたときは	140
エラーメッセージが 表示されたときは	140
故障かな?と思ったら	142
正常な動作をしない	142
Ⓜを押してもディスプレイに 何も表示されない	142
ディスプレイが消える	142
Ⓜを押しても何も印刷されない	142
文字がきちんと印刷されない	143
ラベルを印刷後、自動カット されない	143
文章の途中までしか印刷されない	143
ファイルの内容が消えてしまった	143
ラベルを貼り付けることができない	144
お手入れについて	145
ヘッド・クリーニングテープ(別売) を使う	146
入力文字一覧表	147
文字ボタン配列	147
入力文字表	147
入力文字表(かなめくり入力)	148
漢字変換表	149
JIS第1水準	149
JIS第2水準	153
その他	156
記号一覧表	157
ローマ字変換表	162
おもな仕様	163
索引	165
アフターサービスについて	172

# 同梱品の確認

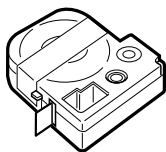
同梱品がすべて揃っているか、確認してください。



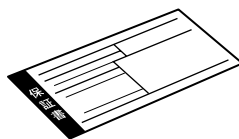
「テプラ」PRO SR600本体



ACアダプタ (AC1116J)



試用PROテープカートリッジ  
(18mm幅)



保証書  
(箱の側面に添付)



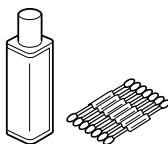
SR600取扱説明書 (本書)

## MEMO

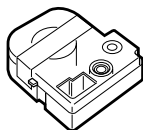
本機には、電池は同梱しておりません。電池でお使いになる場合は、単3形アルカリ乾電池（6本）をお買い求めください。

# 別売品のご案内

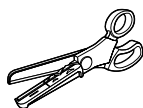
本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。



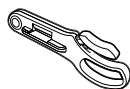
**ヘッド・クリーニングキット (RC15)**  
印刷ヘッド専用クリーニング液です。



**ヘッド・クリーニングテープ (SR24C)**  
「テブラ」本体のヘッドクリーニング用のテープです。



**トリマー (RT36W)**  
ラベルのカドを丸くカット。ハガレに強く、見た目も美しい「カド丸」仕上げになります。4～36mm幅のラベルに対応します。ラベルの前後余白調整にも便利です。  
※本機の対応ラベルは4～24mm幅です。



**ハーフカッター (RH24)**  
ラベルの印刷面にスリットを入れて、ラベルの裏紙をはがしやすくします。



**ラベルラミネーター (RL18)**  
9mm～18mm幅のラベルをセットしてフォルムを引き出すと、ラベルの表面に透明のラミネートを施すことができます。  
表面を保護し、薬品、油、こすれなどからラベルを守ります。  
※4mm幅、6mm幅のテープには対応していません。

## MEMO

詳細については、当社ホームページ（アドレス <http://www.kingjim.co.jp/>）をご覧くださいか、  
またはお買い上げ販売店、「テブラ」取扱店、当社お客様相談室にお問い合わせください。  
参照 P.172「アフターサービスについて」

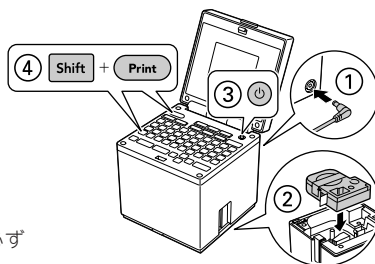
# まず使ってみよう...すぐ使いたい人のために

ラベル作成の準備をします。参照 P.24「使う前の準備」

準備

- 1 ACアダプタを本機に接続する
- 2 テープカートリッジをセットする
- 3 電源を入れる
- 4 テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は必ずテープ送りをしてください。



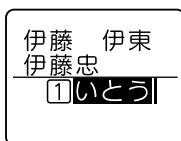
印刷する文字を入力します。参照 P.35「文字を入力する」

文字を入力する (例: 伊藤)

- 1 を押して、「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ



- 2 文字を入力する→仮確定文字 (ネガ表示) で入力されます



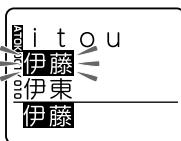
ローマ字入力:

かな入力:

※ 入力直後は で予測入力の候補から単語を選択できます。

参照 P.37「予測入力を使う」

- 3 「伊藤」が表示されるまで を押す



候補が表示されます。

を押すたびに候補が変わります。


- 4 を押す→「伊藤」が確定します




行頭マークが に変わります。

さらに、外枠をつけたり、書体などを変更するとラベルの見栄えが良くなります。


参照  P.51「機能編」

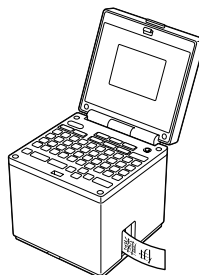
ラベルの向きを変えるには：参照  P.52

文字のサイズを変えるには：参照  P.54


印刷する

**1** **Print**を押す→ラベルが印刷されます

印刷終了後、テープは自動カットされます。  
テープは絶対に手で引っ張らないでください。  
参照  P.42「印刷する」



ラベルを貼る

**1** 裏紙をはがし、しっかりとこすって貼り付ける  
参照  P.43「ラベルを貼る」



# 「テプラ」PRO SR600の特長

## ■ 日本語入力システム「ATOK」を搭載

「ATOK」はラベル表示に適したオプション辞書を備えたテプラ用日本語変換システムです。「予測入力機能」により、入力の途中で予測候補を次々に表示してスムーズな入力を支援します。「連文節変換機能」により、高度な変換精度を実現しています。

## ■ 明るいバックライトディスプレイ

バックライト付き液晶画面で見やすく表示。テキストの編集がスムーズです。

## ■ 確認しやすい「みえ<sup>2</sup>」画面表示

ラベルの「できあがり」イメージがいつも画面に表示されているから、文字の配置やラベルの長さを確認しながらラベル編集ができます。

## ■ QRコードのラベル作成に！

文字を入力するだけで簡単にオリジナルのQRコードをつくれます。他にもJAN-13など多くのバーコードを印刷できます。

## ■ オートカッターで手間いらず！

印刷後にラベルを自動カット。手間がかかりません。

## ■ 豊富な記号・イラスト

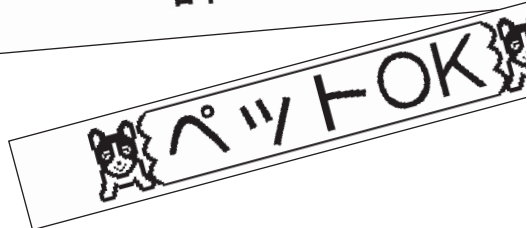
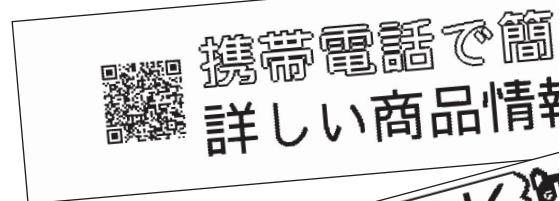
「お店」「学校」「病院」などカテゴリー別の記号を多数用意しました。POPに便利な「イラスト」も充実。

## ■ CUBEデザイン

洗練された空間に調和するおしゃれな「キューブデザイン」。ディスプレイをたたんでおけば、机の上のオブジェのよう！  
オフィスで力強く仕事をサポートする小物になります。

## ■ 選べる漢字5書体+かな9書体+英数11書体

明朝体・ゴシック体に加え太ゴシック体・行書体・隷書体を用意。かな書体にはさらにえれん・ハッピー・あしび・てまりを加えた9書体を搭載！  
英数書体では明朝体・ゴシック体・太ゴシック体・行書体・隷書体・HV体・CR体・BR体・PL体・ST体・CB体の11書体を装備。用途に合わせて、表現力が広がります。



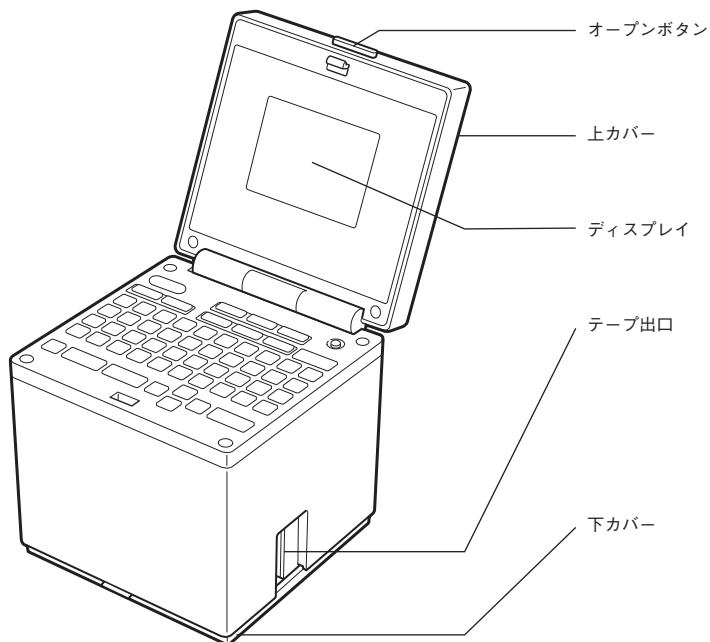


# 準備編

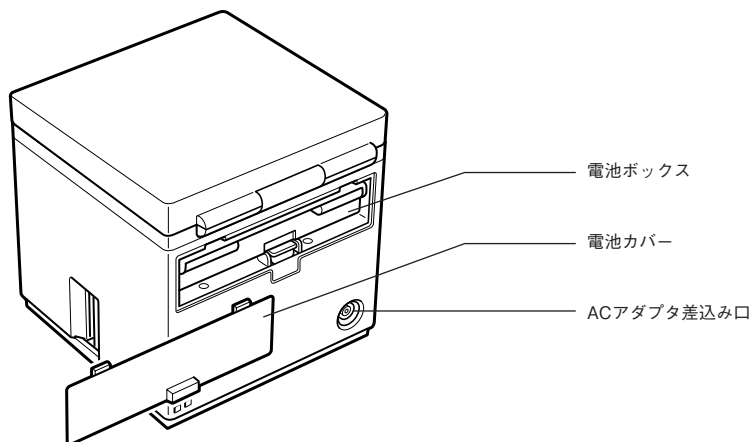
本機にACアダプタを接続し、電源を入れます。  
本機をはじめてお使いの方は、ここからお読みください。

# 各部の名前とはたらき

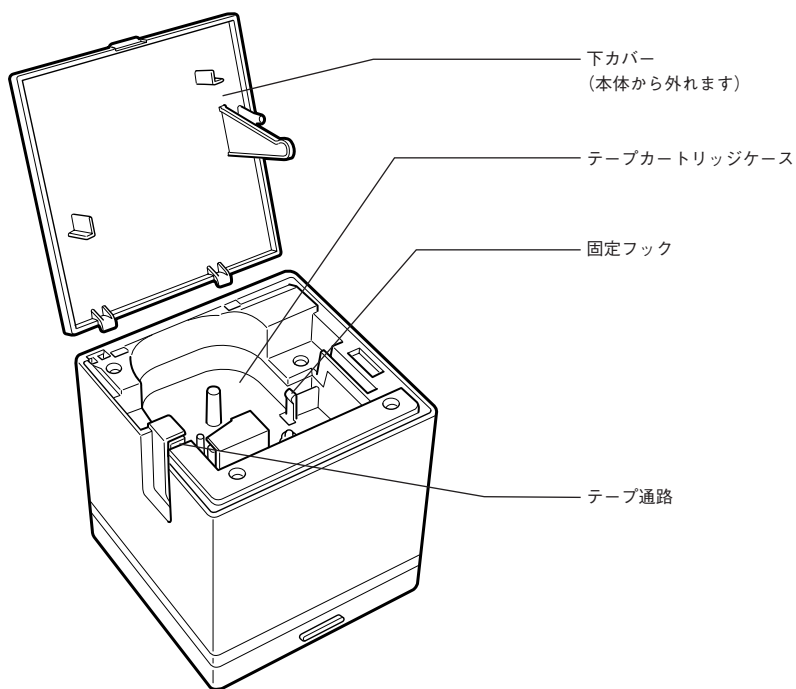
## 本機各部の名前（表）



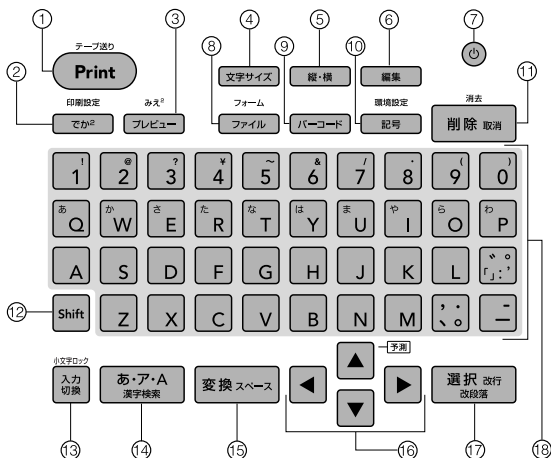
## 本機各部の名前（背面）



## 本機各部の名前（底面/内部）



# 操作パネルの名前とはたらき



各ボタンの機能を説明します。**Shift** + となっている表記は、**Shift**を押しながらそのボタンを押したときの機能です。

## ① **Print** (プリント)

テキストをテープに印刷し、テープを自動的にカット (オートカット) します。

参照 P.42

**Shift** + **Print** (=テープ送り)

テープを約18mm空送りしたり、カットします。

参照 P.29

## ② **でか** (特殊印刷)

拡大印刷、鏡文字印刷をします。

参照 P.120

**Shift** + **でか** (=印刷設定)

自動カットや印刷濃度を設定します。

参照 P.124

## ③ **プレビュー** (プレビュー)

印刷イメージを確認します。

参照 P.41

**Shift** + **プレビュー** (=みえ<sup>2</sup>)

テキスト画面の表示を切り換えます。

参照 P.22

## ④ **文字サイズ** (文字サイズ)

文字サイズを指定します。

参照 P.54

## ⑤ **縦・横** (縦・横)

たて書き/よこ書きを切り換えます。

参照 P.52

## ⑥ **編集** (編集)

文字の装飾やラベルレイアウト、ラベルの長さ、文字サイズなどを指定します。

参照 P.55

## ⑦ **電源**

電源を ON/OFFします。

参照 P.28

## ⑧ **ファイル** (ファイル)

文章の保存、呼び出しや印刷履歴の呼び出し、あて名、名前、辞書を登録します。

参照 P.88

**Shift** + **ファイル** (=フォーム/特殊フォーム)

デザインフォームや特殊フォームを呼び出します。

参照 P.73

## ⑨ **バーコード** (連番・バーコード)

連続番号やバーコードを入力します。

参照 P.113

## ⑩ **記号** (記号)

記号の入力や外字を登録します。

参照 P.40、104

**Shift** + **記号** (=環境設定)

画面の表示設定や各種保存値を変更します。

参照 P.23、127

11 **削除取消** (削除、取消)

カーソル位置 (カーソルの左側) の文字を削除します。各種機能の操作中は操作が取り消されます。

参照 P.46

**Shift** + **削除取消** (=消去)

段落や文章を消去します。

参照 P.46

12 **Shift** (シフト)

機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上部に書かれた機能になり、文字ボタンと一緒に押すと、小文字や英記号が入力できます。

13 **入力切換** (入力切換)

入力状態を「ローマ字→かな→ABC」の順で切り換えます。

参照 P.34

QRコードの用途「一般」では「ローマ字→かな→ABC【半角】→ABC」の順で切り換えます。

参照 P.118

「ABC入力」時のみ

**Shift** + **入力切換** (=小文字ロック)

小文字入力状態に切り換えます。

参照 P.39

14 **あ・ア・A** (無変換)

ネガ文字がある場合、「ローマ字入力」時は押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に、「かな入力」時は「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。

参照 P.35

機能選択は、1つ前の選択肢を表示します。

**Shift** + **あ・ア・A** (=漢字検索)

読みのわからない漢字を検索します。

参照 P.110

ネガ文字がある場合、「ローマ字入力」時は押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に、「かな入力」時は「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。

参照 P.35

15 **変換スペース** (漢字変換、スペース入力)

ネガ表示のひらがなを漢字に変換します。ネガ文字がないときは、スペースを入力します。ATOK変換画面では、次の変換候補を表示します。

参照 P.33

16 **◀ ▶ ▲ ▼** (カーソルボタン)

カーソルや選択候補を上下左右に移動します。

参照 P.45

ATOK予測入力画面では **▲ ▼** で予測候補を選択します。

ATOK変換画面では **◀ ▶** で変換対象の文節長さを変更し、**▼** で確定します。

参照 P.33

**Shift** + **◀ ▶ ▲ ▼** (=カーソルジャンプ)

カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。

参照 P.45

ATOK変換画面では変換対象の文節を切り換えます。

参照 P.33

17 **選択改行** (選択、改行)

機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。ネガ文字がないときは、新しい行を作ります (改行)。

参照 P.47

**Shift** + **選択改行** (=改段落)

新しい段落を作ります。

参照 P.49

18 **文字ボタン** (**T** **E** **P** **R** **A** など)

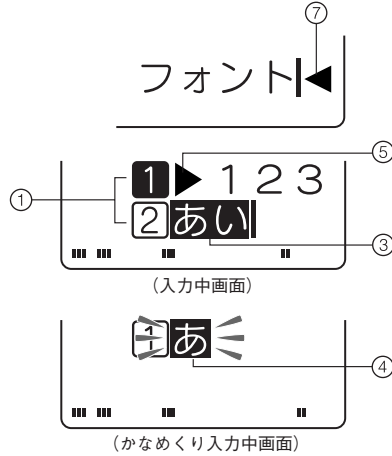
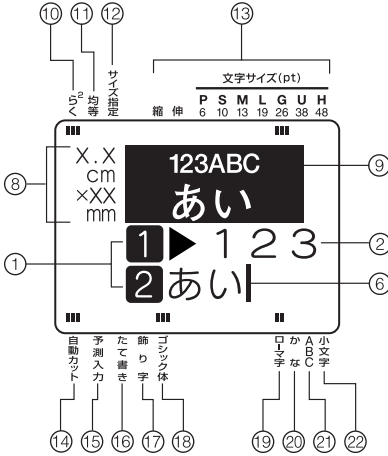
文字を入力します。

参照 P.35

# ディスプレイの見かたとはたらき




## ディスプレイ（画面）の見かた

### ■ テキスト画面



- ① 行頭マーク (1 2...X, 1 2...X)  
行頭に表示され、何行目かを示します。1、2は印刷できる行を表し、1、2はその行に文字がまだ入力されていない（確定していない）ことを表しています。  
X、Xは印刷できない行を表しています。  
Xが表示されているときは、印刷できません。  
参照 P.47
- ② 確定文字（例：123）  
入力が確定した文字で、印刷されます。
- ③ ネガ文字（例：あい）  
仮確定の文字で、印刷されません。[変換]で漢字、カタカナ、英数字に、[あ・ア・A]でひらがな、カタカナ、英字に変換できます。
- ④ 点滅文字  
かなめくり入力途中の未確定の文字で、同じボタンを連続して押すと文字候補が順に表示されます。  
点滅表示の文字は、印刷されません。
- ⑤ 文字モード指定マーク (▶)  
文字、行、段落単位で、書体、飾り字などの機能を変更すると表示されます。  
参照 P.57

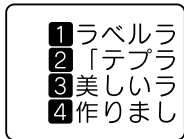
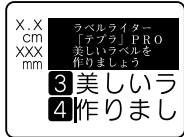
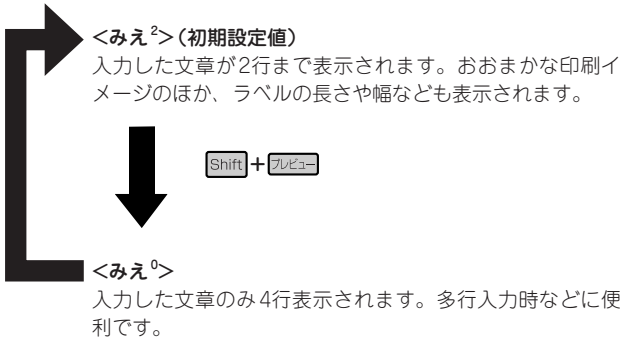
- ⑥ カーソル (|)  
操作を実行する場所を示します。カーソル位置を基準に、文字や記号を挿入したり削除できます。  
参照 P.45
- ⑦ フルメモリーマーク (◀)  
入力可能文字数（約175文字）をオーバーして、これ以上文字が入力できないときに表示されます。
- ⑧ 印刷情報  
セットされているテープ幅と印刷したときの目次の長さを表示します。「みえ<sup>2</sup>」の設定によっては表示されないこともあります。  
参照 P.22
- ⑨ 印刷イメージ  
印刷したときのイメージを表示します。「みえ<sup>2</sup>」の設定によっては表示されないこともあります。  
参照 P.22
- ⑩ 自動/らく<sup>2</sup>インジケーター  
文字サイズが「自動-らく<sup>2</sup>」に指定されているときに点灯します。
- ⑪ 自動/均等インジケーター  
文字サイズが「自動-均等」に指定されているときに点灯します。

- ⑫ **サイズ指定インジケータ**  
文字サイズが「自動」以外に指定されているときに点灯します。
- ⑬ **文字サイズインジケータ**  
カーソル位置の文字のサイズに対応したインジケータが点灯します。  
数字はポイント数 (pt) を表しています。  
\*1ptは約1/72インチ (約0.35mm) です。
- ⑭ **自動カットインジケータ**  
自動カットが「する」に指定されているときに点灯します。
- ⑮ **予測入力インジケータ**  
文字入力中、予測候補が表示されているATOK予測入力画面のときに点灯します。
- ⑯ **たて書きインジケータ**  
「たて書き」が指定されているときに点灯します。
- ⑰ **飾り字インジケータ**  
カーソル位置の文字に飾り字が指定されているときに点灯します。
- ⑱ **書体インジケータ**  
カーソル位置の文字にゴシック体が指定されているときに点灯します。
- ⑲ **ローマ字入力インジケータ**  
入力切換が「ローマ字入力」状態のときに点灯します。
- ⑳ **かな入力インジケータ**  
入力切換が「かな入力」状態のときに点灯します。
- ㉑ **ABC入力インジケータ**  
入力切換が「ABC入力」状態のときに点灯します。  
QRコード入力時の「ABC入力【半角】」状態のときに点滅します。  
参照  P.118
- ㉒ **小文字入力インジケータ**  
 を押しているときや、小文字入力状態のときに点灯します。  
参照  P.39

## 表示の切り換え（みえ<sup>2</sup>）

本機では、入力した文章や印刷イメージ、できあがるラベルの長さや幅を確認しながら入力することができます。

**Shift**を押しながら**プレビュー**（＝みえ<sup>2</sup>）を押すと、ディスプレイの表示が交互に切り換わります。



### !! 注意 !!

- **Shift**を押しながら**プレビュー**（＝みえ<sup>2</sup>）で表示が切り換わるのは、テキスト画面のときだけです。メニュー画面や漢字変換候補の表示中は切り換わりません。  
 参照 P.20「ディスプレイ（画面）の見かた」
- 広い幅のテプセット時やテキストによっては、「みえ<sup>2</sup>」表示の反応が遅くなることがあります。

### MEMO

- **プレビュー**を押すと、ディスプレイ全体に印刷イメージを流れるように表示します。  
 参照 P.41「印刷イメージを確認する（プレビュー）」
- ディスプレイが見えにくいときは、表示濃度を調整することができます。  
 参照 P.23「表示濃度を調整する」

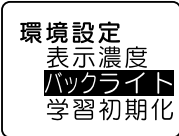


## バックライトの切り換え

ディスプレイのバックライトはON/OFFできます。バックライトをONにすると表示が見やすくなりますが、単3形アルカリ乾電池で使用するときなどは、OFFにすると電池を節約できます。

- 1 **Shift** を押しながら **記号** (=環境設定) を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

- 2  **環境設定**  
**表示濃度**  
**バックライト**  
学習初期化
- ▲▼で「バックライト」を選び、**選択改行**を押す

- 3  **バックライト**  
**ON**  
OFF
- ▲▼でON/OFFを選び、**選択改行**を押す
- 初期設定値は「ON」に設定されています。

バックライトが設定され、テキスト画面に戻ります。

### MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、**削除取消**または**記号**を押し、操作を戻します。
- バックライトは、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。

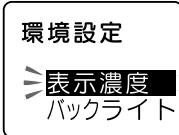
参照 P.131「本機を初期化する」

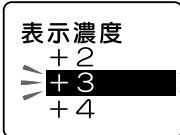
## 表示濃度を調整する

ディスプレイの表示濃度は「-5～ふつう～+5」の11段階で設定できます。ディスプレイの表示が見にくい場合は、次の手順で調整します。

- 1 **Shift** を押しながら **記号** (=環境設定) を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

- 2  **環境設定**  
**表示濃度**  
バックライト
- ▲▼で「表示濃度」を選び、**選択改行**を押す

- 3  **表示濃度**  
+2  
**+3**  
+4
- ▲▼で濃度を調整し、**選択改行**を押す
- 初期設定値は「ふつう」に設定されています。

表示濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。

### MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、**削除取消**または**記号**を押し、操作を戻します。
- 表示濃度は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。参照 P.131「本機を初期化する」

# 使う前の準備

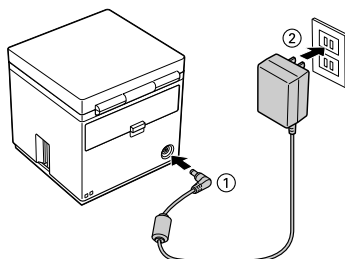
## 1. ACアダプタを接続する

同梱のACアダプタ（AC1116J）で、家庭用コンセント（AC100V）から電源を取ります。

### ① ACアダプタのプラグを本機背面のACアダプタ差込み口にしっかりと差し込む

※ 差し込みが不十分だと電源が入らない場合があります。

### ② ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む



### !! 注意 !!

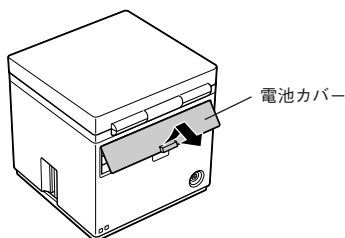
- 使い終わったらすぐにACアダプタを本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
- ACアダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げたりすると、断線することがあります。
- プラグのショートなどにより、安全機能がはたらきACアダプタの回路が遮断されることがあります。
- ACアダプタは保証対象外です。

## 2. 電池（別売）を入れて使用するときは

本機に単3形アルカリ乾電池6本（別売）をセットします。外出先などでACアダプタを使えないとき、この電池を電源にして印刷できます。

### ① 電池カバーをはずす

電池カバーのつまみ部分を持ち上げてはずします。

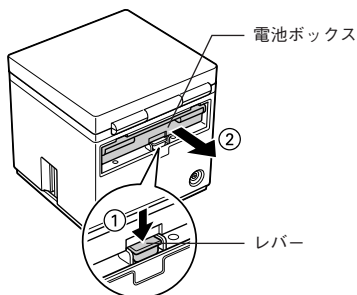


### !! 注意 !!

- 必ず、電源を切ってからおこなってください。
- 上カバーは閉じた状態でおこなってください。

**2 電池ボックスをはずす**

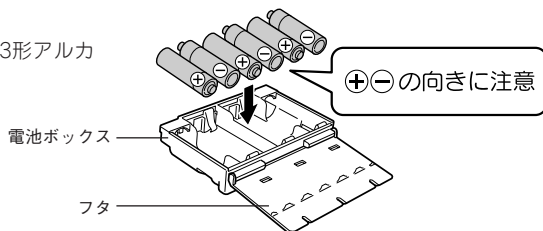
レバーを下げながら電池ボックスを引き出します。

**MEMO**

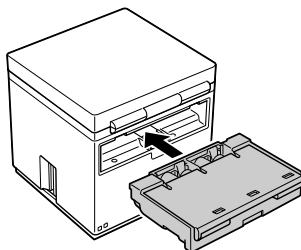
電池ボックスを引き出しづらいときには、本体を傾けると取り出しやすくなります。

**3 電池を入れる**

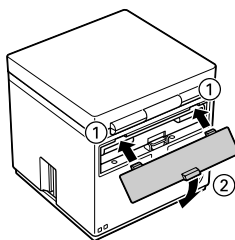
電池ボックスのフタを開けて、単3形アルカリ乾電池6本を入れます。

**4 電池ボックスをセットする**

電池ボックスのフタを閉め、電池ボックスの向きに注意して奥まで押し込みます。正しくセットされると、レバーで固定されます。

**5 電池カバーをはめる**

電池カバーの上の爪を本機のカバーに合わせ、しっかりカバーをはめます。

**!! 注意 !!**

- 本機には単3形アルカリ乾電池をお使いください。その他の乾電池を使用したときは、乾電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことがあります。
- 電池でも印刷できるだけの電源容量がありますが、電池での印刷は大変不経済です。できるだけACアダプタをお使いください。
- ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ（AC1116J）をお使いください。

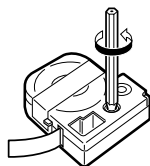
## MEMO

- 広い幅のテープに大きな文字を印刷する場合、一時的に大量の電力が消費されるため、新品の電池でも「電池を交換!」と表示されることがありますが、故障ではありません。
- 電池が消耗すると、印刷スピードが遅くなります。さらに使い続けるとディスプレイに「電池を交換!」と表示されます。直ちにすべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池(6本)に交換するか、ACアダプタ(AC1116J)をお使いください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。
- 新品の単3形アルカリ乾電池(6本)では、常温で18mm幅のテープカートリッジ(8m)を1本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、広い幅のテープに大きな文字を印刷したりすると、電池が早く消耗します。印刷時は、ACアダプタ(AC1116J)を利用することをおすすめします。
- ご使用後は必ず電源を切ってください。
- ディスプレイのバックライトをOFFにすると電池を節約できます。  
参照 P.23「バックライトの切り換え」
- 長期間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため電池を取り出して保存してください。
- 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従ってください。

## 3. テープカートリッジをセットする

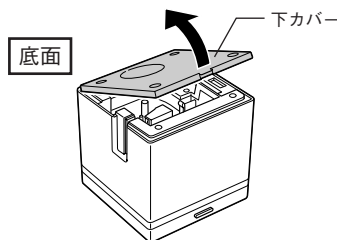
## ① インクリボンの「たるみ」を取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、「たるみ」を取ってください。



## ② 下カバーを開けて取りはずす

本体を裏返して、下カバーのつまみ部分を持ち上げて下カバーを取りはずします。



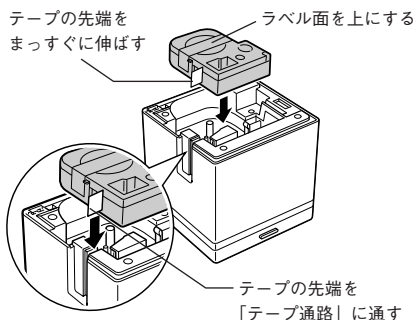
## !! 注意 !!

- 必ず、電源を切ってからおこなってください。
- 上カバーは閉じた状態でおこなってください。

## ③ テープカートリッジをセットする

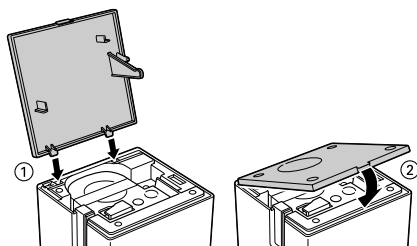
ラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。

テープの先端が長めに出ているときや新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」に通します。



**4 下カバーを取り付けて閉じる**

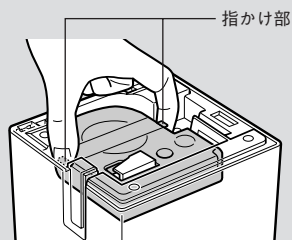
- ① 下カバーの2本の爪を本機のミソに差し込みます。
- ② 下カバーを閉じます。  
下カバーは指で軽く押しつけてしっかり閉じてください。

**!! 注意 !!**

- テープカートリッジをしっかり押し込まずに下カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- 下カバーはしっかり閉じてください。

**MEMO****テープカートリッジの取り出しかた**

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本体にしっかりと固定されています。取り出すときは、カートリッジ側面の指かけ部に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。

**!! 注意 !!**

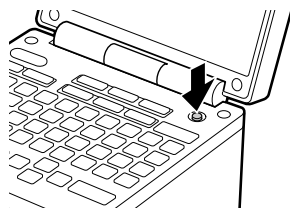
- テープカートリッジをしっかり押し込まずに下カバーを閉めると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- 本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mmの6種類の幅のテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。  
参照 P.47「テープ幅と印刷できる行数」
- テープカートリッジは、直射日光、高温、多湿、ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
- テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
- テープカートリッジは奥までしっかりセットしてください。
- 本機で使用できない幅のテープカートリッジをセットした場合や正しくセットしていない場合は、「テープ幅を確認して!」や「テープ無し!」と表示されます。本機で使用可能なテープカートリッジを正しくセットしてください。

## 4. 電源を入れる

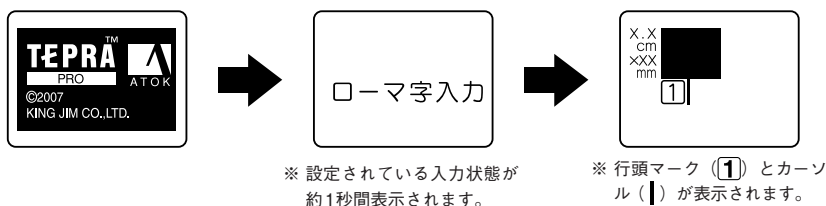
電源を入れる前にもう一度確認してください。

- ACアダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？
- 電池は正しくセットされていますか？(電池で使用する場合)

### ① (電源) を押す



電源が入るとバックライトが点灯し、タイトル画面が表示されます。



すでにテキストが入力されているときは、タイトル画面のあとにテキストが表示され、指定されている機能のインジケータが点灯します。

参照 P.20「ディスプレイ（画面）の見かた」

## MEMO

### オート・パワーオフ

電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます（電源が切れても入力した文章はなくなりません）。(電源) をもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。

外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。使わないときは、こまめに電源を切るとオート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。

## 5. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープの「たるみ」を取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

- 1 **Shift** を押しながら **Print** (=テープ送り) を押す  
「テープ送り」メニューが表示されます。

- 2 **▲▼** で「テープ送り」または「送りカット」を選ぶ

- 3 **選択 改行** を押す

「テープ送り」の場合は、テープが約18mm空送りされます。

「送りカット」の場合は、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます。

テープ送り  
テープ送り  
送りカット

### !! 注意 !!

「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンの「たるみ」が取れません。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

### 続いて

ラベルを作る準備が整いました。実際にラベルを作ってみましょう。

参照  P.32「文字を入力する」





# 使いかた編

～簡単なラベルを作ろう～

最初に簡単なラベルを作ってみましょう。

文字入力、印刷、改行など「テブラ」の基本操作を確認してください。

続いて文章を段落に分けるなど、レイアウトを工夫する機能を確認しましょう。

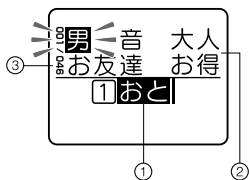
# 文字を入力する (文字入力～ラベルの完成まで)

## 文字入力をはじめる前に

本機は、日本語入力システム「ATOK」を採用しており、文字変換のときに予測入力がはたらきます。予測入力は、予測候補を次々に表示して、スムーズな入力を支援します。また、連文節変換により、高度な変換精度を実現しています。

### ■ ATOK予測入力画面の見かた

本機は、何文字かを入力した時点で、入力しようとする単語を予測し画面上に候補として表示します。予測候補が表示されている状態で $\blacktriangle$   $\blacktriangledown$ を押すと、候補を選択する予測入力画面になります。予測入力画面の見かたと使用できるボタンは以下の通りです。



#### ①入力文字

入力した文字がネガ表示されます。

$\text{選択 改行}$ を押すと、選択している入力候補で確定します。

#### ②予測入力候補一覧

予測される入力候補を表示します。ネガ表示の候補は、現在選択されている候補です。

#### ③予測候補番号/予測候補数

選択されている予測候補の順番と予測候補の総数です。

## ATOK予測入力画面で使用するボタン

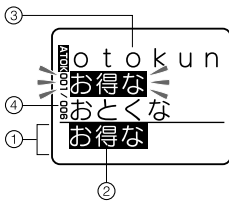
ボタン名	機能
$\blacktriangle$ $\blacktriangledown$	予測入力候補の選択、および次の予測入力候補の選択
$\blacktriangleleft$ $\blacktriangleright$	次の予測入力候補の選択
Shift + $\blacktriangleleft$ 、Shift + $\blacktriangleright$	最初の入力候補の選択
Shift + $\blacktriangledown$ 、Shift + $\blacktriangleright$	最後の入力候補の選択
$\text{選択 改行}$	入力候補の確定
$\text{変換 スペース}$	変換画面への移行 参照 P.33「ATOK変換画面の見かた」
あ・ア・A	ひらがな、カタカナ、英字（ローマ字入力の場合のみ）への変換
$\text{削除 取消}$	予測入力画面を終了し、テキスト画面に戻る テキスト画面では文字を削除する
文字ボタン	予測入力画面を終了し、テキスト画面で文字を入力する

$\blacktriangleleft$   $\blacktriangleright$ は、予測入力画面になる前のテキスト画面では、カーソルの移動動作になります。

$\text{Shift} + \text{■}$ となっている表記は、 $\text{Shift}$ を押しながらそのボタンを押す操作です。

## ■ ATOK変換画面の見かた

本機は、文字を入力した状態で **変換スペース** を押すと、変換候補を選択する変換画面になります。変換画面の見かたと使用できるボタンは以下の通りです。



### ① 仮確定文字

**変換スペース** を押したとき、変換対象となる入力部分が仮確定文字として表示されます。

### ② 変換対象

仮確定文字中、ネガ表示されている部分が現在の変換対象です。**▼** を押すと確定します。

### ③ 変換候補一覧

変換対象の変換候補を表示します。ネガ表示の候補は、現在選択されている候補です。

### ④ 変換候補番号 / 変換候補数

選択されている変換候補の順番と仮確定文字の変換候補数です。

## 文字の変換中に使用するボタン


ボタン名	機能
<b>変換スペース</b>	変換候補の表示、および次の変換候補の選択
<b>▲</b>	前の変換候補の選択
<b>Shift + ▲</b>	変換候補番号 001 の候補の選択
<b>▼</b>	変換対象を確定し、次の文節を変換対象とする
<b>◀</b>	変換対象の文節長さを短くする
<b>▶</b>	変換対象の文節長さを長くする
<b>Shift + ◀</b>	左の文節を変換対象とする（確定されていない場合のみ）
<b>Shift + ▶</b>	右の文節を変換対象とする
<b>あ・ア・A</b> 、 <b>Shift + あ・ア・A</b>	ひらがな、カタカナ、英字（ローマ字入力の場合のみ）への変換
<b>選択 改行</b>	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面へ戻る
<b>削除 取消</b>	確定されていない文節を「読み」にし、テキスト画面へ戻る
文字ボタン	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面に文字を入力する

**Shift + [ ]** となっている表記は、**Shift** を押しながらそのボタンを押す操作です。

# 入力状態の切り換え

文字入力をする前に、入力状態を確認してください。

## ■ 入力状態の切り換え

を押すたびに「ローマ字入力」→「かな入力」→「ABC入力」の順で文字入力状態が切り換わります。入力状態はインジケーターで確認できます。

参照  P.20「ディスプレイの見かたとはたらき」

## ■ 文字入力のしかた

### ローマ字入力

文字ボタンの 、、 でローマ字読みを入力します。

参照  P.162「ローマ字変換表」




### かな入力（かなめぐり方式）

文字ボタンの 、、 でかなを入力します。


1つの文字ボタンには、複数の文字が割り当てられています。文字ボタンを繰り返し押し、目的の文字を表示させます。

例：

押す回数 文字ボタン	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	……
	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ	ゃ	……

- 目的の文字を通り過ぎたときは  を押しながら文字ボタンを押すことで前の文字に戻すことができます（リバース機能）。
- 「や」と「よ」など、同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力する場合は、1文字目を入力したあとに、 または  を押してカーソルを移動します。

## ABC入力

文字ボタンを押す、または  を押しながら文字ボタンを押すことで直接入力します。

## MEMO

各文字ボタンに割り当てられている文字は、入力文字一覧表を参照してください。

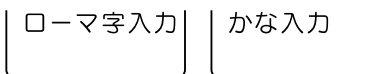
参照  P.147「入力文字一覧表」

# 文字を入力する

ひらがなは文字ボタンで入力します。漢字やカタカナは、「読み」をひらがなで入力してから変換します。

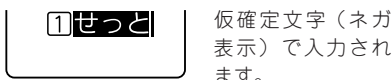
## ■ 入力例：セット

- 1 **入力**を数回押して「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ



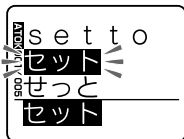
- 2 「せつと」を入力する

ローマ字入力： **S** **E** **T** **T** **O**  
かなめぐり： **せ** × 4回、  
**つ** × 6回、  
**▶** (または **選択**) × 1回 (=カーソル移動)、  
**つ** × 5回



- 3 **変換**を押す

変換対象の1番目の候補が表示されます。さらに **変換**を押すと、変換候補一覧が表示され、次の候補が選択されます。



- 4 「セット」になっている状態で **選択**を押す

「セット」が確定します。行頭マークが **1** から **1** に変わります。






















## MEMO

- 文字を間違えたときは、**削除**で文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 一度選択した語句は、次回から優先して表示されます(学習機能)。
- 「読み」を入力した直後に**選択**を押すと、ひらがなのまま確定します。
- 「かな入力」のとき、「っ」「と」のように、同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは**▶**または**選択**を押して前の文字をネガ表示にしてください。
- 入力した直後に**あ・ア**を押すと、「ローマ字入力」時は押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に、「かな入力」時は「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。また、**Shift**を押しながら**あ・ア**を押すと、「ローマ字入力」時は「英字→ひらがな→カタカナ」の順に、「かな入力」時は「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。変換後は、**選択**を押して確定します。
- 2文節目以降の語句を変換しなおす操作や変換対象の文節の長さを変える操作については、下記ページを参照してください。  
参照 [P.38](#)「長い文章を変換する」  
参照 [P.38](#)「変換する「読み」の長さを変える」
- ローマ字入力のスペルは、ローマ字変換表を参考にしてください。  
参照 [P.162](#)「ローマ字変換表」
- 一度に入力できる「読み」は30文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、最大6文字です。
- 数字ボタンに表記された記号「!」「&」などは、**Shift**を押しながら該当する文字ボタンを押して入力します。
- 2行目を作成するときは、**選択**を押して改行します。  
参照 [P.47](#)「行を増やす(改行)」

## 濁音や拗音の入力について

濁音や拗音は、入力方法によって異なります。

	濁音（「ざ」「ば」） 半濁音（「ば」「ぺ」）	拗音（「ゃ」「ゅ」「ょ」） 促音（「っ」）
ローマ字入力	濁音、半濁音用のスペルで入力します。 参照 P.162「ローマ字変換表」	次のいずれかの方法で入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「きゃ」（  ）などのように前の文字と組み合わせたスペルで入力する。  <b>参照 P.162「ローマ字変換表」</b></li> <li>促音「っ」は、直後の文字の子音を2つ重ねる。                      例：     …「さっか」</li> <li> を押してから通常の文字ボタンを押す。                      例：   …「っ」    …「う」</li> </ul>
かな入力	清音のあとに、「  」や「  」を入力します。 	該当する文字ボタンを数回押しします。 例：  × 6回…「っ」  × 4回…「ゃ」

### について

#### かなめくり入力状態：

直前の文字が、濁音・半濁音の両方がつく文字の場合（は行）には、濁音・半濁音が入力できます。直前の文字が、濁音のみがつく文字の場合（か行、さ行、た行）には、濁音のみ入力できます。その他の場合には、「→」 → 「:」 → 「'」が順番に切り換わります。


#### ローマ字入力状態：

「→」 → 「:」 → 「'」が順番に切り換わります。

#### ABC入力状態：


[→] → 「:」 → 「'」が順番に切り換わります。



## ■ 予測入力を使う（入力例：大きな）

1  を数回押して「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ

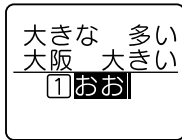
2 「おお」を入力する

ローマ字入力： 

かなめぐり： × 5回、

（または ）× 1回  
（=カーソル移動）、

 × 5回





仮確定文字（ネガ表示）で入力され、予測入力の候補が上半分に表示されます。



3   を押す




予測入力画面になり、1番目の候補が選択されます。

さらに   を押すと次の候補を選択します。

### MEMO


 +  で予測入力候補表示を一時停止し、みえ<sup>2</sup>表示に切り換えます。続けてテキスト入力または文字の削除をすると、予測入力候補表示を再開します。

4 「大きな」が選択されている状態で  を押す




「大きな」が確定します。


### MEMO


- 一度選択した予測入力候補は、次回から優先して表示されます（学習機能）。予測入力の学習内容は「学習初期化」で初期化できます。  
参照  P.128「学習内容を初期化する」
- 予測候補のないテキストの場合は候補が表示されません。

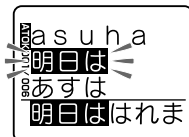
## 長い文章を変換する

入力した文章が長く、思いどおりに変換できない場合は、を押して文節ごとに変換します。


例：「あすははれますか」を「明日は晴れますか」に変換する

① 「あすははれますか」を入力して  を押す  
ATOK変換画面になります。

② 1文節目が正しく変換されている状態で  を押す




1文節目が確定し、次に2文節目が変換対象になります。

③  を押す





2文節目の変換候補が表示されます。


④ 正しく変換されている状態で  を押す



2文節目が確定します。  
さらに長い文章の場合も、同様の操作を繰り返すことにより、文節ごとに変換することができます。

## 変換する「読み」の長さを変える



変換する「読み」の長さが違い、目的の漢字に変換できない場合は   を押して変換対象となる「読み」の長さを変えます。

例：「きのうえをかった」を「昨日絵を買った」に変換する

① 「きのうえをかった」を入力して  を押す  
ATOK変換画面になります。


② 変換する変換対象の長さが適当でないときは   を押す



変換対象（ネガ表示部分）は  で短く  で長くなります。

  を押して「きのう」を文節にする



③  を押す



長さを変えた1文節目の変換候補が表示されます。

正しく変換されたら  で確定し、2文節目以降を変換します。

## MEMO

- ATOK変換画面で文字ボタンを押すと、仮確定文字は表示されている状態で確定し、続けて次の文字が入力されます。
- 一度に入力できる「読み」は30文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、最大6文字です。



# 英字を入力する

英字は、「ローマ字入力」または「ABC入力」で、文字ボタンを押して入力します。小文字の入力には **Shift** を使います。

例：Box

## ■ ローマ字入力の場合

綴りを入力してから変換します。

### 1 「Box」を入力する

入力： **B** **Shift** + **O** **Shift** + **X**

1 | ぼ x |

「ぼ x」と表示されます。

### 2 変換 **スペース** を押す

簿 x

ATOK変換画面になります。

### 3 変換する文節の長さが適当でないときは

▶ を押す

ぼ x

「ぼ x」が変換対象（ネガ表示）になります。

### 4 変換 **スペース** を押して「Box」を選択する

### 5 ▼ を押す

ぼ x  
B o x  
B O X  
B o x

1 | B o x |

「Box」が確定します。

## ■ ABC入力の場合

英字を入力するときに「ABC入力」にすると、文字ボタンを押して、直接英字を入力できます。

### 1 **入力** を数回押して「ABC入力」を選ぶ

### 2 「Box」を入力する

入力： **B** **Shift** + **O** **Shift** + **X**

(小文字ロックをしている場合)

入力： **Shift** + **B** **O** **X**

1 | B o x |

「Box」が表示されます。

## MEMO

### 小文字ロック

「ABC入力」時に、**Shift** を押しながら **入力** を押すと、小文字入力状態に切り換わり、**Shift** を押ししていないときに小文字入力インジケータが点灯します。もとに戻す場合には、もう一度 **Shift** を押しながら **入力** を押します。

## MEMO

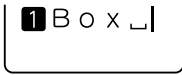
- 英字は「ローマ字入力」または「ABC入力」にしてください。「かな入力」では入力できません。
- 「ローマ字入力」で「読み」を入力した直後に **あ・ア** を押すと、押すたびに、「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。また、**Shift** を押しながら **あ・ア** を押すと「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
- 変換対象の文節の長さを変える操作については、下記ページを参照してください。  
参照 **P.38**「変換する「読み」の長さを変える」

## スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「**□**」（半角スペース）が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

**1** ネガ文字がないことを確認する

**2** **変換スペース**を押す



半角スペースが入力されます。

### MEMO

- ネガ文字があるときに**変換スペース**を押すと、漢字に変換されます。
- スペースには、半角スペース（**□**）のほかに、1文字分の全角スペース（**□**）があり、記号メニューで入力します。  
参照 **☞** P.40「記号を入力する」

## 記号を入力する

操作パネルに表記されていない記号は、記号メニューから指定します。

**1** **記号**を押す

「記号」メニューが表示されます。

**2** **▲ ▼**で「音楽」を選ぶ



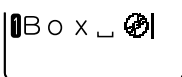
**3** **選択 改行**を押す

「音楽」の記号が表示されます。

**4** **◀ ▶**で「**♩**」を選ぶ



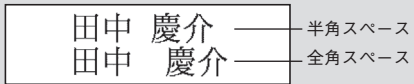
**5** **選択 改行**を押す



「**♩**」が入力されず。

### MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 入力できる記号は、付録を参考にしてください。  
参照 **☞** P.157「記号一覧表」
- 操作を途中でやめるときは、**削除 取消**または**記号**を押し、操作を戻します。
- 一度選択した記号は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- 記号メニューの「編集」内の記号はそれぞれ以下のはたらきをします。  
**野**（野入力記号）：縦野線を入力します。  
**□**（全角スペース）：全角スペースを入力します。
- 半角スペースは、**変換スペース**で入力できます。



ただし、「文字間」で「ピッチ」が「ピッチ固定」に指定されているときは、半角スペースでも約1文字分の空白として印刷されます。

参照 **☞** P.66「文字間」

## 参考

### イラストを入力する

例：イラスト「**POP**」

**1** **記号**を押す

「記号」メニューが表示されます。

**2** **▲▼**で「イラスト」を選び、**選択 改行**を押す

記号 **イラスト** 「イラスト」の項目が表示されます。

**3** **◀▶**で「POP」を選び、**選択 改行**を押す

記号 **イラスト** **POP** 「POP」の候補が点滅します。

**4** **◀▶**で「新製品」を選び、**選択 改行**を押す

記号 **POP** **新製品** 「新製品」が入力されます。

## 印刷イメージを確認する（プレビュー）

印刷前に、印刷するイメージを表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

**1** テープカートリッジをセットしているか確認する

実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

**2** **プレビュー**を押す

印刷イメージが流れるように表示されます。  
プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。

お得  
初回限

## MEMO

- プレビュー中に **あ・ア・A**、**変換 スペース**、**◀▲▼▶**のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。
- プレビューを途中でやめるときは **削除 取消** または **選択 改行** を押してください。
- 定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長→字余り 強行」と表示されます。このまま **選択 改行** を押すと、定長を解除してプレビューを強行します。

## !! 注意 !!

- プレビューが表示されるのは、テキスト画面または特殊フォーム入力画面のときだけです。
- テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープ無し!」と表示され、プレビューは表示されません。
- 行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー!」と表示され、プレビューは表示されません。
- プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。

# 印刷する

印刷する前に、テープカートリッジを正しくセットしているか、ACアダプタ（AC1116J）を正しく接続しているかを確認してください。

## 1 (Print)を押す

「準備中」と表示されたあと、ラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。  
印刷が終わるとテープは自動的にカットされます。

長さ	6.5cm
幅	18mm
	1枚

## MEMO

- 印刷を途中でやめるときは[削除取消]を押してください。
- 印刷中に(電源)を押すと印刷を中止し、テープをカットしたあとに電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと印刷枚数表示が増加します。印刷枚数の表示は「100枚」の次は「1枚」と表示されます。印刷内容（文字や書式など）を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。
- 余白「極少、少なめ、自動少なめ」を指定すると、ラベル前余白にカットマークを入れて印刷します。4mm、6mm幅テープで余白を「自動多め」に指定した場合も、ラベル前余白にカットマークを入れて印刷します。
- 特殊印刷（拡大印刷、鏡文字印刷）をおこなう場合は、[でか?]で印刷します。  
参照 P.120「特殊な印刷（でか?）」
- テープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長→字余り 強行」と表示されます。このまま[選択改行]を押すと、定長を解除して印刷を強行します。
- 裏紙がケバ立ってカットされることがありますが、ラベルには影響ありません。

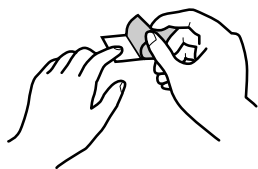
## !! 注意 !!

- 反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベルは「自動カット/しない」で印刷してください。そのあと、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。  
参照 P.125「自動カット」を設定する」、P.139「テープカートリッジを使いわせる」
- ラベルの内容が複雑な場合、印刷までの処理時間が長いことがあります。
- テープ出口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- ネガ文字、点滅文字は印刷されません。
- 印刷中に下カバーを開けると、保護回路のはたらきで電源が切れ、印刷が中断します。印刷中には下カバーを開けないでください。
- テープ出口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。
- テープカートリッジをセットしていないとき、または正しい位置にセットしていないときには、「テープ無し!」と表示され、印刷できません。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。
- QRコードが大きい場合、「QRコード大!」と表示され、印刷できません。  
参照 P.118「QRコードを印刷する」
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。
- 16mを超える印刷はできません。

# ラベルを貼る

印刷したラベルの裏紙をはがして貼ります。

## ① 裏紙をはがす



## ② しっかりとこすって貼り付ける



## !! 注意 !!

- ラベルの種類によっては、裏紙をはがれにくいものがあります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- 白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするとともに戻ります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ぬれていたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
- 雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
- **「テプラ」で得られるラベルについて**

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

## MEMO

「テプラ」PROテープカートリッジには、接着ラベル以外にも、用途に合わせてさまざまなラベルが用意されています。

参照 P.139「テープカートリッジを使いわける」

同梱のテプラカタログや当社ホームページ（アドレス <http://www.kingjim.co.jp/>）をご覧ください。

## 使い終わったら〈電源を切る〉

### 1 ㊤ (電源) を押す

電源が入っている状態で㊤ (電源) を押すと、終了のメッセージが表示されたあと、電源が切れます。電源を切っても、入力したテキストやファイル、外字などのデータは保存されています。再度電源を入れると、入力したテキストが表示されます。

### 2 ACアダプタ (AC1116J) をはずす

ACアダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

### !! 注意 !!

- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。
- 長期間使わないときは、ACアダプタ、テープカートリッジ、乾電池を本機から取りはずしてください。

### 続いて

以上で基本的な操作は終了です。続いて複数行、複数段落のラベルを作りましょう。また、「機能編」では、さらにいろいろな機能が利用できるようになるので、楽しいラベルが作れます。

# 文章を作る

文章を入力し、文字を挿入、削除したり、全消去するなどの編集方法を説明します。

## カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「|」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入、削除する位置を表します。



カーソルの移動にはカーソルボタン(◀ ▶ ▲ ▼)を使います。

本機のディスプレイには最大6文字×4行で表示されます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。

カーソル

カーソルボタン	カーソルの移動方向
◀	左方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
▶	右方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
▲	前(上)の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
▼	次(下)の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
Shift + ◀	行頭へ移動します。 繰り返すと、前の行の行頭、さらに前の行頭……と移動します。
Shift + ▶	行末へ移動します。繰り返すと、次の行の行末、さらに次の行末……と移動します。
Shift + ▲	段落の先頭へ移動します。繰り返すと、前の段落の先頭へと移動します。
Shift + ▼	段落の終わりへ移動します。繰り返すと、次の段落の終わりへと移動します。

Shift + [アイコン]となっている表記は、[Shift]を押しながらそのボタンを押す操作です。


## 文章を入力する



文字は操作パネルの文字ボタンで入力し、[変換 <->]を押して漢字などに変換します。

参照 P.32「文字を入力する」

## 文字を削除/挿入する

文字の後ろ（右側）にカーソルを合わせ  を押すと文字が削除されます。  
文字を挿入するときは、挿入したいところにカーソルを合わせます。

**例**：「定期点検実施中」の「定期」を削除し、「特別」を入れて「特別点検実施中」にする

**1**   で「期」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

定期点検実施

**2**  を2回押して「定期」を削除する

定期点検実施



 × 2回


1点検実施

カーソル位置は行頭になります。

**3** 「特別」を入力する

1特別点検

### !! 注意 !!

挿入によって文字数が入力可能文字数（約175文字）をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク（）が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

## すべての文章を消去する

入力した文章は電源を切っても消去されません。  
入力した文章をすべて消去したいときは「全文消去」をおこないます。

**1**  を押しながら  （=消去）を押す  
「消去」メニューが表示されます。

**2** 「全文消去」を選び、 を押す




全文消去  
段落消去

全文消去され、テキスト画面に戻ります。

### !! 注意 !!

全文消去は、入力したすべての文章が消去されます。文章の書体や外枠など各機能の指定内容も消去されます。消去をおこなう前に、充分に確認してください。

### MEMO

- 全文消去では、以下の内容は消去されません。  
ファイル・あて名・辞書・外字データ、保存値、漢字や記号などの学習内容、文字の入力状態、「みえ<sup>2</sup>」の状態
- すべてを購入時の設定に戻りたいときは、本機を初期化してください。  
参照  P.131「本機を初期化する」
- カーソルのある段落のみを消去したいときは「段落消去」を選びます。  
参照  P.50「特定の段落を消去する」
- 操作を途中でやめるときは、 を押し、操作を戻します。



# 行を増やす（改行）

2行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます（**選択改行**を押します）。

## ■ テープ幅と印刷できる行数

本機では4mmから24mmまでの幅のテープを使うことができます。

セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24* mm
印刷可能な行数	1行まで	2行まで	3行まで	4行まで	6行まで	8行まで

## MEMO

- 24mm幅テープは2種類あります。品番末尾に「\*」のついた24\* mm幅テープは8行まで印刷できます。品番末尾に「\*」のつかない24mm幅テープは6行まで印刷できます。
- 表示されている文章が何行目にあるかは行頭マークで確認できます。行頭マークには空白行頭マーク①②…☒、①②…☒と、実質行頭マーク①②…☒、①②…☒の2種類があります。空白行頭マークは文字が何も入力されていないことを表し、その行は印刷されません。
- ☒☒はこれ以上行数を増やせないことを表示しています。☒の表示があるときに**Print**を押しても「行数オーバー」が表示されます。☒のある行を削除してから印刷をおこなってください。参照P.140「エラーメッセージが表示されたときは—行数オーバー—」

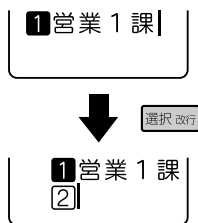
## 新しい行を作る

行の終わりで**選択改行**を押すと、新しい行に入力することができます（改行）。

例：3行の文章を入力する

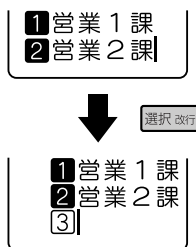
営業1課  
営業2課  
営業3課

① 「営業1課」を入力し、**選択改行**を押す



2行目に行頭マークが表示されます。

② 「営業2課」を入力し、**選択改行**を押す



3行目に行頭マークが表示されます。3行目を入力します。

## MEMO

ネガ文字があるときは、**選択改行**を押しても改行できず、文字が確定します。

## 文字を次行に移動する

行の途中で改行すると、カーソルより後ろ（右側）の文字は次の行に移ります。

例：「営業1課田中慶介」を2行にする

営業1課田中慶介

↓ 途中で改行すると

営業1課  
田中慶介

使  
い  
か  
た  
編

- ① ◀ ▶ で「課」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

x.x  
cm  
xxx  
mm  
| 1 課田中慶介

- ② 選択改行 を押す

x.x  
cm  
xxx  
mm  
| 1 営業1課  
2 田中慶介

2行目に行頭マークが表示され、「田中慶介」は2行目に移動します。

### MEMO

ネガ文字があるときは、**選択改行**を押しても改行できず、文字が確定します。

## 改行を取り消す

行頭マークにカーソルを合わせて **削除取消** を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。

例：2行目での改行を取り消す

株式会社 ○×商事  
営業部  
営業1課  
田中慶介

↓ 途中の改行を取り消すと

株式会社 ○×商事  
営業部営業1課  
田中慶介

- ① 3行目の行頭マーク③の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

1 株式会社  
2 営業部  
3 営業1課  
4 田中慶介

- ② **削除取消** を押す

1 株式会社  
2 営業部  
3 田中慶介

3行目の「営業1課」が2行目に連結されます。

4行目の「田中慶介」が3行目になります。

### MEMO

- 最終行の先頭にカーソルを合わせ、**削除取消**を押すと4行目の文章が3行目に連結され、4行目は自動的に削除されます。
- 第1段落の1行目の行頭マーク**1 1**は削除できません。

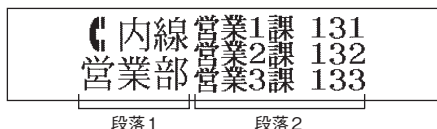
# 段落を増やす（改段落）

左下のラベルは2つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼びます。段落とはブロックで印刷される「行の集まり（または1行）」のことです。1つのラベルの中に2つの段落を設けることで、いろいろな行数を混在させたり、デザインを段落ごとに変えることができます。本機では、段落は1つのラベル（文章）の中に10段落まで作ることができます。

## ■ 段落が2つのラベル

印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では各段落が縦に並んだ形になります。

【ラベルは】



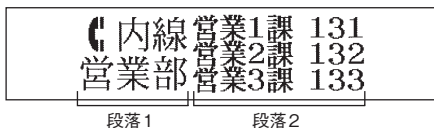
【画面上では】



## 新しい段落を作る

**Shift** を押しながら **選択改行**（=改段落）を押すと、新しい段落ができます。

例：2段落の文章を入力する



### 1 段落1を入力する



1行目「1 内線」  
2行目「2 営業部」  
と入力します。

### 2 文末にカーソルを合わせ、**Shift** を押しながら **選択改行**（=改段落）を押す



新しい段落が発生し、1が表示されます。

### 3 段落2を入力する



1行目  
「1 課 131」  
2行目  
「2 課 132」  
3行目  
「3 課 133」  
と入力します。

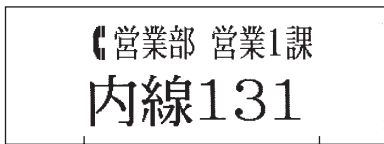
## MEMO

- ネガ文字があるときは、改段落できず、文字が確定します。
- すでに10段落目があるときは、改段落できません。

## 段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ（右側）の文字は新しい段落に移ります。

例：新しい段落を増やす



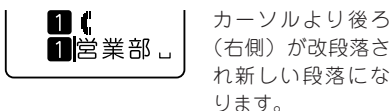
段落1  
↓  
段落1の「**レ**」の後ろ（右側）で改段落すると



**1** 1行目「**レ**」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる



**2** **Shift** を押しながら **選択改行**（＝改段落）を押す



### MEMO

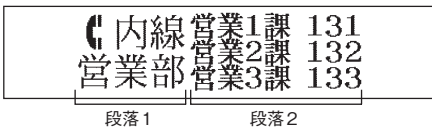
- ネガ文字があるときは、改段落できず、文字が確定します。
- すでに10段落目があるときは、改段落できません。
- 段落分割によって新しくできた段落指定値の内容は、もとの段落と同じです。
- 文字サイズが行数で指定されている場合は、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致なくなります。このとき、文字サイズは「均等」で印刷されます。

参照 P.71「文字サイズ」

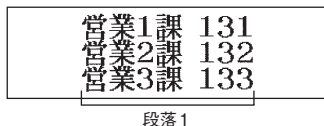
## 特定の段落を消去する

不要な段落を消去します。

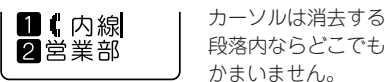
例：段落1を消去する



↓  
段落1を消去すると

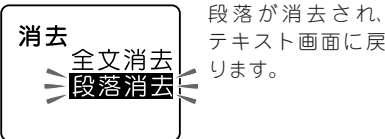


**1** 消去する段落1にカーソルを合わせる



**2** **Shift** を押しながら **削除取消**（＝消去）を押す  
「消去」メニューが表示されます。

**3** **▲** **▼** で「段落消去」を選び、**選択改行** を押す



### !! 注意 !!

- 「全文消去」を選択すると、入力したすべての文章が消去されます。
- 段落消去は、カーソル位置の段落内容がすべて消去されます。段落の書体や外枠など各機能の指定内容も消去されます。消去をおこなう前に、充分に確認してください。

### MEMO

操作を途中でやめるときは、**削除取消** を押し、操作を戻します。

# 機能編

～「テプラ」の機能を使いこなそう～

「ラベルの向きを変えたい」

「ラベルを見栄えよくしたい」

こんなときは各機能のボタンでレイアウトの変更や各種指定をおこないます。

# ラベルの向きを変える（縦・横）

## 縦・横 を使う

縦・横 を使うと、ラベルの向きを「縦」または「横」に切り換えられます。

よこ書きラベル

千代田区東神田\*\*  
石原 大輔

たて書きラベル

千代田区東神田\*\*  
石原 大輔

縦・横

### 1 縦・横 を押す

「たて書き」と表示された場合は、たて書きになります。  
「よこ書き」と表示された場合は、よこ書きになります。  
ディスプレイの「たて書き」インジケータも点灯します。  
参照 P.20「ディスプレイ（画面）の見かた」

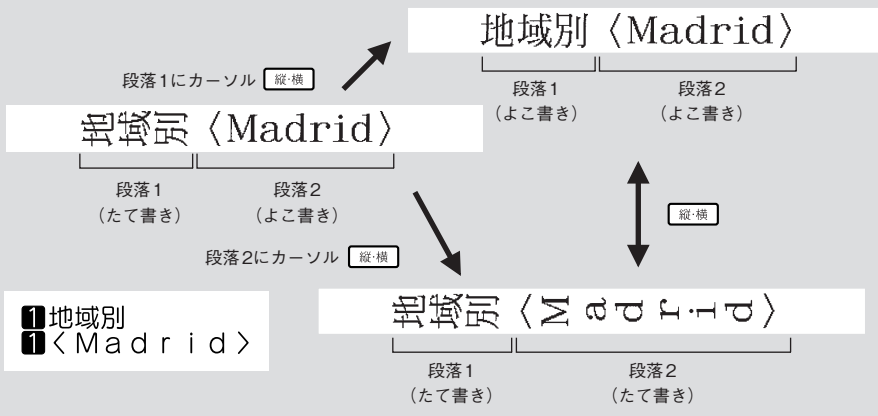


## MEMO

- ネガ文字があるときは、「たて書き」「よこ書き」を変更できません。
- 編集機能の「縦・横」では文章単位または段落単位で指定できます。  
参照 P.55「指定範囲とカーソルの位置について」
- 記号の「イラスト」は縦書きには対応していません。  
参照 P.157「記号一覧表—イラスト」

## !! 注意 !!

縦・横 は文章全体のラベルの向きを変えます。「たて書き」と「よこ書き」の段落が混在している文章の場合は、カーソルのある段落に対する変更が、文章全体に反映されます。



## 参考

### たて書きで2桁の数字を印刷する

「2桁数字」は2桁の数字を1文字として扱うものです。たて書きのラベルで日付や住所の番地などに「2桁数字」を使うと、きれいに描えて印刷できます。

例：「14回大会記録」を入力する

14回大会記録

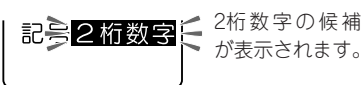
- ① **縦・横** を押して、「たて書き」を指定する



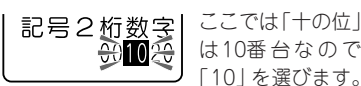
- ② **記号** を押す



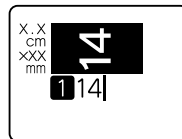
- ③ 「2桁数字」を選び、**選択 改行** を押す



- ④ 選択肢から「10」を選び **選択 改行** を押す



- ⑤ 10番台の選択肢から「14」を選び、



カーソル位置に「14」が表示されます。

- ⑥ 続けて文章を入力する

## MEMO

- 操作を途中でやめるときは **削除 取消** または **記号** を押し、操作を戻します。
- 2桁の数字は、**記号** を押して「2桁数字」を選んで入力します。文字ボタンでの入力では2桁数字にはなりません。
- ネガ文字があるときは、**記号** で2桁数字は入力できません。

# 文字サイズを指定する

## 文字サイズを使う

文字サイズを使うと、文字サイズを一段階ずつ切り換えられます。各行の文字サイズを「おまかせフォーマット」の組み合わせから選択できます。

自動/らく<sup>2</sup>





























 中 1c

伊藤



伊藤

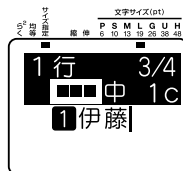
選択できる文字サイズは、ラベルの行数によって次のようになります。

ラベルの行数	おまかせフォーマットの選択肢
1行	 特大1a、  大 1b、  中 1c、  小 1d
2行	 大大2a、  中中2b、  大細2c、  大小2d、  中小2e、  小中2f、  小大2g、  細大2h
3行	 同大3a、  同小3b、  1大3c、  1中3d、  3小3e、  2大3f、  2中3g、  1小3h、  3大3i、  3中3j、  2小3k
4行	 均等4a、  1大4b、  2大4c、  3大4d、  4大4e
5-8行	5-8行（均等）

### 1 目的の設定になるまで文字サイズを押す

文字サイズを押すたびに選択肢が切り換わります。

カーソルがある行の文字サイズは、ディスプレイのインジケータで確認できます。



## MEMO

- ネガ文字があるときは、「文字サイズ」を変更できません。
- 「文字サイズ」は編集機能の「文字サイズ」でも指定できます。  
参照 P.71「文字サイズ」
- 文字サイズは、カーソルのある段落に対する指定です。
- 初期設定値（自動らく<sup>2</sup>）に戻すには、編集機能の「文字サイズ」で「自動」の「らく<sup>2</sup>」を指定します。
- 選択肢を切り換えたあとは、プレビューなどでイメージを確認することをおすすめします。



# ラベルの見栄えをよくする～装飾機能を使おう～

文字の書体や大きさを変えて、見栄えの良いラベルにすることができます。

ラベルの見た目を変えるには、**編集**を押して表示されるメニューから機能を選択します。機能によって指定可能な範囲（文字単位、文章全体など）が異なります。

## **編集**の機能

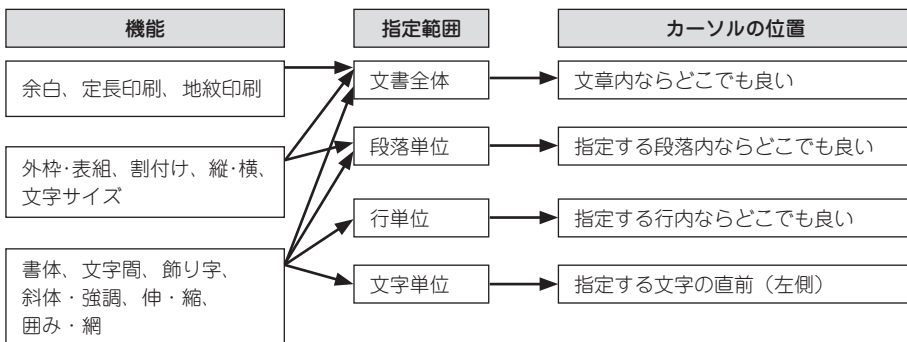
機能	内容	指定範囲
外枠・表組	飾り枠、表組みを指定します。	文章全体、段落単位
書体	漢字、かな、英数字の書体を指定します。	文章全体、段落単位 行単位、文字単位
余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。	文章全体
文字間	文字の間隔を変更します。	文章全体、段落単位 行単位、文字単位
飾り字	白抜き、影文字、白抜き影の装飾をします。	
斜体・強調	斜体、強調、斜強調の装飾をします。	
伸・縮	文字を伸縮して変形します。	
囲み・網	訂正線、下線、網かけ、囲みの装飾をします。	
定長印刷	できあがるラベルの長さを指定します。	文章全体
地紋印刷	背景全体に地紋を入れます。	文章全体
割付け	各行の割り付け位置を指定できます。	文章全体、段落単位
縦・横	たて書きや、よこ書きにします。	
文字サイズ	行ごとの文字サイズを指定します。	

編集

機能編

## 指定範囲とカーソルの位置について

機能を選択する場合、**編集**を押す前に、指定範囲に合わせてカーソルの位置を移動しておく必要があります。このカーソル位置を基準にして、メニュー操作の途中で有効範囲の指定をおこないます。カーソル位置は、指定する機能や範囲によって異なります。次の図を参考にカーソルの位置を確認してください。



# 機能を指定する

機能は以下の流れで指定します。

## 1 カーソルを合わせる

文字に指定するときは、指定する文字の直前（左側）にカーソルを合わせます。  
行全体に指定するときはその行に、段落に指定するときはその段落内にカーソルを合わせます。  
文章全体に指定するときは、カーソル位置はどこでもかまいません。  
参照 P.55「指定範囲とカーソルの位置について」

編集

## 2 を押す

### !! 注意 !!




ネガ文字があるときは、機能を指定できません。

## 3 機能を選ぶ

  で目的の機能を選び、 を押します。

編集  
外枠・表組  
書体  
余白




## 4 各機能の選択肢を指定する

  で目的の選択肢を選び、 を押します。

例：「書体」の選択肢

漢字書体  
明朝体  
ゴシック  
太ゴシック

## 5 指定した機能の有効範囲を決める

指定した機能の有効範囲を指定します。  
下表を参考に、  で指定する範囲を選び、 を押します。  
指定が終了し、テキスト画面に戻ります。

有効範囲は？  
この文章  
この字から  
この行

### ●書体、文字間、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網を指定した場合

この文章	文章全体に、指定した機能を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この字から	カーソルを合わせた位置に「▶」（文字モード指定マーク）が表示され、「▶」直後の文字から行末（または、次の「▶」）まで、指定した機能を反映します。
この行	カーソルを合わせた行の行頭に「▶」（文字モード指定マーク）が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した機能を反映します。
この段落	カーソルを合わせた段落の行の先頭すべてに「▶」（文字モード指定マーク）が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した機能を反映します。

機能編

## ●外枠・表組、割付け、縦・横、文字サイズを指定した場合

この文章	文章全体に、指定した機能を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この段落	カーソルを合わせた段落に、指定した機能を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

## ●余白、定長印刷、地紋印刷を指定した場合

有効範囲の画面は表示されません。

手順④で機能を選択した時点で、文章全体に指定した機能を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

### MEMO

- ・「▶」（文字モード指定マーク）は印刷されません。
- ・「▶」は削除できます。「▶」を削除すると、その前にある「▶」の指定を反映します。「▶」がない場合は、「この文章」で指定した内容、または保存値を反映します。
- ・各機能のご購入時の状態（初期設定値）はP.58「メニュー一覧」で確認できます。また、この設定はP.129「各種の初期値（保存値）を設定する」で変更することもできます。
- ・操作を途中でやめるときは、指定の途中で「削除取消」または各機能のボタンを押し、操作を戻します。
- ・一部の指定内容は、インジケータの点灯で確認できます。

参照 P.20「ディスプレイ（画面）の見かた」

また、各機能のボタンを押して、機能の選択肢を表示させても確認できます。ネガ表示になっている選択肢が現在の指定内容です。

- ・装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブれることがあります。
- ・機能を指定した場合には、プレビューなどでイメージを確認することをおすすめします。




































# メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢			
<b>外枠・表組</b> ▶ 表組み 図のような表組みのラベルを作ります。 参照 P.63  外枠 図のような飾り枠がつけられます。 参照 P.63	表組み ▶	<b>01</b>	02	03	04
	なし				
	外枠 ▶	<b>01</b>	02	03	04
		05	06	07	08
		09	10	11	12
		13	14	15	16
		17	18	19	20
		21	22	23	24
		25	26	27	28
		29	30	31	32
		33	34	35	36
		37	38	39	40
		41	42	43	44
		45	46	47	48
		49	50	51	52
		53	54	55	56
		57	58	59	60
		61	62	63	64
		65	66	67	68
		69	70	71	72
		73	74	75	76
		77	78	79	80
		81	82	83	84
		85			

編集

機能編

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
	お店 ▶	 01  02  03  04  05  06  07
	学校 ▶	 01  02  03  04  05  06  07  08  09  10
	建設 ▶	 01  02  03  04  05  06  07  08  09  10
	病院 ▶	 01  02  03  04  05  06  07  08

編集

機能編

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
<b>書体</b> ▶ <b>書体</b> 漢字書体とかな書体、英数書体をそれぞれ選択します。 参照 P.64	<b>漢字書体</b> ▶ 明朝体 <b>ゴシック</b> 太ゴシック 行書体 隷書体	<b>かな書体</b> ▶ <b>自動</b> 明朝体 ゴシック 太ゴシック 行書体 隷書体 えれん ハッピ あしび てまり	<b>英数書体</b> <b>自動</b> 明朝体 ゴシック 太ゴシック 行書体 隷書体 HV体 CR体 BR体 PL体 ST体 CB体
<b>余白</b> ▶ <b>余白</b> ラベルの前後の余白を調整します。 参照 P.65	<b>極少</b> <b>ふつう</b> 自動少なめ	<b>少なめ</b> <b>多め</b> 自動多め	
<b>文字間</b> ▶ <b>文字間</b> 文字間隔を調整します。「ピッチ自動」は英数字にプロポーショナルがかかり、「ピッチ固定」は英数字も全角扱いになります。 参照 P.66	<b>密着</b> ▶ <b>狭い</b> <b>ふつう</b> <b>広い</b>	<b>ピッチ</b> <b>ピッチ自動</b> <b>ピッチ固定</b>	
<b>飾り字</b> ▶ <b>飾り字</b> 文字の装飾を指定します。 参照 P.67	<b>A</b> 白抜き <b>A</b> <b>ふつう</b> <b>A</b> 影文字 <b>A</b> 白抜き影		
<b>斜体・強調</b> ▶ <b>斜体・強調</b> 文字を斜体または強調します。 参照 P.67	<b>A</b> 斜体 <b>A</b> <b>正体</b> <b>A</b> 強調 <b>A</b> 斜強調		

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
------	--------	-------

**伸・縮** ▶

伸・縮  
行中の基本文字サイズに対し、どれだけ大きく(小さく)するかを指定します。  
参照 P.67

A 細かく	A 小さく	A 縮める
A <b>ふつつ</b>	A 伸ばす	

**囲み・網** ▶

囲み・網  
下線や文字囲み、網かけなどを指定します。  
参照 P.68

<del>A</del> 訂正線	A 下線	A <b>なし</b>
A 角囲み	A 丸囲み	A 網掛け
A 角囲網	A 丸囲網	

**定長印刷** ▶

定長印刷  
決まった長さのラベルを作ります。  
参照 P.68

音楽テープ MD ▶	<b>前寄せ</b> 中寄せ 割付け 後寄せ
ミニDV 8mmビデオ	
VHS FD・MO	
CDケース B5ファイル	
A4ファイル <b>しない</b> 1.0cm~50cm	

**地紋印刷** ▶

地紋印刷  
定型地紋の入ったラベルを作ります。ピクトグラフを参考に地紋の柄を選びます。  
参照 P.70

<b>なし00</b>	海波 01
菱形02	桜 03
カード 04	唐草 05
点網06	切抜 07

**割付け** ▶

割付け  
各行の文字の配置を指定します。  
参照 P.70

<b>前揃え</b>	中揃え
割付け	後揃え

**縦・横** ▶

縦・横  
文字の向きを指定します。  
参照 P.70

<b>よこ書き</b>
たて書き

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<b>文字サイズ</b> ▶ 均等 各行を同じ文字サイズにします。  らく <sup>2</sup> 入力文字数に応じて文字サイズを自動調整します。  おまかせフォーマット 各行の文字サイズを、ピクトグラフで表示される組み合わせのように指定します。 参照 P.71	自動 ▶	らく <sup>2</sup> 均等
	1行 ▶	<b>(おまかせフォーマット)</b> <b>1行</b> 特大1a     大 1b 中 1c     小 1d
	2行 ▶	<b>2行</b> 特大2a     中中2b 大細2c     大小2d 中小2e     小中2f 小大2g     細大2h
	3行 ▶	<b>3行</b> 同大3a     同小3b 1大3c     1中3d 3小3e     2大3f 2中3g     1小3h 3大3i     3中3j 2小3k
	4行 ▶	<b>4行</b> 均等4a     1大4b 2大4c     3大4d 4大4e
5-8行		

## MEMO

文字サイズの「5-8行」は「均等」に指定されます。



# 機能の説明

## ●外枠・表組

文章（段落）のまわりに外枠や表組みをつけます。

### なし（ご購入時の初期設定値）

外枠・表組みをつけません。

### 表組み

文章（段落）を枠で囲み、行間に横罫線を引きます。  
複数の段落に同じ表組みを指定すると、前後に区切られた表ができます。  
表示されるピクトグラフで表組みの種類を確認できます。

参照 P.49「段落を増やす（改段落）」

備品名	RDS
管理番号	1103-U

### 表組み



## MEMO

表組みのラベルの行中にさらに縦罫線を入れたいときは、 を押して表示される記号メニューから「編集」を選択し、その中の を入力します。

ラベルの行中に縦罫線が入る

備品名	RDS本館
管理番号	1103-U

段落1

段落2

テキスト画面に を入力する

+ で改段落をして、このように段落2を入力します

1 RDS 本館  
2 1103-U

## 外枠

文章（段落）のまわりに外枠をつけます。  
表示される図で外枠の種類を確認できます。

### 外枠



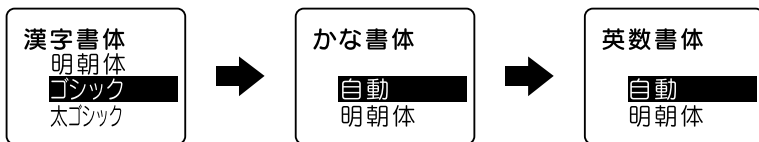
## MEMO

表組み・外枠の種類は、数字ボタンで番号を指定することもできます。

参照 P.58「メニュー一覧」

## ●書体

文字の書体を選びます。かな書体と英数書体で「自動」を選ぶと、漢字書体と同じ書体が選択されます。



明朝体	ゴシック（購入時の初期設定値）
美しい文字	美しい文字
太ゴシック	行書体
美しい文字	美しい文字
隷書体	
美しい文字	
えれん	ハッピー
うつくしい	うつくしい
あしび	てまり
うつくしい	うつくしい
HV体	CR体
Beautiful	Beautiful
BR体	PL体
<i>Beautiful</i>	<i>Beautiful</i>
ST体	CB体
<b>Beautiful</b>	<b>Beautiful</b>

## ●余白

ラベルの前後の余白の長さを指定します。

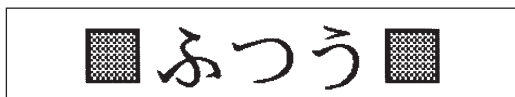
極少（余白：前後約1mm）



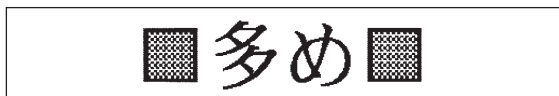
少なめ（余白：前後約3mm）



ふつう（余白：前後約10mm）

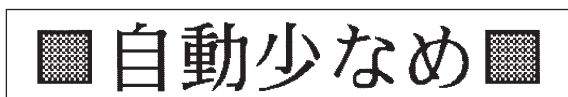


多め（余白：前後約18mm）



### 自動少なめ

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に少なめに調整されます。印刷するテープの幅の約1/3が前後の余白になります（12mm幅テープであれば余白は前後約4mm）。



### 自動多め

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に多めに調整されます。印刷するテープの幅相当が前後の余白になります（12mm幅テープであれば余白は前後約12mm）



## MEMO

余白「極少、少なめ、自動少なめ」を指定すると、ラベル前余白にカットマークを入れて印刷します。4mm、6mm幅テープで余白を「自動多め」に指定した場合も、ラベル前余白にカットマークを入れて印刷します。市販のハサミでカットマークをカットしてください。



## ●文字間

文字の間隔を選びます。

密着	ふつう（購入時の初期設定値）
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 密着	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ふつう
狭い	広い
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 狭い	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ひろい

さらに文字間「ピッチ自動」、「ピッチ固定」を選びます。


ピッチ自動	世界選抜 1-1 キングFC UEHA選抜 0-2 キングFC
ピッチ固定	世界選抜 1 - 1 キングFC UEHA選抜 0 - 2 キングFC

「ピッチ自動」にすると、英数字にプロポーショナルがかかり、文字間を美しく調整して並べます。プロポーショナルとは英数字が美しく見えるように文字間を自動的に調整する機能です。

「ピッチ固定」にすると、プロポーショナル機能が解除され、英数字（半角スペースを含む）をすべて全角文字として扱います。複数行で上下の文字の並びをきちんと揃えたいときは、「ピッチ固定」を選んでください。

## MEMO

### 文字間の指定について

- あらかじめ小さくデザインされている文字に「密着」を指定しても、密着しているように見えなことがあります。
- 複数個の外字をつなげたロゴを作るときは、「密着」を指定すると完全につながったロゴが印刷できます。  
参照  P.104「外字を使う」
- 大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルになります。

## ●飾り字

文字の装飾を選択します。

白抜き	ふつう (購入時の初期設定値)	影文字	白抜影
白抜き	ふつう	影文字	白抜影

### MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。

## ●斜体・強調

文字の斜体、強調を選択します。

斜体	正体 (購入時の初期設定値)	強調	斜強調
斜体	正体	強調	斜強調

### MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。

## ●伸・縮

各行の基本文字サイズ（行の大小）は、テープ幅・入力行数・文字サイズの指定によって決まります。伸・縮はこの基本文字サイズに対して相対的な大きさを指定します。

細かく	基本サイズより、2段階小さい文字になります。
小さく	基本サイズより、1段階小さい文字になります。
縮める	横の長さを基本サイズの約0.75倍にします。
ふつう (購入時の初期設定値)	これを選ぶと、基本文字サイズになります。
伸ばす	横の長さを基本サイズの約1.5倍にします。

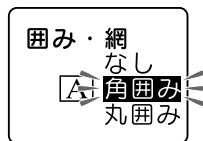
### MEMO

- 基本文字に対して、よこ書きのラベルでは「下並び」（文字のベースライン揃え）、たて書きのラベルでは「中並び」（センター揃え）となります。
- 英数専用書体（HV体・CR体・BR体・PL体・ST体・CB体）はベースラインが漢字書体や、かな書体と異なるため、かな書体とベースラインが揃いません。
- 基本文字サイズがすでに小さい場合は、「小さく」「細かく」を指定しても、文字の大きさが変わらない場合があります。
- 各行の基本文字サイズは編集機能の指定で変えられます。  
参照 P.71「文字サイズ」
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。
- 細いテープを使っている場合など大きな文字サイズを使えないときに「伸ばす」を指定すると、文字の大きさが少し大きく見え、より目立つラベルになります。

## ● 囲み・網

文字につける囲みや下線、網などを選びます。

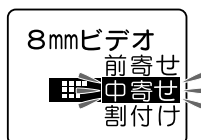
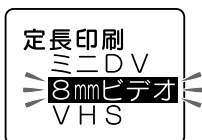
表示されるピクトグラフの画面に「囲み・網」の種類を確認できます。



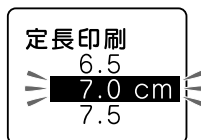
## ● 定長印刷

印刷するラベルの長さを用途や数値で指定します。

長さを指定したあと、ラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。表示されるピクトグラフで位置のイメージを確認できます。



1.0cm～50cmは、ラベルの長さを数値で指定できます。



用途別の定長を選ぶとラベルの長さが自動的に指定されます。お使いになるテープは、下表の「推奨テープ幅」をおすすめします。

用途	長さ	推奨テープ幅
音楽テープ	9.5cm	9mm
MD	5.5cm	4mm
ミニDV	4.0cm	9mm
8mmビデオ	7.0cm	9mm
VHS	14cm	18mm

用途	長さ	推奨テープ幅
FD・MO	7.0cm	18mm、24mm
CDケース	11cm	4mm
B5ファイル	15cm	12mm
A4ファイル	20cm	12mm

## MEMO

- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「定長→字余り」と表示され、定長印刷できません。文字数を減らしたり、文字サイズの指定で文字の大きさを小さくしてください。
- 定長印刷で指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。

## 参考

定長内に文字をおさめる「つめ<sup>2</sup>」機能

「文字サイズ」で「らく<sup>2</sup>」を指定すると、入力文字数に応じて自動的に文字サイズを調整します。この「らく<sup>2</sup>」と「定長」を指定し、定長内に段落をいくつか作って文字を入力した場合、定長で指定した長さに文字がおさまらない場合があります。

そんなとき本機では、定長で指定した長さにおさまらよう文字サイズを自動的に計算し、「らく<sup>2</sup>」を指定した段落の中で、後ろから順に段落単位で文字サイズを小さくする「つめ<sup>2</sup>」機能がはたらきます。

### 1 最後の段落の文字を小さくする (図A→B)

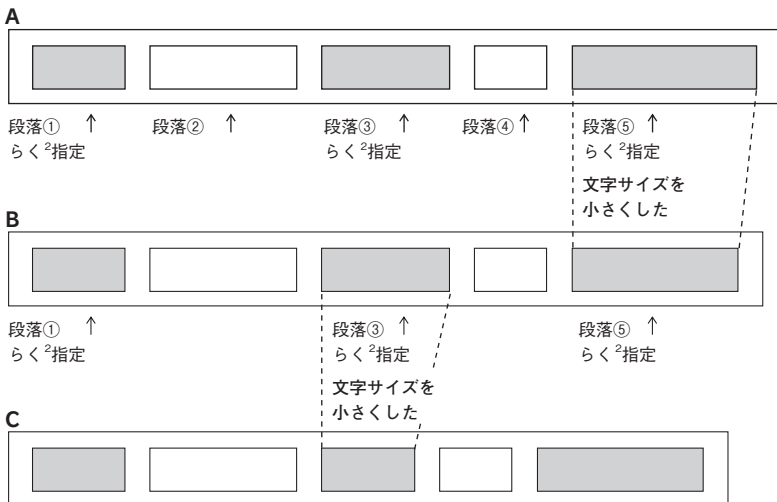
定長に入らない場合はまず、「らく<sup>2</sup>」を指定した段落の中で最後の段落(⑤)の文字サイズを1段階小さいサイズに置き換えます。これで定長におさまれば自動計算は終わります。

### 2 最後から2番目の段落の文字を小さくする (図B→C)

これでも定長に入らない場合は、「らく<sup>2</sup>」を指定した段落の中で最後から2番目の段落(③)の文字サイズを1段階小さくします。

定長で指定した長さにおさまるまで、上記の処理をおこないます。

この処理を繰り返しても定長で指定した長さにおさまらない場合は「入力した文章が長すぎます」と表示されます。定長を指定しなおすか、文字を少なくするなどの操作をおこなってください。



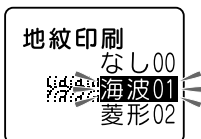
※ 段落②、④が「らく<sup>2</sup>」を指定していない段落です。

## MEMO

- 「らく<sup>2</sup>」を指定していない段落は「つめ<sup>2</sup>」機能ははたらきません。
- 「らく<sup>2</sup>」以外の指定をしても実際の行数が指定と合わず結果的に「均等」になった段落については、「つめ<sup>2</sup>」機能による処理はおこなわれません。

## ●地紋印刷

ラベルの背景全体に地紋をつけます。表示されるピクトグラフで地紋の柄を確認できます。







### MEMO

地紋を指定した場合、プレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがありますが、印刷に影響はありません。

## ●割付け

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。


 前揃え（購入時の初期設定値）	行頭を揃えます。
 中揃え	各行の中心を揃えます。
 割付け	一番長い行の長さに揃えて他の行を均等に割り付けます。
 後揃え	行末を揃えます。

### MEMO

文字間「密着」が指定されている場合、割付け「割付け」を指定しても、文字間「密着」が優先されます。

## ●縦・横

文字をたて書きにするか、よこ書きにするかを指定します。

たて書き/よこ書きの変更は  でも指定できます。

参照  P.52「ラベルの向きを変える（縦・横）」

よこ書き（ご購入時の初期設定値）



たて書き






## ●文字サイズ

文字サイズの指定は「均等」「らく<sup>2</sup>」「おまかせフォーマット」で指定してください。

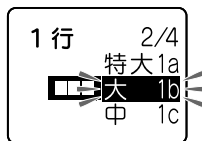
**文字サイズ**でも指定できます。

参照  P.54「文字サイズを指定する」

<p>らく<sup>2</sup> (購入時の 初期設定値)</p>	<p>入力文字数に応じて、文字サイズを自動調整します（フルオート）。 1行のとき：文字数が多くなると自動的に文字サイズを小さくします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; margin: 10px 0;">「テプラ」PRO</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 1.5em; margin: 10px 0;">簡単・綺麗なラベルが作れる「テプラ」PRO</div> <p>2行以上のとき：各行の長さがバランスよくなるように文字サイズを自動調整します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 1.5em;">堀之内 ◆OXO-20XX-20XX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 1.5em;">HORINOUCHI ◆OXO-20XX-20XX</div> </div> <p>テープ幅や行数、文字数の割合に応じて、各行のできあがりの長さができるだけ揃うようにします。また、文字数が多くなってもラベル全体が長くなりすぎないように、文字サイズを自動調整します。</p>
<p>均等</p>	<p>各行を同じ文字サイズにします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>12mm幅テープ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 1.5em; margin: 10px 0;">2nd アルバム発売中!</div> </div> <div style="width: 45%;"> <p>18mm幅テープ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 1.2em; margin: 10px 0;">封入特典 ★インスタイベント招待券 日時：9月18日 19:00～ 詳しくは店員まで</div> </div> </div>
<p>おまかせ フォーマット</p>	<p>各行の文字サイズ（行の大小）を、あらかじめ用意された組み合わせの中から選びます（セミオート）。 参照  P.72「おまかせフォーマット」</p>

## おまかせフォーマット（1行～8行）

選択肢から文字サイズ（行の大小）を選びます。表示されるピクトグラフで各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。



## おまかせフォーマット 1行の文字サイズ

特大 1a・大 1b・中 1c・小 1dと選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさで印刷されます。

印刷サンプル	美	美	美	美	美	美	美
文字サイズ [pt]	H [48]	U [38]	G [26]	L [19]	M [13]	S [10]	P [6]
テープ幅							
24* mm	特大	大	中	小	—	—	—
18mm	—	特大	大	中	小	—	—
12mm	—	—	特大	大	中	小	—
9mm	—	—	—	特大	大	中	小
6mm	—	—	—	—	特大	大	中、小
4mm	—	—	—	—	—	—	特大、大、中、小

### !! 注意 !!

テープに印刷できる文字の大きさに制限があるため、テープ幅や印刷する行数によっては、おまかせフォーマットの一部分が機能しないことがあります。

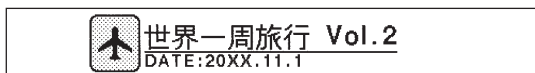
### MEMO

- 24mm幅テープは2種類あります。品番末尾に「\*」のついた24\* mm幅テープは8行まで印刷できます。品番末尾に「\*」がつかない24mm幅テープは6行まで印刷できます。
- おまかせフォーマットは、ピクトグラフで表現しています。
- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケータで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なる場合は、「均等」で印刷されます。

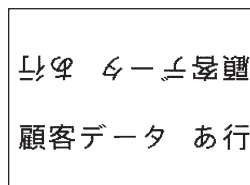
# デザインされたラベルを呼び出す (フォーム)

本機には名前ラベルやビデオラベルなどデザインされたフォームが登録されています。また特殊フォームとして通常の編集機能の指定では作ることのできない、特殊なデザインのラベルも用意されています。

例 : 「8mm ビデオ」のラベル  
(デザインフォーム)



例 : 「見出し (横)」  
長さ 3.2cm のラベル  
(特殊フォーム)



## ラベルの作りかた

フォームを使ったラベルは以下の流れで作成します。

- 1 使用するフォームを決める  
使いたいフォームを選んでください。
- 2 **[Shift]** を押しながら **[ファイル]** (=フォーム) を押す  
「フォーム」メニューが表示されます。

- 3 「フォーム」または「特殊フォーム」を選ぶ  
**[▲]** **[▼]** で目的のフォームが含まれる項目 (「フォーム」または「特殊フォーム」) を選び、**[選択 改行]** を押します。  
それぞれのメニューが選択され、フォームは分類を、特殊フォームは選択肢を指定する画面になります。  
フォームを選択した場合は手順**4**へ進みます。  
特殊フォームを選択した場合は手順**5**へ進みます。



**4** フォームの分類を選ぶ

▲▼で目的のフォームが含まれる分類を選び、**選択 改行**を押します。  
選択肢を指定する画面になります。

**5** 使用するフォームを指定する

▲▼で目的のフォーム名を選び、**選択 改行**を押します。  
特殊フォームの見出し（縦）、見出し（横）、ケーブル用の場合は、ここでラベル長さを選択します。

**!! 注意 !!**

フォームを呼び出すと、テキスト画面に入力した文章は消えてしまいます。フォームを呼び出す前に、必要な文章はファイルに登録してください。

参照 P.89「ファイルに登録する」

**MEMO**

操作を途中でやめるときは、**削除 取消**または**ファイル**を押し、操作を戻します。

**6** 文字を入力する

フォームの場合は、テキストにデザインされたフォームが表示されます。はじめから入力されていますので、文字や記号を削除して内容を変更します。

例： **1** ▶ **灘**  
**1** ▶ ○○小学校 運動会  
**2** DATE : 20XX.10.10

特殊フォームの場合は、入力画面になります。入力ガイドの後ろ（右側）にカーソルを合わせ、通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。




複数行の特殊フォームのときは、▼を押すと次の行にカーソルが移ります。

見出し（縦）と見出し（横）では、「おもて」の行で**選択 改行**を押すと、「おもて」の行に入力したテキストが「うら」の行に自動的にコピーされます。

複数ラベルでは、1枚目入力後に**選択 改行**を押すと2枚目の行が表示されます。

## MEMO

- 操作を途中でやめるときは、**削除取消**または**ファイル**を押し、操作を戻します。
- 編集機能の指定内容は、インジケータで確認できます。
- デザインフォームで指定されている編集機能の指定は変更できますが、特殊フォームで指定できる機能には制限があります。  
参照  P.82「特殊フォーム」

## 7 印刷する

参照  P.42「印刷する」

## MEMO

特殊フォームの印刷をしたあとは、特殊フォームの画面に戻ります。テキスト画面に戻るときは **ファイル** を押して1画面ずつ操作を戻します。

# フォーム/特殊フォーム メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<b>フォーム</b> ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>フォーム あらかじめ作られたフォームに文字や記号を入力するだけで、いろいろなデザインのラベルを簡単に作ることができます。 参照 P.77</p> </div>	メディア ▶	<b>CDケース</b> FD・MO VHS(縦) VHS(横) 8mmビデオ ミニDV MD 音楽テープ DAT
	<b>オフィス</b> ▶	<b>A4ファイル</b> B5ファイル フォルダー山 回覧の捺印 備品管理票 ケーブル
	パーソナル ▶	<b>住所 &amp; 氏名</b> なまえ(縦) なまえ(横) 学校持ち物 誕生祝い お祝い 銘板 ケーブル
	掲示 ▶	<b>税込値札</b> 注意！ 禁止！ メッセージ
	QRコード ▶	<b>QR携帯1</b> QR携帯2 QR携帯3 QR備品管理
特殊フォーム	<b>見出し(縦)</b> ▶ 見出し(横)	<b>見出し(縦/横)長さ</b> 1.8cm <b>3.2cm</b> 6.0cm 8.0cm 11cm
	ケーブル用 ▶ 複数ラベル	<b>ケーブル用</b> <b>2.6cm</b> 5.0cm
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>特殊フォーム 通常のテキスト画面からでは作ることのできない特殊なデザインのラベルを作ることができます。 参照 P.82</p> </div>		

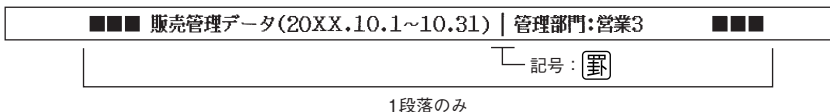
シフト + ファイル (フォーム)

機能編

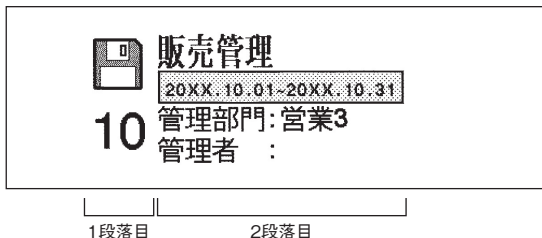
# フォーム見本

## ●デザインフォーム/メディア

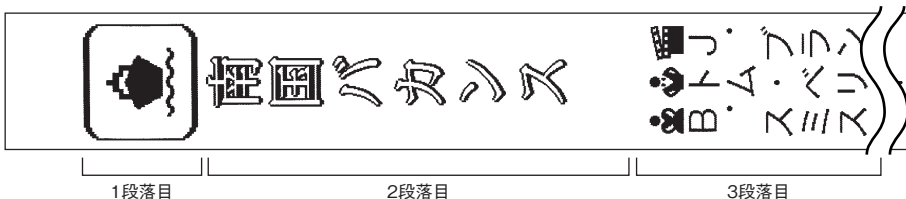
■ CDケース ..... CDケースの背ラベルに最適です。(推奨テープ幅：4mm)



■ FD・MO ..... FDやMOのラベルに最適です。(推奨テープ幅：18~24mm)



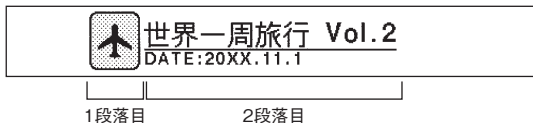
■ VHS(縦) ..... VHSビデオテープのたて書きラベルに最適です。(推奨テープ幅：18mm)



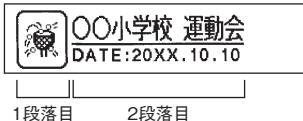
■ VHS(横) ..... VHSビデオテープのよこ書きラベルに最適です。(推奨テープ幅：18mm)



■ 8mmビデオ ..... 8mmビデオのラベルに最適です。(推奨テープ幅：9mm)



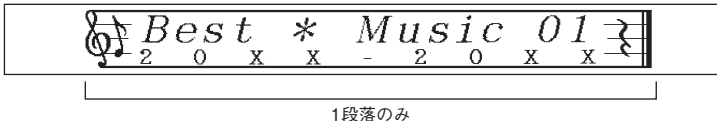
- ミニDV ..... ミニDV(デジタルビデオ)のラベルに最適です。(推奨テープ幅: 9mm)



- MD ..... MDのタイトルラベルに最適です。(推奨テープ幅: 4mm)

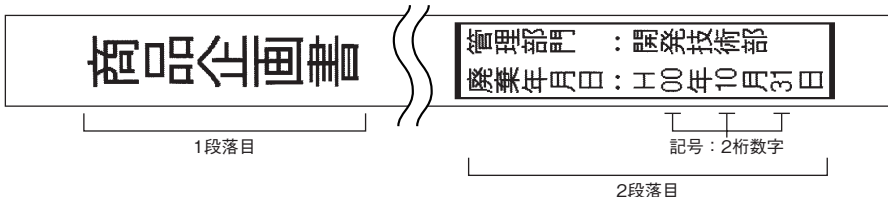


- 音楽テープ/DAT ..... 音楽テープやDATのタイトルラベルに最適です。(推奨テープ幅: 9mm)

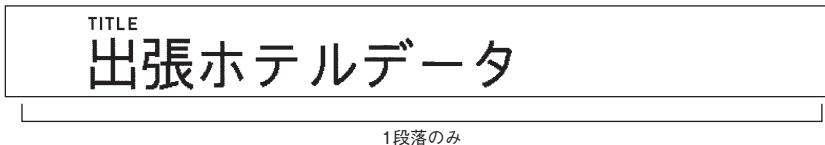


## ●デザインフォーム/オフィス

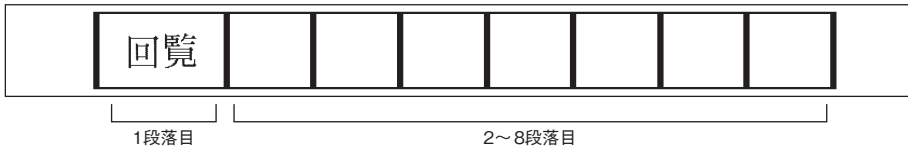
- A4ファイル/B5ファイル..... A4判/B5判ファイルの背見出しラベルとして最適です。(推奨テープ幅: 12mm)



- フォルダー山... フォルダーの山の部分に最適です。(推奨テープ幅: 12mm)



- 回覧の捺印..... 回覧文書に最適です。(推奨テープ幅: 12~24mm)



## MEMO

段落を増やすと捺印の枠が増えます。捺印の枠は9枠(合計10段落)まで増やせます。



- 備品管理票..... 備品管理の表示に最適です。(推奨テープ幅：18～24mm)

備品名	デジタルPBX
管理番号	0512-S
購入年月	20XX年10月
管理部署	営業部

└──────────┘
└──────────┘  
 1段落目                      2段落目

- ケーブル ..... 24mm幅ケーブル表示ラベル専用のフォームです。(推奨テープ幅：24mm)  
 ケーブルはパーソナルの分類からも呼び出せます。

NPO・0745

└──────────┘  
1段落のみ

### ●デザインフォーム/パーソナル

- 住所&氏名..... 住所、氏名の表示に最適です。(推奨テープ幅：12～24mm)

NAME: 坂本 和章  
 ADDRESS: 千代田区東神田2-10-18  
 TEL: 03 - 9876 - 〇〇〇〇

└──────────┘
└──────────┘  
 1段落目                      2段落目

- なまえ (縦)..... 名札や表札に最適です。(推奨テープ幅：6～24mm)

坂本 和章  
 三田 栄軒

└────────┘
└────────┘  
 1段落目   2段落目

- なまえ (横)..... 名札や表札に最適です。(推奨テープ幅：6～24mm)

はせがわ よしこ  
 長谷川美子

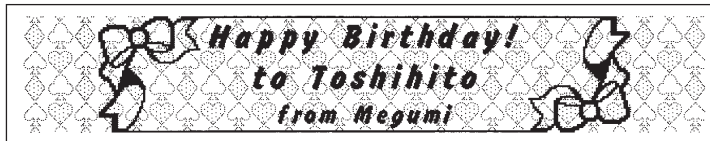
└────────┘
└────────┘  
 1段落目   2段落目

- 学校持ち物..... 持ち物表示に最適です。(推奨テープ幅：4～24mm)



1段落目      2段落目      3段落目

- 誕生日..... 誕生日の表示に最適です。(推奨テープ幅：9～24mm)



1段落のみ

- お祝い..... お祝いのラベルに最適です。(推奨テープ幅：9～24mm)



1段落のみ

- 銘板..... 名札や表札に最適です。(推奨テープ幅：4～24mm)



1段落のみ

## ●デザインフォーム/掲示

- 税込値札..... 値札に最適です。(推奨テープ幅：18～24mm)



1段落のみ

■ **注意!** ..... 注意喚起表示、警告表示に最適です。(推奨テープ幅: 9~24mm)



■ **禁止!** ..... 禁止表示に最適です。(推奨テープ幅: 9~24mm)



■ **メッセージ** ..... インパクトのあるメッセージに最適です。(推奨テープ幅: 9~24mm)



● **デザインフォーム/QRコード**

■ **QR携帯1** ..... 携帯電話で読取ると電話帳に登録できるQRコードです。(推奨テープ幅: 24mm)



■ **QR携帯2** ..... 携帯電話で読取ると電話帳に登録できるQRコードです。(推奨テープ幅: 24mm)



■ QR携帯3 ..... 携帯電話で読取ると電話帳に登録できるQRコードです。(推奨テープ幅：24mm)



## MEMO

- QRコードを含むフォームは、QRコードの内容も合わせて変更してください。
- 「QR携帯1」、「QR携帯2」、「QR携帯3」のQRコードは、それぞれDoCoMo、au、SoftBankの携帯電話での読み取り、登録に対応しています（2008年6月現在）。QRコードの読み取り、登録については、携帯電話の取扱説明書などを参照してください。
- QRコードの内容や誤り訂正レベルを変更する場合は、QRコードマーク(罫線)の直後(右側)にカーソルを合わせ、**[F-CODE]**を押してください。  
 参照 P.118「QRコードを印刷する」

■ QR備品管理... 備品管理の表示に最適です。(推奨テープ幅：18～24mm)



## ● 特殊フォーム

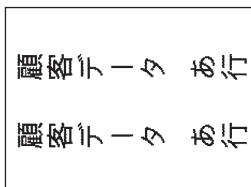
### !! 注意 !!

- 特殊フォームを呼び出すと、テキスト画面に入力した文章は消えてしまいます。特殊フォームを呼び出す前に、必要な文章はファイルに登録してください。  
 参照 P.89「ファイルを登録する」
- 入力内容にある「おもて」「うら」や「入力」、「1枚目」、「2枚目」は入力の案内をするためのガイドであり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。
- 特殊フォームで作成した文章は、ファイル登録できません。

## MEMO

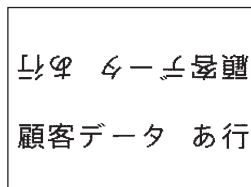
特殊フォームでも**[Shift]**を押しながら**[削除取消]**(=消去)を押すと、入力したテキストの全文消去ができます。

■ 見出し（縦）... たて書きのインデックスに最適です。



24mm幅テープ（長さ3.2cm）の印刷見本

■ 見出し（横）... よこ書きのインデックスに最適です。



24mm幅テープ（長さ3.2cm）の印刷見本

### 入力内容

おもて [顧客データ]あ行  
うら [顧客データ]あ行

指定可能な機能		書体、文字間、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網	
入力条件	入力可能な行数	2行（おもて1行、うら1行）	
	入力可能な文字数	各行27文字	
印刷可能な文字数		長さ1.8cm	各行4文字
		長さ3.2cm	各行8文字
		長さ6.0cm	各行17文字
		長さ8.0cm	各行23文字
		長さ11cm	各行27文字

### !! 注意 !!

- 印刷可能な文字数は、編集機能を指定しない状態での文字数です。「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。また英数字のプロポーショナル対応文字を含む場合も印刷可能な文字数は変わります。ただし、入力可能な文字数は27文字までです。
- 文字間で「密着」を選ぶと「中寄せ」の状態です印刷されます。
- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは「定長→字余り」が表示されます。  
[選択 改行] または [Print] 以外のボタンを押して印刷を中止し、文字数を減らすか、「伸・縮」で文字を小さくしてください。そのまま [選択 改行] または [Print] を押すと、定長を解除して印刷します。
- 4mm幅、6mm幅のテープには印刷できません。

### MEMO

- 「おもて」の行で [選択 改行] を押すと、「おもて」の行に入力したテキストが「うら」の行に自動的にコピーされます。
- ラベル前余白にカットマークを入れて印刷します。市販のハサミでカットマークをカットしてください。

■ ケーブル用.....ケーブル表示ラベル用の特殊フォームです。24mm幅テープに対応しています。



24mm幅テープ  
(長さ2.6cm) 1行  
の印刷見本

### 入力内容

入力 [ 本館□5F

指定可能な機能		書体、文字間、飾り字、 斜体・強調、伸・縮、囲み・網	
入力条件	入力可能な行数	1行	
	入力可能な文字数	20文字	
印刷条件	印刷可能な行数	1行(24mm幅テープ時)	
	印刷可能な文字数	長さ2.6cm	10文字
長さ5.0cm		20文字	

## !! 注意 !!

印刷可能な文字数は、編集機能を指定しない状態での文字数です。「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。また、英数字のプロポーショナル対応文字を含む場合も、印刷可能な文字数が変わります。ただし、入力可能な文字数は20文字までです。

## MEMO

- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは「定長→字余り」が表示されます。  
[選択改行]または[Print]以外のボタンを押して印刷を中止し、文字数を減らすか、「伸・縮」で文字を小さくしてください。そのまま[選択改行]または[Print]を押すと、定長を解除して印刷します。
- ラベル前余白にカットマークを入れて印刷します。市販のハサミでカットマークをカットしてください。

## 参考

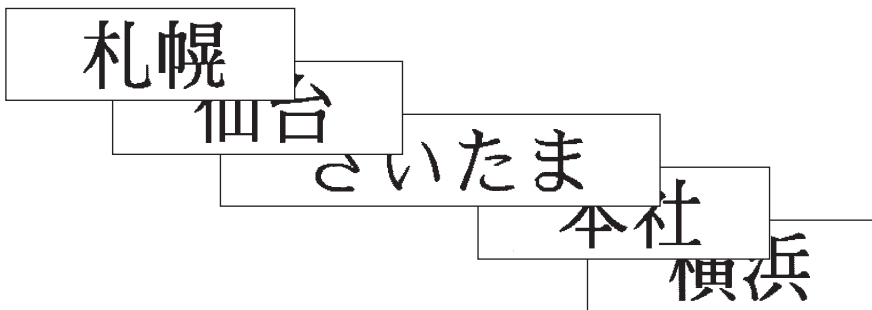
### 「ケーブル用」には、ケーブル表示ラベル

印刷部分を汚れなどから保護する「セルフラミネート」タイプ。  
白エリアに印刷し、透明エリアを巻きつけることによりラミネートできます。  
SV24K: 24mm幅(ケーブル径 φ2.1mm~φ5.4mm用)

### 「見出し(縦/横)」には、インデックスラベル

キングファイルのインデックス表示に最適。  
ミシン目入りラベルなので、折りやすくキレイに貼れます。  
STY24KM: インデックス山に貼り付けるタイプです(24mm幅 透明つや消し)。  
SSY24K: 書類などに直接貼り付けるタイプです(24mm幅 白)。

- 複数ラベル ..... 1行のラベルを複数枚同時に印刷します。



12mm幅テープの印刷見本

### 入力内容

- 1枚目 [ 札幌
- 2枚目 [ 仙台
- 3枚目 [ さいたま
- 4枚目 [ 本社
- 5枚目 [ 横浜

指定可能な機能		書体、文字間、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網
入力・印刷条件	ラベル数	最大10枚
	行数	1行
	文字数	文章全体で約175文字

### MEMO

- 入力した各行が、それぞれ印刷するラベルに対応しています。行の終わりで **選択改行** を押すと、新しいラベルに入力できます。
- 編集機能の設定値は、環境設定の保存値で設定されて印刷します。
- 複数枚のラベルは、ラベルとラベルの間にカットマークが印刷されます。市販のハサミでカットマークをカットしてください。





# 活用編

～「テプラ」をさらに活用しよう～

「入力した文章を保存しておきたい」

「あて名や名前のラベルを作りたい」

「外字を登録したい」

こんなときは、ファイル機能や外字機能を活用します。

# 文章を呼び出す・登録する（ファイル）

作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。ファイルには、文字とレイアウトなどラベルの状態がそのまま登録されます。

## ファイルメニュー

ファイルのメニュー一覧（太字は購入時の初期設定値です。）

メニュー	最初の選択肢	機能	参照ページ
ファイル ▶	登録	作成した文章を保存します	P.89
	呼出	登録した文章を呼び出します	P.90
	消去	登録した文章を消去します	P.91
印刷履歴 ▶	呼出	最近印刷した文章を呼び出します	P.92
	消去	印刷履歴を消去します	P.92
あて名 ▶	登録	あて名を登録します	P.94
	修正	登録したあて名を修正します	P.95
	消去	登録したあて名を消去します	P.95
	複写	登録したあて名を複写します	P.96
	印刷	登録したあて名ラベルを印刷します	P.96
名前 ▶	登録	名前を登録します	P.99
	修正	登録した名前を修正します	P.100
	消去	登録した名前を消去します	P.100
	印刷	登録した名前ラベルを印刷します	P.101
辞書 ▶	登録	辞書を登録します	P.102
	消去	登録した辞書を消去します	P.103

ファイル

活用編

## MEMO

- ファイルとあて名、名前は、同じエリアに保管されています。本機には、約5,000文字（最大で99個のファイル、ファイル名を含む）を登録することができますが、たくさんの文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できるファイルの件数が少なくなります。
- データがいっぱいで登録できない場合は「メモリー満員」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。

# ファイルを登録する

## 1 **ファイル**を押す

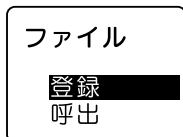
「ファイル」メニューが表示されます。

## 2



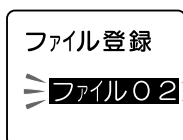
「ファイル」を選び、**選択 改行**を押す

## 3



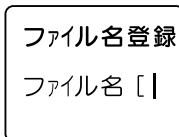
「登録」を選び、**選択 改行**を押す

## 4



◀ ▶ ▲ ▼ で登録番号を選び、**選択 改行**を押す

## 5



ファイル名を入力し、**選択 改行**を押す

15文字まで入力できます。入力しなくても登録できます。

## 6



内容を確認し、**選択 改行**を押す

「登録実行」と表示されます。

## MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは、**削除 取消**または**ファイル**を押し、操作を戻します。
- ファイルは99件まで登録できます。
- データがいっぱいで登録できない場合は「メモリー満員」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。
- 本機には、約5,000文字（最大で99個のファイル、ファイル名を含む）を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、たくさんのあて名や名前を登録していると、登録できるファイルの件数が少なくなります。
- 特殊フォームの文章は登録できません。

# ファイル呼び出す

現在のテキスト画面の文章を置き換える「上書き呼出」と、現在の文章に別段落で挿入する「連結呼出」があります。

「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面の文章は全消去され、呼び出したファイルの文章と置き換わります。「連結呼出」を選ぶと、カーソルのある段落の直後に新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。ただし、カーソルが段落1の1行目の行頭マークにある場合は、カーソルのある段落の前に、新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。

## 1 **ファイル**を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

## 2



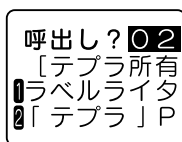
「ファイル」を選び、**選択 改行**を押す

## 3



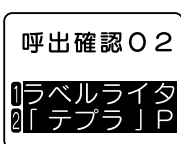
「呼出」を選び、**選択 改行**を押す

## 4



**← ↑ ↓ →**で番号を選び、**選択 改行**を押す

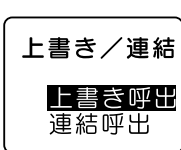
## 5



内容を確認し、**選択 改行**を押す

**← ↑ ↓ →**で文章を確認できます。

## 6



「上書き呼出」「連結呼出」のいずれかを選び、**選択 改行**を押す

文章が呼び出されます。

## !! 注意 !!

- 「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面で作成していた文章は失われ、復活できません。必要な文章は先にファイルに登録してください。
- 「連結呼出」の場合は、連結によって入力できる文章の制限をオーバーしても、そのまま呼び出します。オーバーした部分は自動的に文末から削除されます。
- 入力できる文章は約175文字です。

## MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは、**削除 取消**または**ファイル**を押し、操作を戻します。
- テキスト画面に文章がない状態で呼び出した場合は、手順⑤で文章が呼び出されます。

# ファイルを消去する

- 1 **ファイル**を押す  
「ファイル」メニューが表示されます。
- 2 **ファイル**  
「ファイル」を選び、**選択 改行**を押す  
ファイル  
ファイル  
印刷履歴
- 3 **ファイル**  
呼出  
消去  
「消去」を選び、**選択 改行**を押す
- 4 **消去？** **02**  
「テプラ」所有  
ラベルライター  
「テプラ」P  
◀ ▶ ▲ ▼ で番号を選び、**選択 改行**を押す

- 5 **消去確認** **02**  
内容を確認し、**選択 改行**を押す  
ラベルライター  
「テプラ」P  
◀ ▶ ▲ ▼ で文章を確認できます。
- 6 **消去？** **02**  
「消去」を選び、**選択 改行**を押す  
ファイルが消去されます。

## !! 注意 !!

消去したファイルは復活できません。

ファイル

## MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは、**削除 取消**または**ファイル**を押し、操作を戻します。

活用編

# 最近印刷した文章を呼び出す

本機は、最近印刷した文章を最大5つまで記憶しており、ファイル登録をし忘れた場合でも呼び出せます。

## 印刷履歴を呼び出す

- 1 **ファイル**を押す  
「ファイル」メニューが表示されます。
- 2 **ファイル**メニューで「印刷履歴」を選び、「印刷履歴」を押す  
あて名
- 3 「印刷履歴」メニューで「呼出」を選び、「呼出」を押す  
呼出  
消去
- 4 「呼出し？」メニューで文章番号を選び、「呼出し？」を押す  
2  
1 ラベルライタ  
2 「テブラ」P
- 5 「呼出確認」メニューで文章番号を確認し、「呼出確認」を押す  
2  
1 ラベルライタ  
2 「テブラ」P  
内容を確認し、文章が表示されます。

### !! 注意 !!

- 印刷履歴を呼び出すと、直前まで作成していた文章は失われ、復活できません。必要な文章は先にファイルに登録してください。
- 特殊印刷や特殊フォーム印刷などは印刷履歴の対象になりません。
- 文字数の多い文章の場合、履歴件数が5件にならないことがあります。また、QRコードを含むなど、ラベルの情報量によっては印刷履歴に記録されないことがあります。

### MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは、**削除取消**または**ファイル**を押し、操作を戻します。

## 印刷履歴を消去する

- 1 **ファイル**を押す  
「ファイル」メニューが表示されます。
- 2 「ファイル」メニューで「印刷履歴」を選び、「印刷履歴」を押す  
あて名
- 3 「印刷履歴」メニューで「消去」を選び、「消去」を押す  
印刷履歴  
呼出  
消去
- 4 「消去？」メニューで文章番号を選び、「消去？」を押す  
2  
1 ラベルライタ  
2 「テブラ」P
- 5 「消去確認」メニューで文章番号を確認し、「消去確認」を押す  
2  
1 ラベルライタ  
2 「テブラ」P  
内容を確認し、文章が表示されます。
- 6 「消去？」メニューで文章番号を確認し、「消去？」を押す  
2  
印刷履歴が消去されます。

### !! 注意 !!


消去した印刷履歴は復活できません。


# 名前や語句を登録する(あて名/名前/辞書)

## あて名ラベルを作る

あて名として郵便番号や住所、名前などを登録しておくことで、あて名ラベルをまとめて印刷できます。

### 登録できる項目とあて名ラベル

101-0031 東京都千代田区東神田二丁目10番18号 株式会社キングジム 開発部 山岸 正樹 様 
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

項目	入力内容	入力可能文字
〒番号(郵便番号)	[101-0031]	8文字
住所1	[東京都千代田区東神田二丁目10番18号]	20文字
住所2	[	20文字
会社	[株式会社キングジム]	20文字
部署	[開発部]	20文字
氏名	[山岸 正樹]	20文字
 (カスタマバーコード)	[10100312-10-18]	20文字

バーコードに入力した内容は、カスタマバーコードとして印刷されます。

参照  P.97「カスタマバーコードについて」

本機内に登録できるあて名は約5,000文字(最大99件のあて名)です。

### !! 注意 !!

- あて名ラベルは品番末尾に「\*」のついた24\*mm幅テープに対応しています。
- 郵便番号に入力した先頭の5桁に対応する住所を、「住所1」に自動的に入力できます。郵便番号変換は、2007年10月時点のデータをもとにおこなっています。そのため、お客様が入力したい住所が候補として表示されない場合もありますのであらかじめご了承ください。

### MEMO

あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的に付きます。あて名登録時に氏名を入力しないと、会社名または部署名の後ろに「御中」、氏名まで入力すると氏名の後ろに「様」が付きます。

氏名入力なし:「御中」が付きます

氏名入力あり:「様」が付きます

101-0031 東京都千代田区2  株式会社キングジム 開発部 御中
-------------------------------------------------

101-0031 東京都千代田区2  株式会社キングジム 開発部 山岸 正樹 様
---------------------------------------------------------

# あて名を登録する

1 **ファイル**を押す  
「ファイル」メニューが表示されます。

2 **ファイル**  
印刷履歴  
あて名  
名前  
「あて名」を選び、**選択 改行**を押す

3 あて名  
登録  
修正  
「登録」を選び、**選択 改行**を押す

4 あて名登録01  
〒番号 [   
住所1 [   
◀ ▶ ▲ ▼ で登録番号を選び、**選択 改行**を押す

5 あて名登録01  
号 [ 101 |   
1 [   
郵便番号を入力する  
4桁目を入力すると、自動的にハイフン( - )が挿入されます。

6 **変換**を押す  
郵便番号に対応する都道府県と市区町村名の候補が表示されます。

7 あて名登録01  
京都千代田区  
101-000  
地名が正しいときは、**選択 改行**を押す  
地名が違うときは、**◀ ▶ ▲ ▼**で適切な地名を選びます。

8 住所1を入力し、**選択 改行**を押す

9 住所2、会社名、部署名、氏名を入力し、**選択 改行**を押す

10 あて名登録01  
10-18 |   
必要に応じてカスタマバーコードを入力する

カスタマバーコードの項目で**変換**を押すと、郵便番号が自動的に入力されます。続けて住所部分を入力します。  
参照 P.97「カスタマバーコードについて」

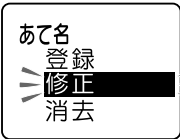
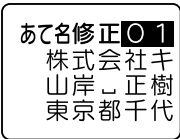
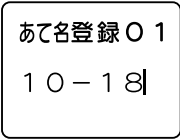
11 全項目入力後、**選択 改行**を押す  
「登録実行」と表示されます。

## MEMO

- 未入力の項目があっても登録できます。
- ネガ文字があるときは操作できません。
- 登録番号は数字ボタンでも選択できます(手順4)。
- 項目入力中に**選択 改行**を押すと、カーソルが次の項目へ移動します。カスタマバーコードの項目で**選択 改行**を押すと、あて名を登録できます。
- 操作を途中でやめるときは**削除 取消**または**ファイル**を押し、操作を戻します。
- たくさんの文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できるあて名の件数が少なくなります。データがいっぱいで登録できない場合は「メモリー満員」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。



## あて名を修正する

- 1 **ファイル**を押す
- 2 「あて名」を選び、**選択 改行**を押す
- 3  「修正」を選び、**選択 改行**を押す
- 4  **◀ ▶ ▲ ▼**で番号を選び、**選択 改行**を押す
- 5  内容を修正し、**選択 改行**を押す  
カスタマバーコードの項目で**選択 改行**を押すと「修正実行」と表示されます。

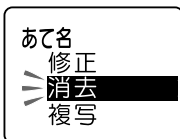
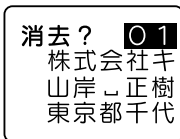

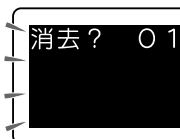
### MEMO

項目入力中に**選択 改行**を押すと、カーソルが次の項目へ移動します。カスタマバーコードの項目で**選択 改行**を押すと、あて名を登録できます。

### MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 登録番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは、**削除 取消**または**ファイル**を押し、操作を戻します。

## あて名を消去する

- 1 **ファイル**を押す
- 2 「あて名」を選び、**選択 改行**を押す
- 3  「消去」を選び、**選択 改行**を押す
- 4  **◀ ▶ ▲ ▼**で番号を選び、**選択 改行**を押す
- 5  内容を確認し、**選択 改行**を押す  
**◀ ▶**で文章を確認できます。
- 6  **選択 改行**を押すとあて名が消去されます。

### !! 注意 !!

消去したあて名は復活できません。

## あて名を複写する

① **ファイル**を押す

② 「あて名」を選び、**選択 改行**を押す

③

あて名 削除 複写 印刷	「複写」を選び、 <b>選択 改行</b> を押す
-----------------------	------------------------------

④

複写元? <b>01</b> 株式会社キ 山岸 正樹 東京都千代	◀ ▶ ▲ ▼ で複 写元の番号を選び、 <b>選択 改行</b> を押す
-------------------------------------------	---------------------------------------------

⑤

複写確認 <b>01</b> 株式会社キ 山岸 正樹 東京都千代	内容を確認し、 <b>選択 改行</b> を押す  ◀ ▶ で文章を確認 できます。
-------------------------------------------	--------------------------------------------------------

⑥

複写先? <b>02</b>	◀ ▶ ▲ ▼ で複 写先の番号を選び、 <b>選択 改行</b> を押す
----------------	---------------------------------------------

⑦

複写実行? 01 → 02	内容を確認し、 <b>選択 改行</b> を押す  あて名が複写され ます。
------------------	----------------------------------------------------

## あて名ラベルを印刷する

① **ファイル**を押す

② 「あて名」を選び、**選択 改行**を押す

③

あて名 複写 印刷	「印刷」を選び、 <b>選択 改行</b> を押す
-----------------	------------------------------

④

あて名印刷 一部 全部	印刷する範囲を選 び、 <b>選択 改行</b> を押す  一部：1件のみ印刷 全部：すべてを印刷
-------------------	---------------------------------------------------------------

「全部」を選んだ場合は、印刷がはじまります。  
「一部」の場合は次の手順であて名を選びます。

⑤

印刷? <b>01</b> 株式会社キ 山岸 正樹 東京都千代	◀ ▶ ▲ ▼ で番 号を選び <b>選択 改行</b> を 押す  あて名が印刷され ます。
------------------------------------------	----------------------------------------------------------------

### !! 注意 !!

- あて名ラベルは24 \* mm幅テープに対応しています。
- カスタマバーコード付きのあて名ラベルを印刷するときは、バーコードリーダーで読み取りやすい白ラベルに黒文字のテープで作成することをおすすめします。

### MEMO

- あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的に付きます。
- 複数枚のラベルは、ラベルとラベルの間にカットマークが印刷されます。市販のハサミでカットマークをカットしてください。

### MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 登録番号は数字ボタンでも選択できます(手順④)。
- 操作を途中でやめるときは **削除 取消** または **ファイル** を押し、操作を戻します。

# カスタマバーコードについて

郵便局では、郵便番号とあて名を合わせた情報からバーコードを作成し、処理していますが、差し出し側があらかじめバーコードを印刷することもできます。このバーコードを「カスタマバーコード」といいます。

本機では、郵便番号と住所表示番号を入力するだけで、「カスタマバーコード」を印刷することができます。

## MEMO

- 「カスタマバーコード」は印刷する義務はありません。
- 「カスタマバーコード」は7桁郵便番号時のみご利用いただけます。
- 「カスタマバーコード」、「カスタマバーコード割引制度」などの利用についての詳細は、お客様の配達を受け持つ郵便局におたずねください。

## カスタマバーコード指定の基本ルール

カスタマバーコードを印刷する場合、「あて名登録」の「カスタマバーコード (〒[||||])」欄に「郵便番号」+「住所表示番号」を入力します。基本ルールを以下に示します。

**例**：千葉県鎌ヶ谷市右京塚  
東3丁目20-5 鈴木・A&BコーポB604号

- 住所データを次のAとBの部分に分割する  
住所A：「郵便番号」で指定される町域名まで  
住所B：町域名以降の住所
- 住所Aを郵便番号に置き換える  
〔-〕（ハイフン）は省略
- 住所Bにあるアルファベットの小文字は大文字に置き換える
- データ内にある以下の文字は取り除き、後ろのデータを詰める  
「&」（アンパサンド）「/」（スラッシュ）「・」（中黒）「.」（ピリオド）
- ③および④で処理したデータから、算用数字、ハイフンおよび連続していないアルファベットを抜き出す
- 抜き出された文字の前にある下記の文字等は、ハイフン1文字に置き換える  
「漢字」、「かな文字」、「カナ文字」、「漢数字」、「空白」、「2文字以上連続したアルファベット文字」
- ⑥の置き換えで、ハイフンが連続する場合は1つにまとめる
- 先頭がハイフンの場合は取り除く
- アルファベットの前後にある（-）を取り除く
- ②で処理したデータに⑨で処理したデータをつなげる

	郵便番号	住所B
	XXX-XXXX	東3丁目-20-5 鈴木・A&BコーポB604号
(2)の処理	XXXXXX	
(3)の処理		東3丁目-20-5 鈴木・A&BコーポB604号
(4)の処理		東3丁目-20-5 鈴木ABコーポB604号
(5)の処理	3	-20-5 B604
(6)の処理	東 丁目	鈴木ABコーポ
	「-」に置き換え	
(6)の処理後		-3--20-5-B604
(7)の処理		-3-20-5-B604
(8)の処理		3-20-5-B604
(9)の処理		3-20-5B604
(10)の処理	XXXXXXXX3	-20-5B604

## カスタマバーコードの記入例

- 漢数字が「丁目」「丁」「番地」「号」「地割」「線」「の」「ノ」の前にある場合は、住所Bとし、算用数字に変換して指定します。

**例**： 東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号  
永井タワー601  
郵便番号：xxx-xxxx  
住所B：十一丁目六番地一号永井タワー601  
バーコード [xxxxxxxx11-6-1-601]

**例**： 北海道帯広市稲田町南七線西28  
郵便番号：xxx-xxxx  
住所B：七線西28  
バーコード [xxxxxxxx7-28]

- 連続していないアルファベットは指定しますが、算用数字に続くアルファベット1文字「F」（ビル等の階数表示の略）については指定しません。

もし、「F」以降に指定対象となるデータがある場合は、「F」はハイフンに置き換えます。

**例**： 茨城県日立市宮田町6丁目7-14  
ABCビル2F  
郵便番号：xxx-xxxx  
住所B：6丁目7-14ABCビル2F  
バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2]

**例**： 茨城県日立市宮田町6丁目7-14  
ABCビル2F201号室  
郵便番号：xxx-xxxx  
住所B：6丁目7-14ABCビル2F201号室  
バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2-201]

- アルファベットの前後にあるハイフンは取り除きます。また、アルファベットの前後にあるハイフンを取り除いた結果、アルファベットが2文字以上連続してもアルファベットは取り除きません。

**例**： 神戸市中央区港島中町9丁目7-6  
南シティA棟1F1号  
郵便番号：xxx-xxxx  
住所B：9丁目7-6南シティA棟1F1号  
バーコード [xxxxxxxx9-7-6A1-1]

**例**： 京都府綾部市青野町綾部6-7  
LプラザB106  
郵便番号：xxx-xxxx  
住所B：6-7 LプラザB106  
バーコード [xxxxxxxx6-7LB106]

- バーコードの合計桁数が20文字を超えた場合、以降の文字については切り捨てます。

**例**： 札幌市中央区南四条西29丁目1524-23  
第2山瀬ハウス501  
郵便番号：xxx-xxxx  
住所B：29丁目1524-23第2山瀬ハウス501  
バーコード [xxxxxxxx29-1524-23-2-]

## MEMO

本機ではバーコードは20文字まで入力できます。

# 名前を登録する

名前データを登録します。名前は名前番号01～40（40件）の番号に順に登録します。

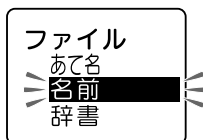
名前は、グループに登録し、1件だけで印刷することも、グループでまとめて印刷することもできます。

わたなべのりひろ  
渡辺了洋

## 1 [ファイル]を押す

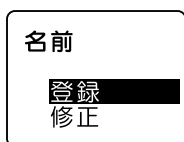
「ファイル」メニューが表示されます。

## 2



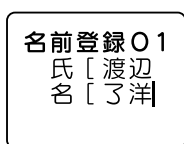
「名前」を選び、  
[選択 改行]を押す

## 3



「登録」を選び、  
[選択 改行]を押す

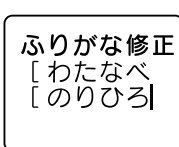
## 4



名前（氏と名）を  
入力し、[選択 改行]を  
押す

各7文字まで入力で  
きます。

## 5

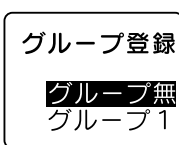


ふりがなを確認し、

[選択 改行]を押す

必要に応じてふり  
がなを修正します。

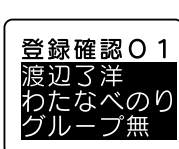
## 6



登録するグループ  
を選び、[選択 改行]を  
押す

グループに登録し  
ない場合は「グルー  
プ無」を選びます。

## 7



内容を確認し、

[選択 改行]を押す

「名前登録実行」と  
表示されます。

ファイル  
名前

## MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除 取消]または[ファイル]を押し、操作を戻します。
- たくさんの文章をファイルに登録していたり、あて名を登録していると、登録できる名前の件数が少なくなります。データがいっぱいで登録できない場合は「メモリー満員」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。


活  
用  
編

## 名前を修正する

① **ファイル**を押す

② 「名前」を選び、**選択 改行**を押す

③ 「修正」を選び、**選択 改行**を押す



④ 名前の1文字目の行（あ行～わ行）を選び、**選択 改行**を押す

ふりがな  
はまや **わ** 委

先頭文字がアルファベットのときは「英」、かな・英数以外の場合は「他」を選択します。

⑤ **← ↑ ↓ →**で名前を選び、**選択 改行**を押す

ふりがな  
さわだけん  
**わたなべの**  
わたらいさ

⑥ 内容を確認し、**選択 改行**を押す

確認？  
渡辺了洋  
わたなべのり  
グループ無

⑦ 内容を修正する  
名前、ふりがな、グループをそれぞれ修正します。


名前修正  
氏 [渡  
名 [了

## 名前を消去する

① **ファイル**を押す

② 「名前」を選び、**選択 改行**を押す

③ 「消去」を選び、**選択 改行**を押す



④ 名前の1文字目の行（あ行～わ行）を選び、**選択 改行**を押す

ふりがな  
はまや **わ** 委

先頭文字がアルファベットのときは「英」、かな・英数以外の場合は「他」を選択します。

⑤ **← ↑ ↓ →**で名前を選び、**選択 改行**を押す

ふりがな  
さわだけん  
**わたなべの**  
わたらいさ

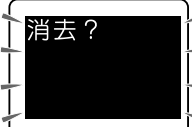
⑥ 内容を確認し、**選択 改行**を押す

確認？  
渡辺了洋  
わたなべのり  
グループ無

⑦ 消去を確認し、**選択 改行**を押す

消去確認  
渡辺了洋  
わたなべのり  
グループ無

⑧ **選択 改行**を押す  
名前が消去されます。



### !! 注意 !!

消去した名前は復活できません。

### MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、**削除 取消**または**ファイル**を押し、操作を戻します。

# 名前ラベルを印刷する

名前は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。  
また、印刷時に「おこのみ印刷」を選ぶと、書体やラベルの長さ（定長）などを指定できます。

① **ファイル**を押す

② 「名前」を選び、**選択 改行**を押す

③ **名前 消去 印刷**を選び、**選択 改行**を押す

④ **名前印刷**を選び、**選択 改行**を押す

印刷する範囲を選び、**選択 改行**を押す

一部：1件のみ印刷  
全部：すべての名前を印刷  
グループ1/2：選択したグループ内のすべての名前を印刷  
「全部」または「グループ」を選んだ場合は、ラベル指定の画面になります（手順③）。「一部」の場合は次の手順で名前を選びます。

⑤ **ふりがな**を選び、**選択 改行**を押す

名前の1文字目の行（あ行～わ行）を選び、**選択 改行**を押す

先頭文字がアルファベットのときは「英」、かな・英数以外の場合は「他」を選択します。

⑥ **ふりがな**を選び、**選択 改行**を押す

名前を選び、**選択 改行**を押す

名前のふりがなが5文字まで表示されます。

⑦ **確認？**を選び、**選択 改行**を押す

内容を確認し、**選択 改行**を押す

⑧ **ラベル指定**を選び、**選択 改行**を押す

そのまま印刷する場合は「おまかせ」を選び、**選択 改行**を押す

「おこのみ」を選ぶと、定長印刷、書体、飾り字、斜体・強調、ふりがなの有無が指定できます。

⑨ **おまかせ印刷**を選び、**選択 改行**を押す

**印刷実行？**を選び、**選択 改行**を押す

名前ラベルが印刷されます。

## MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、**削除 取消**または**ファイル**を押し、操作を戻します。
- 複数枚のラベルは、ラベルとラベルの間にカットマークが印刷されます。市販のハサミでカットマークをカットしてください。

## !! 注意 !!

4mm幅テープでは「ふりがな」が入力されていても、名前1行のラベルが印刷されます。

9mm幅テープ（「ふりがな」あり）    9mm幅テープ（「ふりがな」なし）    4mm幅テープ

わたなべのりひろ  
渡辺了洋

渡辺了洋

渡辺了洋

## 変換できない語句を登録する（辞書の登録）

難しい人名や熟語など一度に漢字変換することが難しい「語句」を辞書登録しておく、通常の漢字変換と同じ操作で、簡単に変換できます。辞書には、最大30個登録できます。

例：「特許出願書（とつきよしゆつ）」を登録する

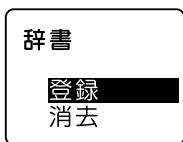
1 **ファイル** を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

2 **辞書** を選び、**選択 改行** を押す



3 **登録** を選び、**選択 改行** を押す



4 **辞書登録01**

◀ ▶ ▲ ▼ で登録番号を選び、**選択 改行** を押す

5 **辞書登録01**  
特許出願書]

語句を入力し、**選択 改行** を押す

6 **辞書登録01**  
出願書 ]  
きよしゆつ]

読みをひらがなで入力し、**選択 改行** を押す

「読み」はひらがなのみ入力できます。  
語句が登録されます。

### MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、**削除 取消** または **ファイル** を押し、操作を戻します。
- 登録できる「語句」の文字数は5文字以内、「読み」の文字数は16文字以内です（濁音、半濁音は2文字分）。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- 登録済みの辞書と同じ「語句・読み」で登録しようとする、「辞書にあり！」と表示され、登録できません。違う「語句・読み」を入力してください。
- 辞書登録では編集・連番・バーコードの登録はできません。
- 辞書には漢字だけでなく、記号・外字・英数字・英記号も登録できます。

## 語句を呼び出す

登録した語句は、通常の漢字変換と同じように呼び出すことができます。

1 **特許出願書**  
きよしゆつ]

「とつきよしゆつ」を入力し、**変換 スペース** を押す

辞書登録した語句が変換候補として表示されます。

2 **特許出願書**

「特許出願書」になっている状態で、**選択 改行** を押す

「特許出願書」が確定されます。



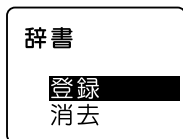
## 辞書の語句を修正する

例：「読み」の「とつきよしゆつ」を「とくしゆつ」に変える

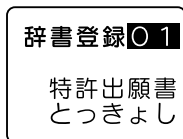
① **ファイル**を押す

② 「辞書」を選び、**選択 改行**を押す

③ 「登録」を選び、**選択 改行**を押す

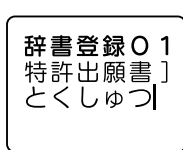


④ **◀ ▶ ▲ ▼**で番号を選び、**選択 改行**を押す



登録した語句が表示されます。

⑤ 内容を修正し、**選択 改行**を押す



修正した辞書が登録されます。

## 辞書の語句を消去する

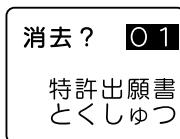
① **ファイル**を押す

② 「辞書」を選び、**選択 改行**を押す

③ 「消去」を選び、**選択 改行**を押す



④ **◀ ▶ ▲ ▼**で番号を選び、**選択 改行**を押す

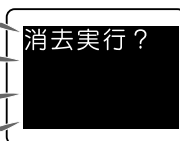


⑤ 内容を確認し、**選択 改行**を押す



**◀ ▶**で文章を確認できます。

⑥ **選択 改行**を押す



辞書が消去されます。

### !! 注意 !!

消去した辞書の語句は復活できません。

### MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、**削除 取消**または**ファイル**を押し、操作を戻します。

# 外字を使う

自分でデザインしたマークや会社のロゴ、対応していない漢字や内蔵されていない文字、記号は、外字として登録すると、文中に入力し印刷できます。

外字は正方形です。横長のロゴタイプなどは複数の外字に切り分けて登録し、「編集」で文字間を「密着」に指定すると、つながったロゴとして印刷できます。

外字2つに分けて登録（文字間「ふつう」）



文字間「密着」



## MEMO

外字は4文字まで登録できます。

### 概要

外字を登録するときは、1つの外字について、16・24・32・48ドットの4段階の大きさの字形データを作成します。これは、複数の文字サイズを美しく印刷するためです。

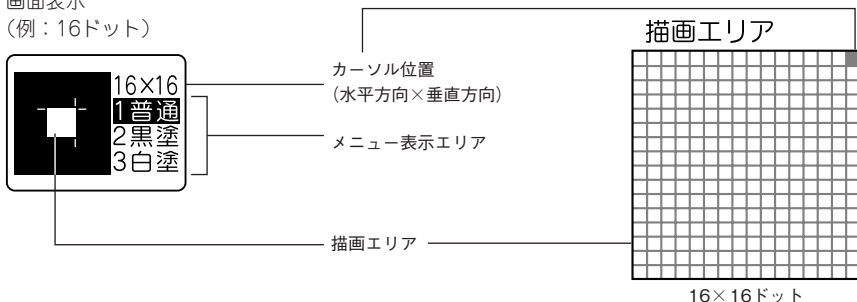
ただし、4段階すべての外字を始めから作る手間をなくすため、最初に16ドットのデータを入力すると、これをもとに自動的に拡大して24・32・48ドットの字形データを作り、あとから細部を補正して作るしくみになっています。

## 画面表示と描画方法

外字の作成は、方眼紙のマス目を埋めていくような作業です。画面に表示された描画エリアを方眼紙に見立て、点（ドット）を塗りつぶしていきます。

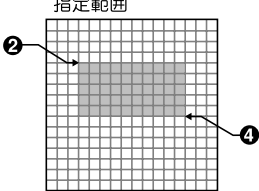
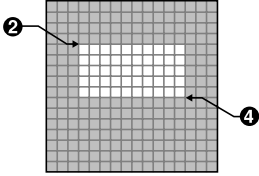
画面表示

(例：16ドット)



描画方法（メニュー表示エリアで選択）

描画方法（メニュー）には、1ドットずつ塗りつぶす「普通」のほか、ブロックで黒く塗りつぶす「黒塗」、ブロックで白く塗りつぶす「白塗（＝消去）」があり、それぞれ数字ボタン **1** / **2** / **3** で選択します。

メニュー	描画方法	手順
普通	1つ1つの点（ドット）ずつ塗りつぶす	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>1</b> <b>1</b>を押す。 メニュー「1普通」がネガ表示されます。</li> <li><b>2</b> <b>←</b> <b>↑</b> <b>↓</b> <b>→</b> で塗りつぶすドットにカーソルを移動する。</li> <li><b>3</b> <b>Shift</b>を押す。 カーソル位置が黒く塗りつぶされます。もう一度押すと、白く塗りつぶされます。</li> </ol>
黒塗	広い範囲のブロックを黒く塗りつぶす 指定範囲 	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>1</b> <b>2</b>を押す。 メニュー「2黒塗」がネガ表示されます。</li> <li><b>2</b> <b>←</b> <b>↑</b> <b>↓</b> <b>→</b> で塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを移動する。</li> <li><b>3</b> <b>Shift</b>を押す。</li> <li><b>4</b> <b>←</b> <b>↑</b> <b>↓</b> <b>→</b> で対角線上のもう一方の頂点にカーソルを移動する。</li> <li><b>5</b> <b>Shift</b>を押す。手順<b>2</b>と<b>4</b>で指定した範囲全体が黒く塗りつぶされます。</li> </ol>
白塗	広い範囲のブロックを白くする（消す） 指定範囲 	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>1</b> <b>3</b>を押す。 メニュー「3白塗」がネガ表示されます。</li> <li><b>2</b> <b>←</b> <b>↑</b> <b>↓</b> <b>→</b> で塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを移動する。</li> <li><b>3</b> <b>Shift</b>を押す。</li> <li><b>4</b> <b>←</b> <b>↑</b> <b>↓</b> <b>→</b> で対角線上のもう一方の頂点にカーソルを移動する。</li> <li><b>5</b> <b>Shift</b>を押す。手順<b>2</b>と<b>4</b>で指定した範囲全体が白く塗りつぶされます。</li> </ol>

# 外字を作成し、登録する


例：外字番号「2」に「」を登録する

① **記号** を押す

「記号」メニューが表示されます。

② **記号** **外字** 「外字」を選び、  
**選択 改行** を押す

③ **記号** **外字** 「登録」を選び、  
**登録** **登録** **選択 改行** を押す

④ **登録** **2**  で  
登録番号を選び、  
**選択 改行** を押す

⑤ **16×16** **1 普通** **2 黒塗** **3 白塗**  
16ドットのデータを  
を描画する  
**Shift** と  
 で描  
画します。  
参照  P.105「画  
面表示と描画方法」

⑥ 16ドットの描画が終わったら、**選択 改行** を  
押す

16ドットのデータをもとに、24・32・48ドッ  
トのデータが自動的に拡大作成されます。

⑦ **24×24** **24・32・48ドッ** **トのデータを補正**  
**1 普通** **2 黒塗** **3 白塗**  
する

手順⑤と同様の操作で、拡大されたデータ  
を補正します。**選択 改行** を押すと、次のサイ  
ズの描画に移ります。

## !! 注意 !!

24～48ドットすべてのデータを補正しない  
と、きれいに印刷されません。

⑧ 48ドットの描画が終わったら、**選択 改行** を  
押す

「外字登録完了」と表示されます。

## MEMO


- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、**削除 取消** または **記号** を押し、操作を戻します。
- 外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

## 外字を修正する

例：外字番号「2」の48ドットデータを修正する

- 1 記号 を押す
- 2 「外字」を選び、選択 改行 を押す
- 3 記号 外字 「修正」を選び、  
修正 選択 改行 を押す
- 4  修正 2  
◀ ▶ ▲ ▼ で番号を選び、  
選択 改行 を押す  
16ドットの描画画面が表示されます。
- 5  48×48  
1 普通  
2 黒塗  
3 白塗  
48ドットの描画画面が表示されるま  
で 選択 改行 を押す
- 6 48ドットのデータを修正する  
参照 P.105「画面表示と描画方法」
- 7 選択 改行 を押す  
外字が修正されます。


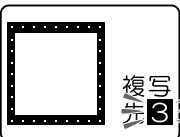

## 外字を呼び出す

- 1 記号 を押す
- 2 「外字」を選び、選択 改行 を押す
- 3 記号 外字 「呼出」を選び、  
呼出 修正 改行 を押す
- 4  呼出 2  
◀ ▶ ▲ ▼ で番号を選び、  
選択 改行 を押す  
カーソル位置に外字が入力されます。

### MEMO



- ネガ文字があるときは操作できません。
- 登録番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 記号 を押し、操作を戻します。
- 外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

## 外字を複写する

- 1 **記号** を押す
- 2 「外字」を選び、**選択 改行** を押す
- 3 **記号** **外字** 「複写」を選び、**選択 改行** を押す
- 4  **複写元** 2  
◀ ▶ ▲ ▼ で  
複写元の番号を選  
び、**選択 改行** を押す
- 5  **複写先** 3  
◀ ▶ ▲ ▼ で  
複写先の番号を選  
び、**選択 改行** を押す
- 6  **複写元** 2  
↓  
**複写先** 3  
内容を**確認し**、**選択 改行** を押す  
外字が複写されま  
す。

記号  
〔外字〕

## 外字を消去する

- 1 **記号** を押す
- 2 「外字」を選び、**選択 改行** を押す
- 3 **記号** **外字** 「消去」を選び、**選択 改行** を押す
- 4  **消去** 2  
◀ ▶ ▲ ▼ で番  
号を選び、**選択 改行**  
を押す
- 5  **消去** 2  
内容を**確認し**、**選択 改行** を押す  
外字が消去されま  
す。

### !! 注意 !!

消去した外字は復活できません。消去された外字が文章などに使われていた場合、その外字は空白として印刷されます。

### MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 登録番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは、**削除 取消** または **記号** を押し、操作を戻します。
- 外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

# 外字を参照作成し、登録する

参照登録・参照修正は、本機で入力できる文字や記号のデータから外字を作成します。

## ●参照登録

テキストの文字（記号）を呼び出し、16ドットを修正します。修正された16ドットの文字（記号）を自動拡大（24→32→48ドット）しながら外字を作成します。

## ●参照修正

テキストの文字（記号）を呼び出し、16・24・32・48ドットの各サイズでテキストの文字（記号）を呼び出しそれぞれ修正し、外字を作成します。

基本の操作は外字の登録、修正と同じように操作しますが、参照登録・参照修正の場合は、はじめにテキスト画面に参照したい文字（記号）を入力しておきます。

例：「記号」の「生き物」の「」にヒゲをつけて「」にする

1



参照する文字（記号）を入力し、カーソルをその後ろ（右側）に合わせる

7

16ドットの描画が終わったら、**選択 改行**を押す

自動的に拡大作成されます。

## MEMO

- 連番、バーコード、編集記号、半角スペース、外字、イラストは参照できません。
- 参照できる文字は、テキスト画面でカーソルの左側にある1文字だけです。

2

**記号**を押す

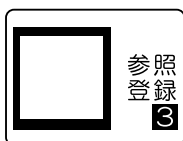
3

「外字」を選び、**選択 改行**を押す

4

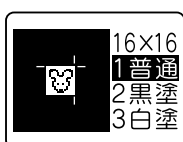
記号 外字  
参照登録  
「参照登録」または「参照修正」を選び、**選択 改行**を押す

5



◀ ▶ ▲ ▼ で登録番号を選び、**選択 改行**を押す

6



データを修正する

参照文字が16ドットで表示されるので、これをもとに修正します。

参照  P.105「画面表示と描画方法」

8

24・32・48ドットのデータを補正する

**選択 改行**を押すと、次のサイズの描画に移ります。

9

48ドットの描画が終わったら、**選択 改行**を押す

「参照登録完了」と表示されます。

## MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、**削除 取消**または**記号**を押し、操作を戻します。
- 外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

# 読みのわからない漢字を入力する

「読み」のわからない漢字は、漢字検索機能で部首の読み・画数による検索や、コードによる入力ができます。入力できるコードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードです。




## MEMO

本書には区点コード表を掲載しております。部首、JISコード、シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書もしくはコード表をご参照ください。

参照  P.149「漢字変換表」

## 漢字検索メニュー一覧

**Shift**を押しながら **あ・ア・A**（＝漢字検索）を押すと以下のメニューが表示されます（**太字**は購入時の初期設定値です）。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
<b>漢字検索</b> コード ▶ コードを入力して漢字を呼び出します。 参照  P.111	コード検索 ▶ コード	漢字検索	
部首読み ▶ 部首の読みで漢字を検索します。 参照  P.112	部首読み ▶ 読み	部首選択 ▶	漢字検索
部首画数 ▶ 部首の画数で漢字を検索します。 参照  P.112	部首画数 ▶ 画数	部首選択 ▶	漢字検索

シフト

+

あ・ア・A

【漢字検索】

活用編




# コードで入力する

「読み」のわからない漢字を、コードで入力できます。  
入力できるコードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードです。


## MEMO

本書には区点コード表を掲載しております。JISコード、シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照  P.149「漢字変換表」

例：「お休み處」と入力する

①  ネガ文字がないことを確認する

② 入力したい漢字「處」のコードを調べる  
コードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードのいずれでもかまいません。  
處…4961 (区点コード)  
参照  P.149「漢字変換表」

③  を押しながら  (=漢字検索) を押す  
「漢字検索」メニューが表示されます。

④  「コード」を選び、  
   を押す

⑤  コード 4961      を押します。

最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。  
コードを入力すると、目的の文字以外の文字も表示されることがあります。例えば4961は区点コードでは「處」ですが、JISコードでは「普」です。このように異なるコードにも対応した漢字があるときは、候補が複数表示されます。

⑥  「處」を選び、  
 を押す  
カーソル位置に「處」が入力されます。

## MEMO

- ・ネガ文字があるときは操作できません。
- ・操作を途中でやめるときは、 または  を押し、操作を戻します。
- ・コードの入力を間違えたときは  を押して入力しなおしてください。

# 部首による漢字検索

漢字を部首の読みや画数で検索し、入力できます。

例：「榎（えのき）」（部首：木）を入力する

## 部首の読みで検索する

1 **Shift**を押しながら **あ・ア・A**（＝漢字検索）を押す

「漢字検索」メニューが表示されます。

2 「部首読み」を選び、**選択 改行**を押す

漢字検索  
コード  
部首読み  
部首画数

3 検索する部首の読みをひらがなで入力し、**選択 改行**を押す

部首読み  
み [きへん]

「きへん」を入力します。

4 **← ↑ ↓ →**で部首を選び、**選択 改行**を押す

部首選択  
木

「木」を選択します。  
選択した部首の漢字が表示されます。

5 目的の漢字を選び、**選択 改行**を押す

榎  
杏 椅 鬱 崇 榎 榎

「榎」が入力されます。これで入力完了です。

1 榎

## 部首の画数で検索する

1 **Shift**を押しながら **あ・ア・A**（＝漢字検索）を押す

「漢字検索」メニューが表示されます。

2 「部首画数」を選び、**選択 改行**を押す

漢字検索  
部首読み  
部首画数

3 検索する部首の画数を入力し、**選択 改行**を押す

部首画数  
画数 4

画数は **4** を押しします。

4 **← ↑ ↓ →**で部首を選び、**選択 改行**を押す

部首選択  
方 无 日 木 困 欠

「木」を選択します。  
選択した部首の漢字が表示されます。

5 目的の漢字を選び、**選択 改行**を押す

榎  
杏 椅 鬱 崇 榎 榎

「榎」が入力されます。これで入力完了です。

1 榎

シフト + あ・ア・A 「漢字検索」

活用編

## MEMO

- ・ネガ文字があるときは操作できません。
- ・操作を途中でやめるときは、**削除 取消**または **あ・ア・A** を押し、操作を戻します。
- ・部首読みで入力できる読みは16文字までです。
- ・部首画数で入力できる数字は1～23です。0もしくは24以上は入力できません。

# 連番やバーコードを印刷する

【バーコード】を押すと、連続番号やバーコードが入力できます。

## 連番・バーコードメニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

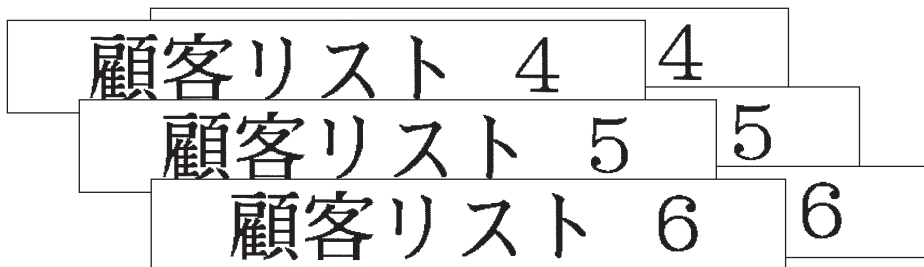
メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	次の選択肢		
<b>連番・バーコード</b> <b>連続番号</b> ▶ 連続番号 連番の入ったラベルを作ります。 参照 P.114	<b>1桁</b> ▶ 2桁 ▶	<b>×桁連番</b> ▶ 初期値	<b>繰返し回数</b> <b>1回</b> 2回 3回 4回 5回 10回			
	<b>バーコード</b> ▶ バーコード バーコードの入ったラベルを作ります。 参照 P.116	JAN-8 ▶ JAN-13 ▶	<b>全体の幅</b> ▶ 小さめ <b>ふつう</b> 大きめ	<b>QRコード</b> ▶	用途 ▶ 一般 URL	セルサイズ ▶ 大 <b>中</b> 小
	ITF NW-7 ▶	<b>全体の幅</b> ▶ 小さめ <b>ふつう</b> 大きめ	<b>細・太の比率</b> ▶ 2.0 <b>2.5</b> 3.0	<b>C/D</b> ▶ あり <b>なし</b>		
	UPC-A ▶ UPC-E ▶	<b>全体の幅</b> ▶ 小さめ <b>ふつう</b> 大きめ				

## 連番を印刷する

数字または英字の部分だけが異なる複数のラベルを作る場合、連続番号を指定すると、1枚印刷するたびに、自動的に加算して印刷します。

連続番号には「1桁」「2桁」があります。連続番号を印刷するときは、初期値と繰り返し回数（1、2、3、4、5、10回）を指定します。繰り返し回数では同じ数字を何回繰り返すかを指定します。

例：2桁連番で4、5、6…の入ったラベルを2枚ずつ作る

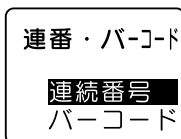


① 連番を入れる位置にカーソルを合わせる

② **[F-コード]**を押す

「連番・バーコード」メニューが表示されます。

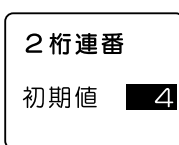
③ 「連続番号」を選び、**[選択 改行]**を押す



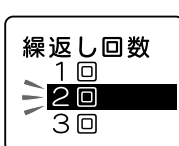
④ 「2桁」を選び、**[選択 改行]**を押す



⑤ 2桁連番  
初期値 **[4]**  
初期値に「4」を入力し、**[選択 改行]**を押す



⑥ 繰り返し回数「2回」を選び、**[選択 改行]**を押す



連番（連番マーク<sup>①</sup>+数値エリア「4」）が入力されます。



### MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、**[削除 取消]**または**[F-コード]**を押し、操作を戻します。
- 初期値には、「1桁」の場合は英数字1桁、「2桁」の場合は数字を2桁まで入力できます。テキスト画面での連番マークは、「1桁」が<sup>①</sup>N、「2桁」が<sup>②</sup>NNになります。

## 7 Printを押す

「4」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト 4

## 8 Printを押す

繰り返し回数「2回」を指定しているので、2枚目の「4」のラベルが印刷されます。

顧客リスト 4

印刷後、数値入力エリアの番号が加算され「5」になります。

## 9 Printを押す

「5」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト 5

以降、同様に繰り返します。

### MEMO

- 連番の初期値に指定できるのは、「1桁」の場合は、数字の0～9とアルファベットのA～Z、a～zです。「2桁」の場合は、数字の0～9または00～99です。小数点やマイナスは指定できません。
- 「1桁」の場合、1、2、3、4…と9まで数字が1つずつ繰り返ります。英字の場合、A(a)、B(b)、C(c)、D(d)とアルファベット順に1つずつ繰り返ります。

「1桁」で数字の場合

1、2、3、… 8、9、0、1、…

「1桁」で英字の場合

A、B、C、… X、Y、Z、A、…

- 「2桁」の場合、1、2、3、4…と99(または、01、02、03、04…と99)まで数字が1つずつ繰り返ります。

「2桁」で初期値が1桁の場合

1、2、3、… 9、10、… 98、99、0、1、…

「2桁」で初期値が2桁の場合

01、02、03、… 09、10、… 98、99、00、01、…

- 1つの文章に入力できる連番は、バーコードと合わせて3個までです。
- 連番の初期値や繰り返し回数を変更する場合は、連番の直後(右側)にカーソルを合わせ、**[←→]**を押してください。「連番・バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- 連番を削除するときは、連番の直後(右側)にカーソルを合わせ、**[削除]**を押します。
- 連番(連番マーク<sup>1</sup>**[N]**、<sup>2</sup>**[N]**+数値エリア)にも、通常の文字と同様に、編集機能を指定できます。

# バーコードを印刷する

各種規格に準じたバーコードを印刷することができます。

## 印刷できるバーコードの規格と指定できる項目

規格	全体の幅 小さめ/ふつう/大きめ	細・太の比率 2.0/2.5/3.0	C/D あり/なし
JAN-13・JAN-8 UPC-A・UPC-E	○	-	-
NW-7・ITF	○	○	○

**太字**は購入時の初期設定値です。

○：指定可能

-：指定不要

全体の幅：バーコード全体の幅

細・太の比率：細いバーと太いバーの太さの比率

C/D：チェックデジットの有無

### !! 注意 !!

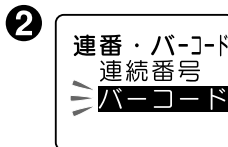
バーコードを作成する際は、そのバーコードの規則に従って入力してください。

例：「ITF」のバーコード（全体の幅大きめ、細・太の比率3.0、C/Dあり）を印刷する

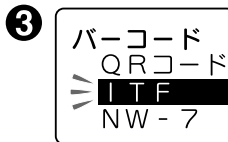


#### 1 「バーコード」を押す

「連番・バーコード」メニューが表示されます。



「バーコード」を選び、**選択 改行**を押す



「ITF」を選び  
**選択 改行**を押す

#### 4

全体の幅  
ふつう  
大きめ

「大きめ」を選び、  
**選択 改行**を押す

#### 5

細・太の比率  
2.5  
3.0

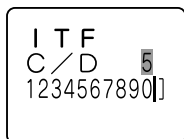
「3.0」を選び、  
**選択 改行**を押す  
「C/D」が表示されます。

#### 6

C/D  
あり  
なし

「あり」を選び、  
**選択 改行**を押す  
バーコードの数値入力画面になります。

7



数値ボタンでバーコードの数値を入力する

数値が表示されます。右上の網かけ部にはチェックデジットが自動的に発生します。入力できる桁数は規格によって異なります。

8



選択 実行を押す

テキスト画面に戻ります。カーソル位置にバーコードマーク (|||||) が表示されます。

## MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、**削除 取消** または **バースト** を押し、操作を戻します。
- 1つの文章に入力できるバーコードは、連番と合わせて3個までです。
- バーコードはデータ量が多いため、ファイルに保存するとお客様のメモリーを使用します。
- バーコードの数値を変更したり、規格などを変更する場合は、バーコードマーク (|||||) の直後 (右側) にカーソルを合わせ、**バースト** を押してください。「連番・バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- バーコードの数値を修正するとき、数値入力画面で、前の数字を削除してから新しい数字を入力してください。
- バーコードを削除するとき、バーコードマーク (|||||) の直後 (右側) にカーソルを合わせ、**削除 取消** を押します。
- バーコードマークにも、通常の文字と同様に、編集の機能を指定できますが、反映されるものは以下のとおりです。

バーコードマークに反映される機能

地紋印刷、定長印刷、余白
外枠・表組、割付け
囲み・網

- 印刷したバーコードは、ご使用になっているお手持ちのバーコードリーダーで読み取りの確認をしてからご使用ください。お手持ちのバーコードリーダーで読み取れない場合は、「全体の幅」や「細・太の比率」を調整し、再度確認してください。
- バーコードの印刷は、バーコードリーダーで読み取りやすい白地に黒文字のテープカートリッジをおすすめします。
- 規格によって入力できる桁数が異なります。ITFとNW-7は1～19桁です。
- ITFは偶数桁数のみの規格です。チェックデジットを「あり」に指定して偶数桁を入力した場合、または「なし」に指定して奇数桁を入力した場合は、1桁目にスペアコード (0) が自動的に発生します。
- UPC-Eのチェックデジットは数値入力画面やバーコードの数字には表示されません。
- NW-7は始めと終わりに「A、B、C、D」のいずれかを入力しなければ、作成したラベルをバーコードリーダーで読み取ることができません。
- バーコードのバーの長さ (線の部分) と数字の長さが一致しないことがありますが、ご使用上問題はありません。

# QRコードを印刷する

QRコードは2次元コードの一種で、漢字など通常のバーコードよりも多くの情報を入力できます。

**例**：携帯電話用の電話帳データ（名前、読み、電話番号など）

入力例「MECARD:N:山岸,正樹;SOUND:ヤマギシ,マサキ;TEL:0301234567;」  
（英数、記号は半角文字です。入力に必要な情報はお使いの携帯電話によって異なります。デザインフォームの「QR携帯1」～「QR携帯3」を参考にしてください。）



1 を押す

2 「バーコード」を選び、を押す

3  JAN - 13  
  
I T F 「QRコード」を選び、を押す

4  用途を選び、を押す  
 URL

5  セルサイズを選び、を押す

6  誤り訂正率を選び、を押す

7 1行目の内容を入力する

一般：複数行が入力できます。  
1 行目

URL  URL:「ABC入力【半角】」で1行のみ入力できます。あらかじめ「http://www.」が入力されています。

文字の上に線が付いて表示される英数字が半角文字です。

8 を押す  
「一般」の場合は「改行」または「終わり？」の選択画面が表示されます。  
「URL」の場合は入力完了です。

9  次の行を入力する場合は「改行」を、終了する場合は「終わり？」を選び、を押す  
 改行

QRコードマーク が入力されます。

## MEMO

- 誤り訂正率とは、QRコードのよごれ、破損で読み取れなくなったデータを復元する能力です。誤り訂正率を上げると復元能力は向上しますが、QRコードのサイズが大きくなる場合があります。
- QRコードでは、半角英数字が入力できます。を押して入力状態を「ABC入力【半角】」にしてください。用途が「URL」の場合は「ABC入力【半角】」のみとなります。文字の上に線が付いて表示される英数字が半角文字です。
- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、またはを押し、操作を戻します。
- QRコードには一部記号も入力できます。入力画面でを押すことで呼び出せます。
- QRコードが大きい場合、「QRコード大」と表示され、印刷できません。幅の広いテープにする、通常テキストの行数を減らす、セルサイズを小さくする、QRコードの誤り訂正率を低くする、QRコードの文字数を減らす、などの変更をしてください。



## MEMO

- QRコードの場合、テープ幅や設定項目により入力可能文字数が異なります。

QRコードの最大入力可能文字数：

文字サイズ	セルサイズ	誤り訂正率(%)	半角数字(1234…)	半角文字(abcd…)	全角(あいうえ…)
G	大	7	-	-	-
		15	-	-	-
		25	-	-	-
		30	-	-	-
	中	7	-	-	-
		15	-	-	-
		25	-	-	-
		30	-	-	-
	小	7	41	17	10
		15	34	14	8
		25	27	11	7
		30	17	7	4
U	大	7	-	-	-
		15	-	-	-
		25	-	-	-
		30	-	-	-
	中	7	41	17	10
		15	34	14	8
		25	27	11	7
		30	17	7	4
	小	7	230	106	65
		15	202	84	52
		25	144	60	37
		30	106	44	27
H	大	7	41	17	10
		15	34	14	8
		25	27	11	7
		30	17	7	4
	中	7	127	53	32
		15	101	42	26
		25	77	32	20
		30	58	24	15
	小	7	-	192	118
		15	230	152	93
		25	230	108	66
		30	202	84	52













- 4mm、6mm、9mm幅テープにはQRコードを印刷できません。
- 1つの文章に入力できるQRコードは2個までです。また、1つの文章に入力できるバーコード(QRコードを含む)は、連番と合わせて3個までです。
- 文字サイズインジケータのG～H部分が点滅している場合、「QRコード大」が表示され、印刷できません。以下の操作をおこなってください。
  - QRコードの誤り訂正率を低くする。
  - QRコードの文字数を減らす。
- コードの内容やセルサイズ、誤り訂正率を変更する場合は、QRコードマーク(☒)の直後(右側)にカーソルを合わせ、**[バーコード]**を押してください。「連番・バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は作成操作と同じですが、「用途」やバーコードの規格を変更すると、入力されていたコードの内容は失われます。
- QRコードの情報量によっては、印刷履歴に記録されないことがあります。

# 特殊な印刷（でか<sup>2</sup>）

**でか<sup>2</sup>**を押すと、拡大印刷、鏡文字印刷などの特殊な印刷を指定できます。

## 特殊印刷メニュー一覧

**太字**は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<b>特殊印刷</b> 拡大印刷 ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">拡大印刷 拡大して印刷します。 参照🔗 P.121</div>	<b>しない</b> 2倍でか <sup>2</sup> ▶	 <b>2/2</b>  1/2  1/2
	3倍でか <sup>3</sup> ▶	 <b>3/3</b>  1/3  1/3  1/3
	4倍でか <sup>4</sup> ▶	 <b>4/4</b>  1/4  1/4  1/4  1/4
鏡文字印刷 ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">鏡文字印刷 鏡像反転して印刷します。 参照🔗 P.123</div>	する <b>しない</b>	
印刷実行？		

でか<sup>2</sup>

活用編

## テープ幅より大きなラベルを作る（でか<sup>2</sup>）

印刷内容を2倍、3倍、4倍に拡大し、部分ごとに分けて印刷することでテープ幅より大きなラベルが作れます。できあがったラベルは貼り合わせて使用してください。

「2倍でか<sup>2</sup>」なら上下2枚で1組、「3倍でか<sup>3</sup>」なら上中下3枚で1組のラベルになります。

大きさを指定したあとに、「1/2」「1/3」などを選ぶと、1組のうちの該当する部分の1枚だけを印刷できます。

●拡大印刷の種類（サンプルは12mm幅のラベルです）

Printによる  
通常の印刷



2倍でか<sup>2</sup>

2倍拡大



2/2

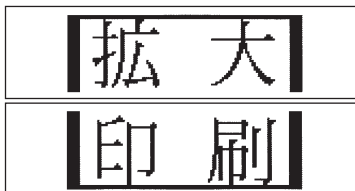
1/2



1/2



1/2



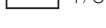
3倍でか<sup>3</sup>

3倍拡大



3/3

1/3



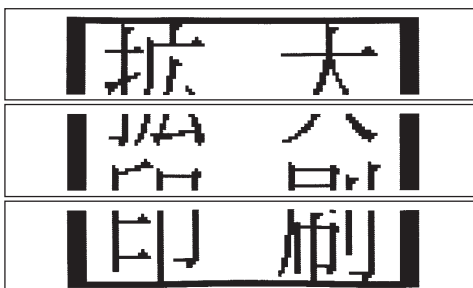
1/3



1/3



1/3



4倍でか<sup>4</sup>

4倍拡大



4/4

1/4



1/4



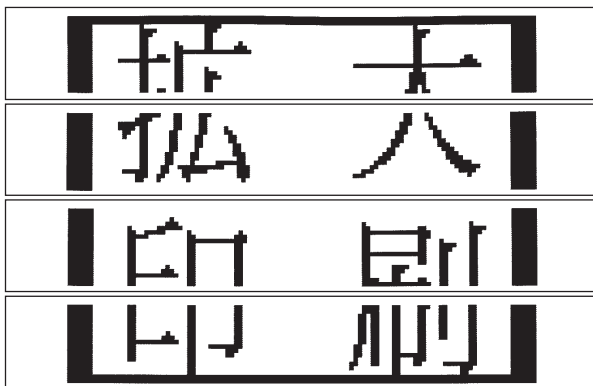
1/4



1/4



1/4



2  
で  
か

活  
用  
編

例：3倍に拡大して印刷をする

1 文章を入力し、**でか<sup>2</sup>**を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

2

特殊印刷

拡大印刷  
鏡文字印刷

「拡大印刷」を選び、

**選択 改行**を押す

3

拡大印刷

2倍でか<sup>2</sup>

3倍でか<sup>3</sup>

4倍でか<sup>4</sup>

「3倍でか<sup>3</sup>」を選び、

**選択 改行**を押す

4

3倍でか<sup>3</sup>

3 / 3  
1 / 3

「3/3」を選び、

**選択 改行**を押す

「3/3」が指定され、「特殊印刷」メニューに戻ります。

5

特殊印刷

鏡文字印刷

印刷実行?

「印刷実行?」を選び、**選択 改行**を押す

3枚1組のラベルが印刷されます。

6

テープを貼り合わせる



上下の余白をカッターなどで切り、貼り合わせてください。

!! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行?」を選択したときのみ実行されます。**Print**では通常の印刷がおこなわれます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、**削除 取消**または**でか<sup>2</sup>**を押し、操作を戻します。
- 「拡大印刷」で作ったラベルを貼り合わせたとき、多少のズレが生じることがあります。
- 複数枚のラベルは、ラベルとラベルの間にカットマークが印刷されます。市販のハサミでカットマークをカットしてください。
- 長い文章を「拡大印刷」で印刷しようとすると全長が16mを超えて印刷できないことがあります。ラベルの文字数を減らすか、文章を2組に分けるなど指定をしておいてください。
- 「拡大印刷」は通常の印刷内容を2倍、3倍、4倍にする機能です。そのため、定長印刷を指定した場合に「拡大印刷」をおこなうと、指定した長さの2倍、3倍、4倍のラベルが印刷されます。
- 画面に表示されるテープの長さは、カットマークまでの長さを含みません。
- 画面に表示されるテープの長さは、通常の印刷時の長さです。「拡大印刷」で印刷すると、表示される長さの2倍、3倍、4倍の長さのラベルが印刷されます。

拡大印刷	テープ幅	テープ長さ	使用するテープ量
2倍でか <sup>2</sup>	約2倍	約2倍	約4倍
3倍でか <sup>3</sup>	約3倍	約3倍	約9倍
4倍でか <sup>4</sup>	約4倍	約4倍	約16倍

例えば「3倍でか<sup>2</sup>」で印刷をおこなうと、**Print**による通常の印刷に比べて、幅が約3倍、長さが約3倍のラベルになるので、使用するテープ量は約9倍になります。

参考

カラフルな3倍でか<sup>3</sup>

「3倍でか<sup>3</sup>」の上中下をそれぞれ違う色の同じ幅のテープに印刷してカラフルなラベルを作ってみましょう。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換える際にはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。

# 鏡文字を印刷する

入力した文字を鏡像反転させて印刷します。

## ●鏡文字印刷

する（鏡像）



しない（正像）



### 1 文章を入力し、**でか**を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

### 2

特殊印刷  
拡大印刷  
鏡文字印刷  
印刷実行？

「鏡文字印刷」を  
選び、**選択 改行**を押す

### 3

鏡文字印刷

する  
しない

「する」を選び、  
**選択 改行**を押す

「特殊印刷」メニュー  
に戻ります。

### 4

特殊印刷  
鏡文字印刷  
印刷実行？

「印刷実行？」を選  
び、**選択 改行**を押す

鏡文字ラベルが印  
刷されます。

## !! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷  
実行？」を選択したときのみ実行されます。

**Print**では通常の印刷がおこなわれます。

## MEMO

操作を途中でやめるときは、**削除 取消**または  
**でか**を押し、操作を戻します。

2  
で  
か




活  
用  
編

# 印刷設定

**Shift**を押しながら **でか<sup>2</sup>** (=印刷設定) を押すと、自動カットの設定や印刷濃度を変更できます。

## 印刷設定メニュー一覧

**太字**は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢
<b>印刷設定</b> <b>自動カット</b> ▶ 自動カット 印刷時の自動カットの有無を設定します。 参照  P.125	<b>する</b> しない
<b>印刷濃度</b> ▶ 印刷濃度 印刷の濃さを設定します。 参照  P.126	-3 : <b>ふつう</b> : +3
<b>リセット</b> ▶ リセット 自動カットと印刷濃度を初期設定値にします。 参照  P.126	<b>実行?</b>

シフト  
+  
でか<sup>2</sup>  
【印刷設定】


活  
用  
編

# 「自動カット」を設定する

本機は、印刷時にラベルを自動的にカットしますが「自動カット/しない」にも設定できます。

## !! 注意 !!

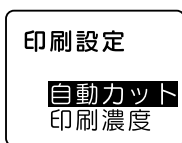
本機のカッターでカットできない反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベルを使う場合は、「自動カット/しない」にして印刷してください。

参照  P.139「テープカートリッジを使いわせる」

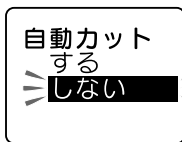
1  を押しながら  (=印刷設定) を押す

「印刷設定」メニューが表示されます。

2 「自動カット」を選び、 を押す









3 「しない」を選び、 を押す



自動カットが無効に設定され、テキスト画面に戻ります。

以降の印刷は、すべて自動カットされません。カートリッジを取り出してハサミなどでカットしてください。  
自動カットを有効にする場合は、手順③で「する」を選びます。

## MEMO




- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、 または  を押し、操作を戻します。
- 「自動カット/しない」で印刷したラベルは、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
- 「自動カット/しない」の設定でも、「テープ送り」メニューの「送りカット」ではテープをカットすることができます。カット可能なテープに入れ替えた場合など、そのラベルのみ自動でカットしたいときは「送りカット」をおこなってください。  
参照  P.29「5. テープ送りをする」
- カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。  
参照  P.172「アフターサービスについて」
- 自動カットは全文消去や電源OFFでは初期値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、印刷設定のリセット、本機の初期化をおこなってください。  
参照  P.126「印刷設定をリセットする」  
参照  P.131「本機を初期化する」

## 印刷濃度を調整する

印刷濃度は「-3～ふつう～+3」の7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。通常は「ふつう」でご使用ください。

- 1 Shift を押しながら **でか** を押す  
「印刷設定」メニューが表示されます。
- 2 「印刷設定」メニューで「印刷濃度」を選び、**選択 改行** を押す  
印刷設定  
自動カット  
印刷濃度  
リセット
- 3 濃度を調整し、**選択 改行** を押す  
印刷濃度  
+2  
+3  
印刷濃度が設定されます。

### MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、**削除 取消** または **でか** を押し、操作を戻します。
- 本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度に合わせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
- 印刷濃度を「ふつう」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がツブレたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなることがありますのでご注意ください。
- 反射ラベル・透明つや消しラベルを使う場合や、上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベルで印字がカスレた場合は「+3」に設定してください。  
参照  P.139「テープカートリッジを使いわける」
- 印刷濃度は全文消去や電源 OFF では初期値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、印刷設定のリセット、本機の初期化をおこなってください。  
参照  P.126「印刷設定をリセットする」  
参照  P.131「本機を初期化する」

## 印刷設定をリセットする

自動カットと印刷濃度の設定をご購入時の状態（初期設定値）に戻します。

- 1 **Shift** を押しながら **でか** を押す  
「印刷設定」メニューが表示されます。
- 2 「リセット」を選び、**選択 改行** を押す  
印刷設定  
印刷濃度  
リセット
- 3 「実行？」を選び、**選択 改行** を押す  
リセット  
実行？  
自動カットと印刷濃度の設定が初期設定値になります。

### MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、**削除 取消** または **でか** を押し、操作を戻します。



# 環境設定を変更する

## 環境設定メニュー一覧

**Shift**を押しながら **記号** (=環境設定) を押すと、画面の表示濃度や機能の保存値の設定を変更できます。

(太字は購入時の初期設定値です。)

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
------	--------	-------

<b>環境設定</b>		
<b>表示濃度</b> ▶	-5 : <b>ふつう</b> : +5	
<b>バックライト</b> ▶	<b>ON</b> OFF	
<b>学習初期化</b> ▶	する <b>しない</b>	実行?
<b>保存値設定</b> ▶	外枠・表組 <b>書体</b> ▶ 余白 文字間 飾り字 斜体・強調 伸・縮 囲み・網 定長印刷 地紋印刷 割付け 縦・横 文字サイズ 終わり?	詳細な項目を設定 できます。設定方 法は、通常の編集 機能と同じです。
<b>保存値復元</b> ▶	<b>実行?</b>	

# 学習内容を初期化する

文字入力の際の予測候補や変換候補の学習内容を初期化します。

① **Shift** を押しながら **記号** (=環境設定) を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

② **環境設定**  
バックライト  
**学習初期化**  
保存値設定

**▲ ▼** で「学習初期化」を選び、**選択 改行** を押す


③ 学習初期化  
**する**  
しない

**▲ ▼** で「する」を選び、**選択 改行** を押す

④ 学習初期化  
**実行?**

**選択 改行** を押す  
学習内容が初期化されます。

## MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
  - 操作を途中でやめるときは、**削除 取消** または **記号** を押し、操作を戻します。
  - ファイル・印刷履歴・あて名・名前・外字データは初期化されません。
- 参照  P.131「本機を初期化する」

# 各種の初期値（保存値）を設定する

「書体」や「余白」などの保存値を変更することができます。

本機では **編集** を使って、次のような機能を指定することができます。

## ボタンの機能

ボタン	指定できる機能
<b>編集</b>	外枠・表組、書体、余白、文字間、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、定長印刷、地紋印刷、割付け、縦・横、文字サイズ

各機能を選ぶと、選択肢が表示されます。表示されたときに選ばれている選択肢が保存値です。よく使う「書体」や「余白」などが、ご購入時の保存値（「初期設定値」と呼びます）とは異なる場合、保存値を変更しておく、文章を作るたびに **編集** で変更する必要がなくなります。

ラベルには保存値の内容が自動的に反映されるので、例えば、「縦・横」の保存値を「たて書き」に指定しておく、通常（全文消去直後）は「たて書き」のラベルになります。


なお、変更した保存値は、保存値の復元によって、いつでも初期設定値に戻すことができます。

## MEMO

- 各機能の初期設定値についてはP.58「メニュー一覧」を参照してください。
- **編集** で指定した内容は、全文消去をおこなうと保存値に戻ります。
- ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。「印刷履歴」で呼び出した内容は、印刷時の指定が反映されます。

## !! 注意 !!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照  P.46「すべての文章を消去する」

シフト

+

記号

（環境設定）

活用編

# 保存値を変更する

- ① **Shift** を押しながら **削除 取消** (=消去) を押し、  
全文消去をおこなう

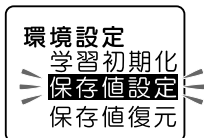
保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照 P.46「すべての文章を消去する」

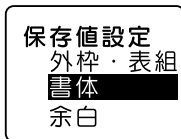
- ② **Shift** を押しながら **記号** (=環境設定) を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

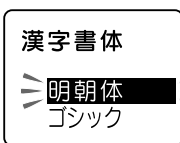
- ③ 「保存値設定」を選び、**選択 改行** を押す



- ④ 変更したい項目を選び、**選択 改行** を押す



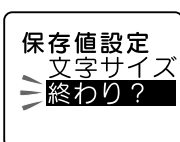
- ⑤ 保存値に設定したい選択肢を選び、**選択 改行** を押す



各項目の設定方法は、通常の編集機能と同じです。

参照 P.55「ラベルの見栄えをよくする」

- ⑥ 変更したいすべての項目の設定が終わったら、「終わり?」を選び、**選択 改行** を押す



保存値が変更され、テキスト画面に戻ります。

## MEMO

- 操作を途中でやめるときは、**削除 取消** または **記号** を押し、操作を戻します。
- 手順③で「保存値復元」を選択すると、変更した保存値の設定を、ご購入時の保存値（初期設定値）に戻します。

# 本機を初期化する

## !! 注意 !!

- 本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
- 不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなった場合は、「本機の初期化」をおこなってください。
- 初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。  
なお、初期化や、修理、検査をおこなうと、ファイルのデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

## 初期化とは

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。

初期化をおこなう前に、十分に確認してください。

内容	機能	機能				
		初期化	学習初期化 (P.128)	保存値復元 (P.130)	全文消去 (P.46)	特殊フォーム での全文消去
入力	テキスト画面の文章	●	—	—*1	●	●
	特殊フォームの文章	●	—	—	●	●
	入力状態と小文字ロック	●	—	—	—	—
	「みえ <sup>2</sup> 」の設定	●	—	—	—	—
データ	ファイルデータ	●	—	—	—	—
	あて名データ	●	—	—	—	—
	名前データ	●	—	—	—	—
	辞書データ	●	—	—	—	—
	学習データ	●	●	—	—	—
	外字データ	●	—	—	—	—
	印刷履歴	●	—	—	—	—
設定	自動カットの設定値	●	—	—	—	—
	印刷濃度の設定値	●	—	—	—	—
	バックライトの設定値	●	—	—	—	—
	表示濃度の設定値	●	—	—	—	—
	各種の保存値	●	—	●	—	—

● : ご購入時の状態に戻ります。



— : 保持されます。




\*1 初期設定値に戻す「保存値復元」をおこなうときには、全文消去をする必要があります。

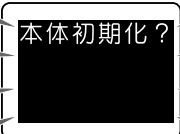
## 初期化する

① を押して電源を切る

### !! 注意 !!


を押しても電源が切れないときには、ACアダプタを抜いて電池も抜きます。次にもう一度ACアダプタを接続、または電池をセットし、再度を押して電源を入れます。  
以降は手順①からの操作で初期化してください。


② とを押しながらを押す



「本体初期化?」が点滅します。

### !! 注意 !!

- 初期化をやめるときは以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？  
今まで登録したファイルなど、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、十分に確認してください。

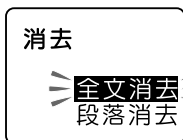
③ を押す

「初期化 実行」と表示され、本機の初期化がおこなわれたあと、タイトル画面、ローマ字入力モードが表示され、テキスト画面になります。

# デモ印刷をする

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。

1



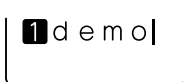
[Shift]を押しながら  
[削除取消] (=消去)を  
押し、全文消去を  
おこなう

## !! 注意 !!

デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする  
必要があります。

参照 P.46「すべての文章を消去する」

2



「demo」と入力する

参照 P.39「英字  
を入力する」

3

[Shift]を押しながら [変換] を押す  
デモ印刷がおこなわれます。

## !! 注意 !!

- 4mm幅テープではデモ印刷できません。
- ご使用中に「故障かな?」と思ったときは、  
このデモ印刷をおこなってください。デモ  
印刷が見本どおりに印刷されないときは、  
お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または  
当社お客様相談室までご相談ください。  
参照 P.172「アフターサービスについて」

## MEMO

印刷を途中でやめるときは、[削除取消]を押します。

見本

6mm幅テープ



18mm幅テープ



活  
用  
編





# 付録

# メニュー一覧


各ボタンで表示される機能は、該当ページを参照してください。

ボタン機能名	表示される機能	参照ページ
Shift + Print	テープ送り	P.138
でか <sup>2</sup>	特殊印刷	P.120
Shift + でか <sup>2</sup>	印刷設定	P.124
バーコード	連番・QRコード・バーコード	P.113
編集	編集	P.58
ファイル	ファイル・印刷履歴・あて名・名前・辞書	P.88
Shift + ファイル	フォーム	P.76
記号	記号	P.136
Shift + 記号	環境設定	P.127
Shift + あ・ア・A	漢字検索	P.110
Shift + 削除取消	消去	P.138

## 記号メニュー一覧

記号を押すと、記号を入力できます（太字は購入時の初期設定値です）。  
 選択できる記号は、P.157「記号一覧表」を参照してください。

メニュー	選択肢
記号	記号選択
記述 ▶	
省略 ▶	
カッコ ▶	
矢印 ▶	
○△□☆ ▶	
単位 ▶	
算数 ▶	
数字 ▶	
2桁数字 ▶	数値選択
2桁の数字を1文字として入力します。 参照 P.53	記号選択
公共表示 ▶	
環境 ▶	
荷物 ▶	
警告用 ▶	
仕事 ▶	
スポーツ ▶	

メニュー	選択肢
<p>記号</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遊び ▶</li> <li>ビデオ ▶</li> <li>音楽 ▶</li> <li>生き物 ▶</li> <li>乗り物 ▶</li> <li>食べ物 ▶</li> <li>予定 ▶</li> <li>暮らし ▶</li> <li>シーズン ▶</li> <li>家族 ▶</li> <li>干支 ▶</li> <li>星座 ▶</li> <li>ギリシャ ▶</li> <li>欧州 ▶</li> <li>案内記号 ▶</li> <li>編集 ▶</li> <li>季節風景 ▶</li> <li>お店 ▶</li> <li>学校 ▶</li> <li>建設 ▶</li> <li>病院 ▶</li> <li>イラスト ▶</li> <li>外字 ▶</li> </ul> <div data-bbox="140 582 330 694" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>編集</b>  全角スペースや縦罫線  を入力します。  参照  P.40、63</p> </div>	<p>記号選択</p> <hr/> <p><b>POP</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>顔文字</li> <li>お店</li> <li>学校</li> <li>建設</li> <li>病院</li> </ul> <hr/> <p><b>登録</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修正</li> <li>呼出</li> <li>複写</li> <li>消去</li> <li>参照登録</li> <li>参照修正</li> </ul>

---


## テープ送りメニュー一覧

---

**Shift**を押しながら**Print** (=テープ送り) を押すと、テープ送りや送りカットを実行できます (**太字**は購入時の初期設定値です)。

### メニュー

#### テープ送り

テープ送り  
テープ送りを実行します。  
参照  P.29

テープ送り

**送りカット**

---


## 消去メニュー一覧

---

**Shift**を押しながら**削除取消** (=消去) を押すと、文章全体または段落全体を消去できます (**太字**は購入時の初期設定値です)。

### メニュー

#### 消去

消去  
文章または段落を消去  
します。  
参照  P.46、50

**全文消去**

段落消去

# テープカートリッジを使いわける

反射ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・転写テープ・グレー文字ラベル・インデックスラベルをご使用の際は下記のとおり対応してください。

	テープ種類	設定方法
オートカッター 使用禁止	反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベル	①カッターの刃の磨耗を防ぐため、「自動カット/しない」で印刷する。②本機からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。 <b>参照</b> P.125「自動カット」を設定する
印刷濃度の調整 が必要	反射ラベル・透明つや消しラベル	印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。
	上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル	印刷がカスした場合、印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。 <b>参照</b> P.126「印刷濃度を調整する」
鏡文字の設定 が必要	転写テープ、アイロン転写テープ	鏡文字を「する」に設定して印刷します。 <b>参照</b> P.123「鏡文字を印刷する」

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

## !! 注意 !!

テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみを取ってください。

参照 P.29「5. テープ送りをする」

## MEMO

- 以下の商品は生産を中止しています。
  - 夜光ラベル：2002年6月中止
  - 反射ラベル：2003年3月中止
  - 転写テープ：2003年5月中止
  - ふせん紙ラベル：2004年4月中止
  - 伸縮ラベル：2004年12月中止
- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブをご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。

# こんな表示が出たときは

## ディスプレイが消えたときは

操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。また、約5分間何も操作をしないと電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します（オート・パワーオフ）。

## エラーメッセージが表示されたときは

エラーメッセージ	原因・対処
電池を交換！	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池に交換してください。または、電池の(+)(-)の向きが間違っている場合があります。電池の(+)(-)の向きを確認してください。また、できるだけ付属のACアダプタを使用してください。 参照 P.24「1. ACアダプタを接続する」 参照 P.24「2. 電池（別売）を入れて使用するときは」
下カバーが開いています 電源を切ります	電源が入っている状態で下カバーを開くと表示され、電源が切れます。下カバーを閉じ、再度電源を入れてください。
テープ無し！	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 参照 P.26「3. テープカートリッジをセットする」
テープ幅を確認して！	本機で使用できないテープ幅のテープカートリッジをセットしているが、正しい位置にセットされていません。テープカートリッジを確認してください。 参照 P.26「3. テープカートリッジをセットする」
ヘッド過熱！	印刷を連続しておこなったために印刷ヘッドが過熱しています。テープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバー	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷プレビューの表示ができません。または、あて名印刷を24*mm幅以外のテープで印刷しようとした。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、幅の広いテープカートリッジをセットするか、☒の出ている行を削除するか、行数を減らしてください。 参照 P.47「テープ幅と印刷できる行数」
定長→字余り	定長で指定した長さに文章がおさまりません。文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。 参照 P.68「定長印刷」
定長→字余り 強行？	定長で指定した長さに文章がおさまらない状態で「プレビュー」や「Print」を押しています。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。このまま「選択 改訂」を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 参照 P.68「定長印刷」

エラーメッセージ	原因・対処
メモリー満員	ファイル・あて名・名前を登録するメモリーがいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要なファイル・あて名・名前を消去してください。 <b>参照</b> P.91「ファイルを消去する」
ファイル無し	ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 <b>参照</b> P.89「ファイルを登録する」
履歴無し！	印刷履歴がない状態で、印刷履歴の呼び出し、消去の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
連番・バーコードは3個まで！	連番とバーコードは、合わせて3個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 <b>参照</b> P.113「連番やバーコードを印刷する」
QRコードは2個まで！	QRコードは、2個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 <b>参照</b> P.113「連番やバーコードを印刷する」
QRコード大	QRコードが文字の高さを超える場合に表示されます。幅の広いテープにする、通常テキストの行数を減らす、セルサイズを小さくする、QRコードの誤り訂正率を低くする、QRコードの文字数を減らす、などの変更をしてください。
特殊印刷不能	指定した拡大印刷の内容では、長すぎて一度に印刷できるテープの長さ（16m）におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、拡大印刷の指定内容を変更してください。 <b>参照</b> P.120「特殊な印刷（でか <sup>2</sup> ）」
あて名無し！	あて名が登録されていない状態で、あて名の修正、消去、複写、印刷の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 <b>参照</b> P.94「あて名を登録する」
辞書にあり！	辞書登録ですすでに登録してある「語句・読み」を再度登録しようとした。この場合は、その登録はおこなわれずテキスト画面に戻ります。
登録辞書無し	辞書が登録されていない状態で、辞書の消去の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 <b>参照</b> P.102「変換できない語句を登録する（辞書の登録）」
名前無し！	名前が登録されていない状態で、名前の修正、消去、印刷の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 <b>参照</b> P.99「名前を登録する」
モーター異常！	モーター動作に不具合がありました。自動的に電源がOFFになります。電源を再度入れなおしてください。同じメッセージが繰り返される場合には、お買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店に修理を依頼してください。 <b>参照</b> P.172「アフターサービスについて」

## MEMO

上記項目を確認しても解決しないときは、当社お客様相談室までご相談ください。

**参照** P.172「アフターサービスについて」

# 故障かな？と思ったら

## 正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなったときは、「本機の初期化」をしてください。

参照  P.131「本機を初期化する」



## を押してもディスプレイに何も表示されない


- ACアダプタはしっかりと接続されていますか？

本機のACアダプタ差込み口とコンセントにしっかりと接続してください。

参照  P.24「1. ACアダプタを接続する」

- 電池は正しくセットされていますか？

電池の向きが 逆にはセットされていると電源はONになりません。電池ケースの中に刻印されている向きに、全ての電池が正しくセットされているか確認してください。

参照  P.24「2. 電池（別売）を入れて使用するときは」

- 専用ACアダプタ以外のACアダプタを使用していますか？

同梱のACアダプタ（AC1116J）以外のACアダプタをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。

- 電池が消耗していませんか？

消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい電池と交換してください。

- ディスプレイの表示濃度は適切ですか？

ディスプレイの表示濃度によっては表示が見えないときがあります。ディスプレイが見にくいときは、表示濃度を調整することができます。

参照  P.23「表示濃度を調整する」

## ディスプレイが消える

- オート・パワーオフ機能ではありませんか？

本機では、5分間以上操作をしないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します。（オート・パワーオフ）

- 下カバーが開いていませんか？

本機では下カバーを開くと、保護回路のはたらきで電源が切れます。

- 操作を間違えませんでしたか？

本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

## を押しても何も印刷されない

- 文章が入力されていますか？

テキスト画面に何も入力されていないと印刷はされません。

- ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？


エラーメッセージが表示されていると印刷されません。

参照  P.140「こんな表示が出たときは」

準備中と表示されているときは、しばらくお待ちください。

- 消耗していないテープカートリッジが正しくセットされていますか？

テープカートリッジのテープがなくなっていたり、下カバーが正しく閉じていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、下カバーをしっかり閉じてください。

参照  P.26「3. テープカートリッジをセットする」




## 文字がきちんと印刷されない

- テープカートリッジは正しくセットされていますか？


テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。

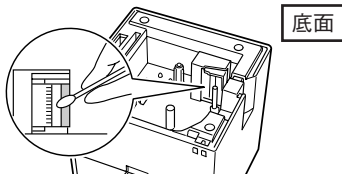
テープカートリッジを取り出し、もう一度手順に従ってセットしてください。

参照  P.26「3. テープカートリッジをセットする」

- 印刷ヘッドが汚れていませんか？

印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ(SR24C)またはヘッド・クリーニングキット(RC15)をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール(エチルアルコール)を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。

参照  P.145「お手入れについて」



- 電池が消耗していませんか？

電池が消耗すると「電池を交換！」と表示されます。速やかにすべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池と交換するか、同梱のACアダプタ(AC1116J)を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

## ラベルを印刷後、自動カットされない


- 自動カット/しないに設定していませんか？

印刷設定の自動カット/しないに設定すると、印刷後の自動カットはおこなわれません。

参照  P.125「自動カット」を設定する」

- カッターの刃が磨耗していませんか？


カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照  P.172「アフターサービスについて」

## 文章の途中までしか印刷されない

- テープカートリッジにテープの残りがありますか？

テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。

参照  P.26「3. テープカートリッジをセットする」

- 電池が消耗していませんか？

電池が消耗すると「電池を交換！」と表示されます。速やかにすべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池と交換するか、同梱のACアダプタ(AC1116J)を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

## ファイルの内容が消えてしまった

- 本機の初期化をしましたか？

本機の初期化をおこなうと、登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われます。

参照  P.131「本機を初期化する」

- 電源が入った状態で電池を交換していませんか？

電池交換は、必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。


- 動作中にACアダプタや電池を抜きましたか？

ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」、電源を切るときの「電源を切る準備中」が表示されているときにACアダプタや電池を抜くと登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。

## ラベルを貼り付けることができない

### ● 裏紙をはがしていますか？

粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。


参照  P.43「ラベルを貼る」

### ● 貼る場所が汚れていたり、凹凸がありませんか？

表面がザラザラしている場所や、ホコリ、油のついている場所には貼り付けられません。また、特殊な加工がしてある面や、特殊な材質の面には貼り付けられない場合があります。

### MEMO

上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照  P.172「アフターサービスについて」

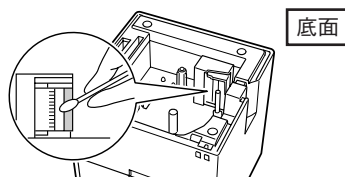
# お手入れについて

## ■ 本機外側の汚れ・ホコリは

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、固く絞ったぬれ布キンで拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

## ■ 印刷が欠けたりカスレたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ（SR24C）またはヘッド・クリーニングキット（RC15）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。



# ヘッド・クリーニングテープ（別売）を使う

① ヘッド・クリーニングテープを本機にセットする

② **Shift** を押しながら **Print** (=テープ送り) を押す

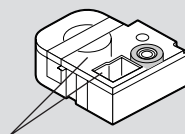
③ 「テープ送り」を選び、**選択改行** を押す

「テープ送り」の操作によりヘッド・クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。1~2回 おこなってください。

参照 P.29「5. テープ送りをする」

## !! 注意 !!

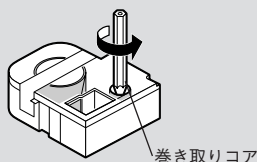
- 使用後はもとの箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ、砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドをいためる原因になります。
- ヘッド・クリーニングテープで印刷をおこなわないでください。印刷をおこなうとヘッドをいためる原因となります。
- 図の部分の白いテープがなくなるとテープがすべて巻き取られたことになり、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。テープ終了後に使用するとヘッドをいためるおそれがありますので、ご使用にならないでください。



白いテープがなくなる

## MEMO

- 本機でご使用になるヘッド・クリーニングテープはSR24Cをお使いください。
- テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。
- テープがたるんでいる場合、図のように「巻き取りコア」を矢印方向に回してたるみを取ってください。
- ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめに見えますが、約120回のクリーニングが可能です。





## 入力文字表（かなめくり入力）

ボタン	押す回数									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Q (あ)	あ	い	う	え	お	あ	い	う	え	お
W (か)	か	き	く	け	こ	か	け			
E (さ)	さ	し	す	せ	そ					
R (た)	た	ち	つ	て	と	っ				
T (な)	な	に	ぬ	ね	の					
Y (は)	は	ひ	ふ	へ	ほ					
U (ま)	ま	み	む	め	も					
I (や)	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	よ				
O (ら)	ら	り	る	れ	ろ					
P (わ)	わ	ゐ	ゑ	を	ん	わ				
「」:	。	。	「	」	:	,				
、	、	。								

目的の文字を通り過ぎたときは **Shift** を押しながら文字ボタンを押すことで前の文字に戻すことができます（リバース機能）。

注1 : 以下のボタンは、直前にネガ文字のが行、さ行、た行、は行の文字がある場合は、濁点、半濁点が入力できます。単独で入力した場合は記号「」: ' の入力になります。

また、ABC入力時には記号 [ ] : ' の入力になります。



注2 : 以下のボタンは、ABC入力時には「,」カンマ、「.」ピリオドになります。



# 漢字変換表

ここでは、区点コードを掲載しています。JISコード、シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照 P.110「読みのわからない漢字を入力する」

## !! 注意 !!

- 漢字変換表はJISに基づき「音読み」で記載しています。本機の内蔵辞書は「音読み」もしくは「訓読み」だけを搭載している文字があり、「音読み」では変換できないことがあります。
- 表にあげた文字と印刷される文字の字形が異なるものがあります。

## JIS第1水準

\*の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	1601~1609	亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	
	1610~1619	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	芦	鯨
	1620~1629	梓	庠	幹	撥	宛	姐	虻	鮎	絢	綾
	1630~1639	鮎	或	粟	給	安	庵	按	暗	案	闇
	1640~1641	鞍	杏								
イ	1642~1649			以	伊	位	依	偉	困	夷	委
	1650~1659	威	尉	惟	意	慰	易	倚	為	畏	異
	1660~1669	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遣	医
	1670~1679	井	亥	域	育	郁	磯	一	壺	溢	逸
	1680~1689	稲	茨	芋	錫	允	印	咽	員	因	姻
1690~1694	引	飲	淫	胤	廩						
ウ	1701~1705		院	陰	隱	韻	吋				
	1706~1709						右	宇	烏	羽	
	1710~1719	迂	卯	鞆	窺	丑	確	白	渦	嘘	
	1720~1729	唄	薔	蔚	姦	媿	浦	瓜	閏	暉	
	1730~1732	云	運	雲							
エ	1733~1739				荏	餌	叡	嘗	嬰	影	映
	1740~1749	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英
	1750~1759	衛	詠	銳	液	益	駮	悅	謁	越	
	1760~1769	閏	櫻	厭	円	堰	奄	宴	延	怨	
	1770~1779	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	緣
1780~1786	艶	苑	遠	鉛	鴛	塩					
オ	1787~1789								於	甥	甥
	1790~1794	凹	央	輿	往	応					
	1801~1809		押	旺	横	欧	毆	王	翁	襖	鶯
	1810~1819	鷗	黄	岡	冲	荻	憶	屋	憶	臆	桶
	1820~1827	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音		
カ	1828~1829									下	化
	1830~1839	仮	何	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	1840~1849	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	1850~1859	禍	禾	穡	籜	花	苛	茄	荷	華	菓
	1860~1869	蝦	課	嘩	迦	過	霞	敷	俄	峨	峨
	1870~1879	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	駮	駕
		区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
カ	1880~1889	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔
	1890~1894	恢	懷	戒	拐	改					
	1901~1909		魁	晦	械	海	灰	界	皆	繪	芥
	1910~1919	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害	崖
	1920~1929	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鏡	骸	漚
	1930~1939	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	1940~1949	擷	攪	核	殼	獲	確	確	稜	覺	角
	1950~1959	赫	較	郭	閣	隔	革	學	岳	樂	額
	1960~1969	頸	掛	笠	檜	櫃	梟	渴	割	喝	
	1970~1979	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鏗
1980~1989	叶	枕	樺	鞆	株	兜	窻	釜	釜	鎌	
1990~1994	噓	鴨	栢	茅	萱						
キ	2001~2009	粥	刈	荊	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	
	2010~2019	勘	勸	卷	喚	堪	姦	完	官	寬	干
	2020~2029	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	棺	
	2030~2039	款	歛	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看
	2040~2049	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	觀
	2050~2059	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	閏	韓	館
	2060~2069	館	丸	含	岸	巖	玩	癌	眼	岩	翫
	2070~2074	贖	雁	頑	頑	願					
	2075~2079							企	伎	危	喜
	2080~2089	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
2090~2094	旗	既	期	棋	棄						
2101~2109		機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	
2110~2119	紀	徵	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	
2120~2129	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	
2130~2139	儀	疑	祇	義	蟻	誼	議	譏	鞠	鞠	
2140~2149	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	
2150~2159	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	
2160~2169	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	
2170~2179	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	
2180~2189	巨	拒	擲	擧	擧	虛	許	距			
2190~2194	禦	魚	亨	亨	亨	京					
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
キ	2201~2209	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡		
	2210~2219	脚	叫	橋	峽	強	強	胸	恐	恭		
	2220~2229	脚	挾	橋	況	狹	矯	胸	脅	興		
	2230~2239	蕎	郷	鏡	響	驚	仰	凝	堯	曉		
	2240~2249	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅	勤	均	
	2250~2259	巾	錦	欣	斤	欽	琴	禁	禽	筋	緊	
	2260~2268	芹	菌	襟	禮	謹	近	金	吟	銀		
	2269										九	
	2270~2279	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	驅	驅	駟	
	2280~2289	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	
2290~2294	串	櫛	綱	削	屈							
2301~2309		掘	窟	窠	靴	轡	窪	熊	隈	象		
2310~2319	栗	繰	齧	齧	勲	君	薰	訓	群	軍		
2320												
2321~2329		卦	契	形	係	傾	刑	兄	啓	圭		
2330~2339	珪	型	契	形	徑	惠	慶	慧	憩	揭		
2340~2349	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	經	繼		
2350~2359	繫	罍	莖	荆	螢	計	詣	警	輕	頸		
2360~2369	鷄	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	隙	桁		
2370~2379	傑	欠	潔	潔	穴	結	血	訣	月	件		
2380~2389	儉	倦	健	兼	拳	劍	喧	園	堅	嫌		
2390~2394	建	憲	懸	拳	捲							
2401~2409		檢	權	牽	犬	猷	研	硯	絹	梟		
2410~2419	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	險	頸	驗		
2420~2429	齷	元	嚴	嚴	幻	弦	減	源	玄	現		
2430~2434	絃	絃	言	詔	限							
2435~2439						乎	個	古	呼	固		
2440~2449	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐		
2450~2459	糊	袴	股	胡	孤	虎	誇	跨	鉅	屨		
2460~2469	顧	鼓	互	五	伍	午	吳	吾	娛	後		
2470~2479	御	悟	梧	湖	基	語	誤	護	翻			
2480~2489	乞	鯉	交	侯	侯	俸	光	公	功			
2490~2494	効	勾	厚	口	向							
2501~2509	后	喉	坑	好	孔	孝	宏	工				
2510~2519	巧	巷	幸	庚	康	弘	恒	慌	抗			
2520~2529	拘	控	昂	晃	更	杭	校	梗	構			
2530~2539	江	洪	浩	溝	甲	皇	硬	稿	糠			
2540~2549	紅	絃	絞	綱	耕	考	肯	脰	腔	膏		
2550~2559	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	醇	鉦		
2560~2569	砒	銅	閤	降	香	鴻	鴻	剛	劫			
2570~2579	号	銅	壕	拷	号	豪	轟	趨	刻			
2580~2589	告	國	穀	鵠	黑	獄	漉	腰	甌			
2590~2594	忽	惚	骨	伯	込							
2601~2609		此	頃	困	坤	懇	婚	恨	懇			
2610~2618	昏	昆	根	混	痕	紺	良	魂				
2619												
2620~2629	佐	又	峻	左	差	查	沙	瑤	砂			
2630~2639	詐	鎖	姿	坐	挫	債	催	再	最			
2640~2649	哉	塞	塞	宰	彩	才	採	裁	濟			
2650~2659	災	采	辟	砒	砒	祭	奈	細	菜	裁		
2660~2669	載	際	劑	在	材	罪	財	冴	坂	阪		
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
サ	2670~2679	堺	肴	咲	崎	埼	碯	鶯	作	削		
	2680~2689	昨	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜		
	2690~2694	鮭	笹	匙	冊							
	2701~2709	察	撈	撮	擦	札	殺	薩	籬	阜		
	2710~2719	鯖	捌	鑄	鮫	皿	晒	傘	參	山		
	2720~2729	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	纂	纂		
	2730~2736	讚	贊	酸	餐	斬	暫	殘				
	2737~2739											
	2740~2749	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	伺	
	2750~2759	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	
2760~2769	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	社	糸		
2770~2779	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	詩	誌		
2780~2789	諮	資	賜	離	飼	齒	事	侍	俾	兒		
2790~2794	字	寺	慈	持	時							
2801~2809		滋	治	爾				璽	痔	磁	而	
2810~2819	耳	自	蒔	辭	汐	鹿	識	鳴	竺			
2820~2829	軸	六	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉		
2830~2839	濕	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝		
2840~2849	屢	蕊	縞	舍	写	射	捨	斜	煮	肴		
2850~2859	社	紗	者	謝	車	遮	邪	若	借	勺		
2860~2869	尺	杓	灼	爵	酌	朱	錫	若	寂	弱		
2870~2879		惹	主	取	守	殊	殊	狩	種			
2880~2889		腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	樹		
2890~2894	綏	需	因	収	周							
2901~2909		宗	就	州	修	愁	拾	秀	秋			
2910~2919	終	繡	習	臭	舟	蒐	衆	雙	蹴			
2920~2929	輯	週	酋	酬	集	醜	仕	重	十	叔		
2930~2939		從	戎	柔	汁	洪	穉	熟	熱	術		
2940~2949	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟	出	術		
2950~2959	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	循			
2960~2969	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	巡	遵			
2970~2979	醇	順	処	初	所	暑	曙	庶	緒			
2980~2989	署	書	署	藹	諸	助	叙	女	序			
2990~2994	恕	勝	鋤	除	償							
3001~3009		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	羹		
3010~3019	妾	媚	宵	將	小	少	尚	庄	床	廠		
3020~3029	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶		
3030~3039	松	梢	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦		
3040~3049	照	症	省	硝	礁	祥	章	彰	詭	粧		
3050~3059	照	肖	莒	蔣	蕪	銜	鐘	諱	詔	詔		
3060~3069	詳	象	賞	醬	鉦	衝	鐘	諱	障	諱		
3070~3079	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	常			
3080~3089	情	擾	条	杖	淨	狀	量	積	蕪	讓		
3090~3094	釀	錠	囁	殖	飾							
3101~3109	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食			
3110~3119	蝕	辱	尻	伸	信	森	娠	浸	深	申		
3120~3129	心	慎	振	新	晉	臣	芯	親	新	診		
3130~3139	疹	真	神	秦	紳	人	仁	刃	廝	壬		
3140~3149	身	辛	進	針	震							
3150~3157	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	韌				
3158~3159												
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	



	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
又	3160~3169	須	醉	厨	逗	吹	垂	帥	推	水		
	3170~3179	炊	睡	粹	衰	逐	醉	錘	錘			
	3180~3189	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	難	杉		
	3190~3194	榻	菅	頰	雀	据						
	3201~3203		澄	摺	寸							
	セ	3204~3209				世	瀬	畝	是	凄	制	
		3210~3219	勢	姓	性	成	政	整	星	晴	棲	
		3220~3229	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	齊	製
		3230~3239	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	齐	稅
		3240~3249	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
3250~3259		籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	
3260~3269		接	撰	折	設	窃	節	說	雪	絶	舌	
3270~3279		蟬	仙	先	桎	占	宣	專	尖	川	戰	
3280~3289		扇	撰	梅	泉	淺	洗	染	潜			
3290~3294		扇	旋	穿	線							
ソ	3301~3309	織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐		
	3310~3319	選	遷	錢	閃	鮮	前	善	漸	然		
	3320~3324	全	禪	膳	膳	膾						
	3325~3329					噌	塑	咀	措	曾		
	3330~3339	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	祖	粗	素	
	3340~3349	組	蘇	訴	阻	週	鼠	僧	創	叢		
	3350~3359	組	倉	喪	壯	爽	匣	厘	忽	想		
	3360~3369	搜	掃	搗	挿	操	早	曹	巢	檣	槽	
	3370~3379	漕	燥	争	瘦	相	窓	槽	綜	聰		
	3380~3389	草	莊	葬	藁	装	走	送	遭	鎗		
夕	3390~3394	霜	驪	像	增							
	3401~3409		臟	藏	贈	造	促	側	則	即	息	
	3410~3419		捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	
	3420~3429		卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	
	3430~3439		他	多	汰	訛	唾	墮	妥	情	打	
	3440~3449		舵	舵	惰	駄	駢	体	堆	对	耐	
	3450~3459		倍	帶	待	意	態	戴	替	泰	滯	
	3460~3469		腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	
	3470~3479		台	大	第	醒	題	滝	瀧	卓	啄	
	3480~3489		宅	托	扱	拓	濯	琢	託	鐸	濁	
子	3490~3494		諾	茸	夙	蜻	只					
	3501~3509		叩	但	達	辰	奪	脱	異	豎	迪	
	3510~3519		棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	单	嘆	
	3520~3529		担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	
	3530~3539		純	耽	胆	蛋	誕	鍛	团	壇	彈	
	3540~3544		暖	壇	壇	男	談					
	3545~3549						值	知	地	弛	恥	
	3550~3559		智	池	雍	稚	置	致	蚰	遲	馳	
	3560~3569		畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	
	3570~3579		中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	
3580~3589		註	耐	尉	駐	樗	渚	猪	苧	苧		
3590~3594		丁	兆	帳	喋	寵						
3601~3609		帖	帳	庁	弔	張	彫	徵	懲	挑		
3610~3619		暢	朝	潮	眺	眺	聽	脹	腸	蝶		
3620~3629		調	諜	超	眺	眺	長	頂	鳥	勅		
3630~3636		直	朕	沈	珍	質	鎮	陳				
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
ツ	3637~3639									津	墜	椎							
	3640~3649	槌	追	鎚	痛	通	塚	桐	楓	佃									
	3650~3659	漬	柘	辻	葛	綴	鐸	積	漬	坪	壺								
	3660~3665	孀	紬	瓜	吊	釣	鶴												
	3666~3669									亭	低	停							
テ	3670~3679	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟								
	3680~3689	悌	抵	挺	提	梯	汀	礎	禎	程	締								
	3690~3694	艇	訂	諦	蹄	鼎													
	3701~3709		邸	釘	鼎	泥	摘	搦	敵	滴									
	3710~3719		的	適	鎚	濁	哲	徹	徹	迭									
	3720~3729		鉄	典	填	天	展	店	添	甜	貼								
	3730~3737		転	顛	点	伝	殿	澱	田	電									
	ト	3738~3739										兎	吐						
		3740~3749	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟							
		3750~3759	賭	途	都	鈹	砥	砾	度	唐	塘	奴							
3760~3769			怒	倒	党	凍	刀	度	唐	塔	套								
3770~3779			宥	島	嶋	悼	投	搭	桃	棹	棟								
3780~3789			盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	等								
3790~3794			答	筒	糖	統	到												
3801~3809			董	蕩	藤	討	騰	豆	跡	踏	透								
3810~3819			鏡	陶	頭	騰	開	働	同	堂	導								
3820~3829			懂	撞	洞	瞳	童	筒	筒	銅	峠								
ナ	3830~3839		錫	匿	得	德	沈	特	秃	篤	毒								
	3840~3849		独	読	柄	椽	凸	突	楸	屈	苦								
	3850~3859		寅	酉	滯	噸	屯	惇	敦	豚	遁								
	3860~3863		頓	吞	曇	鈍													
	3864~3869											奈	那	内	乍	夤	雍		
	3870~3879		謎	灘	捺	鍋	植	馴	繩	暇	南	楠							
	3880~3882		歌	難	汝														
	ニ	3883~3889											二	尼	式	迺	句	販	肉
		3890~3894		虹	廿	日	乳	入											
		3901~3907		如	尿	菲	任	妊	忍	認									
ヌ	3908																		
	3909																		
ノ	3910~3919		祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	燃								
	3920		粘																
ハ	3921~3929		乃	廼	之	埜	囊	惱	濃	納	能								
	3930~3934		腦	膿	農	視	蚤												
八	3935~3939																		
	3940~3949		波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	靡								
	3950~3959		拜	排	敗	杯	盃	脾	背	肺	配								
	3960~3969		倍	培	媒	梅	煤	賈	買	壳	賠								
	3970~3979		陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	刺	拍								
	3980~3989		柏	這	白	箔	柏	舶	薄	迫	曝								
	3990~3994		爆	縛	莫	駁	麥												
	4001~4009		函	箱	俗	箸	肇	筍	櫛	幘	肌								
	4010~4019		畑	畠	八	鉢	浼	鬘	髮	伐	罰								
	4020~4029		拔	抜	閥	鳩	嘶	鳩	蛤	牟	判								
4030~4039		半	反	叛	帆	搬	斑	板	汎	汎									
4040~4049		犯	班	畔	繁	般	藩	範	範	采									
4050~4058		頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	番	蚕									
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9								

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ヒ	4059										匪	
	4060~4069	卑	否	妃	彼	悲	扉	批	披	斐		
	4070~4079	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	
	4080~4089	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	
	4090~4094	枇	毘	琵琶	眉	美						
	4101~4109		鼻	稜	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	
	4110~4119	肘	弼	俵	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	4120~4129	百	謬	豹	彪	標	水	漂	瓢	票	表	
	4130~4139	評	約	廟	描	病	秒	苗	鏹	眞	蒜	
	4140~4149	蛭	鱒	品	彬	斌	浜	瀨	貧	資	類	
	4150~4151	敏	瓶									
	フ	4152~4159		不	付	埠	夫	婦	富	富	布	
		4160~4169	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
4170~4179		膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	
4180~4189		武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	茸	蔚	
4190~4194		伏	副	復	幅	服						
4201~4209			福	腹	復	覆	淵	弗	弘	沸	仏	
4210~4219		物	鮪	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	
4220~4225		粉	糞	紛	雰	文	聞					
ヘ		4226~4229						丙	併	兵	堀	
		4230~4239	幣	平	弊	柄	蔽	閉	陸	米	頁	
	4240~4249	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	窳	偏	變	
	4250~4259	片	篇	編	返	遍	便	勉	婉	弁		
	4260	鞭										
ホ	4261~4269		保	鋪	鋪	圃	捕	步	甫	補	輔	
	4270~4279	穗	募	慕	茂	暮	母	簿	菩	倣		
	4280~4289	俸	包	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖		
	4290~4294	抱	捧	放	方	朋						
	4301~4309		法	泡	京	袍	縫	胞	芳	萌	蓬	
	4310~4319	蜂	褒	訪	訪	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	
	4320~4329	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	
	4330~4339	望	某	棒	冒	紡	紡	膨	謀	貌	貿	
	4340~4349	銚	防	吹	頰	北	僕	卜	墨	撲	朴	
	4350~4359	牧	陸	穆	鈕	勃	沒	殆	掘	幌	奔	
	4360~4363	本	翻	凡	盆							
	マ	4364~4369					摩	磨	魔	麻	埋	妹
		4370~4379	味	枚	每	哩	檳	幕	膜	枕	鮪	枉
4380~4389		鱒	榭	亦	保	又	抹	末	沫	迄	俟	
4390~4394		藪	磨	万	慢	滿						
4401~4402			漫									
ミ	4403~4409					味	未	魅	巳	箕	岬	
	4410~4418	蜜	湊	糞	稔	脈	妙	耗	民	眠		
ム	4419										務	
	4420~4428	夢	無	牟	矛	霧	鷓	棕	婿	娘		
メ	4429										冥	
	4430~4439	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	
	4440~4445	免	棉	綿	緬	面	麵					
モ	4446~4449										摸	
	4450~4459	孟	毛	猛	盲	綱	耗	蒙	儲	木	默	
	4460~4469	目	空	勿	餅	尤	戾	糲	貴	問		
	4470~4472	紋	門	匆								

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ヤ	4473~4479					也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4480~4489	矢	厄	役	約	葉	詛	躍	靖	柳	藪	
	4490	鍵										
ユ	4491~4494		愉	愈	油	癒						
	4501~4509		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	
	4510~4519		悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	
	4520~4528	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕		
ヨ	4529											
	4530~4539	余	与	譽	興	預	備	幼	妖	庸	予	
	4540~4549	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	用		
	4550~4559	窯	羊	耀	葉	蓉	要	詔	遙	暹	陽	
	4560~4568	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀		
	4569											
ラ	4570~4579	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪	
	4580~4587	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽			
リ	4588~4589										利	
	4590~4594	履	李	梨	理	璃						
	4601~4609	痢	裏	裡	里	離	陸	率	律	立		
	4610~4619	律	掠	略	劉	溜	琉	留	硫	粒		
	4620~4629	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	僚		
	4630~4639	両	凌	寮	寮	梁	涼	涼	療	瞭	稜	
	4640~4649	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	綠	倫	
	4650~4659	厘	林	淋	淋	琳	臨	輪	麟	麟		
	4660~4664	瑠	瑠	瑠	累	類						
	4665~4669							令	伶	冷	勵	
レ	4670~4679	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	麗		
	4680~4689	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	康	恋	憐	
	4690~4694	連	煉	簾	練	聯						
	4701~4703		蓮	連	練							
	4704~4709							呂	魯	櫓	炉	
ロ	4710~4719	露	勞	婁	廊	弄	朗	樓	榔	浪	漏	
	4720~4729	牢	狼	籠	老	聲	蠟	郎	六	麓	祿	
	4730~4732	肋	録	論								
	4733~4739					倭	和	話	歪	賄	脇	
ワ	4740~4749		粹	鷲	互	鰐	詫	藁	蕨	槐	湾	
	4750~4751	腕	腕									
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

# JIS第2水準

文字上の2桁の数字は点コードを表わします。  
従って「井」の区点コードは「4807」となります。

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4801~4809	弌	𠄎	丕	个	𠄎	井	ノ	义		
4810~4819	乖	乘	亂	𠄎	豫	事	舒	式	于	亞
4820~4829	亟	一	尢	京	毫	宣	伋	仍	仄	仆
4830~4839	佻	仗	仞	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻
4840~4849	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻
4850~4859	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻
4860~4869	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻
4870~4879	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻
4880~4889	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻
4890~4899	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻
4901~4909	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
4910~4919	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
4920~4929	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
4930~4939	競	競	兩	兪	兮	冀	冂	冂	冂	冂
4940~4949	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
4950~4959	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
4960~4969	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
4970~4979	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
4980~4989	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
4990~4999	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
5001~5009	辨	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5010~5019	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5020~5029	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5030~5039	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸
5040~5049	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸
5050~5059	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸
5060~5069	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸
5070~5079	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸
5080~5089	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸
5090~5099	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸
5101~5109	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
5110~5119	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
5120~5129	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
5130~5139	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
5140~5149	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
5150~5159	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
5160~5169	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
5170~5179	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
5180~5189	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
5190~5199	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
5201~5209	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
5210~5219	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
5220~5229	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
5230~5239	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
5240~5249	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
5250~5259	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5260~5269	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5270~5279	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5280~5289	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5290~5299	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5301~5309	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5310~5319	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5320~5329	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5330~5339	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5340~5349	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5350~5359	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5360~5369	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5370~5379	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5380~5389	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5390~5399	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5401~5409	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5410~5419	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5420~5429	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5430~5439	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5440~5449	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5450~5459	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5460~5469	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5470~5479	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5480~5489	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5490~5499	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5501~5509	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5510~5519	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5520~5529	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5530~5539	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5540~5549	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5550~5559	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5560~5569	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5570~5579	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5580~5589	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5590~5599	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5601~5609	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5610~5619	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5620~5629	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5630~5639	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5640~5649	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5650~5659	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5660~5669	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5670~5679	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5680~5689	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5690~5699	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5701~5709	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5710~5719	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5720~5729	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5730~5739	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5740~5749	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5750~5759	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5760~5769	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

付録

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5770~5779	揉	插	挪	揄	搖	攀	搆	搯	搯	搯
5780~5789	搯	搯	搯	搯	搯	搯	搯	搯	搯	搯
5790~5799	搯	搯	搯	搯	搯	搯	搯	搯	搯	搯
5801~5809		據	揄	揄	揄	揄	揄	揄	揄	揄
5810~5819	舉	擠	擡	擡	擡	擡	擡	擡	擡	擡
5820~5829	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺	擺
5830~5839	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸
5840~5849	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸
5850~5859	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸
5860~5869	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸
5870~5879	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸
5880~5889	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸
5890~5899	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸
5901~5909	曳	曳	曳	曳	曳	曳	曳	曳	曳	曳
5910~5919	曳	曳	曳	曳	曳	曳	曳	曳	曳	曳
5920~5929	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶
5930~5939	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶
5940~5949	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶
5950~5959	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶
5960~5969	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶
5970~5979	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶
5980~5989	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶
5990~5999	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶
6001~6009	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹
6010~6019	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹
6020~6029	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹
6030~6039	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹
6040~6049	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹
6050~6059	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹
6060~6069	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹
6070~6079	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹
6080~6089	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹
6090~6099	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹
6101~6109	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞
6110~6119	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞
6120~6129	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞
6130~6139	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞
6140~6149	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍
6150~6159	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍
6160~6169	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍	殍
6170~6179	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣
6180~6189	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣
6190~6199	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣
6201~6209	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵
6210~6219	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵
6220~6229	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵
6230~6239	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵
6240~6249	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵
6250~6259	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵
6260~6269	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵
6270~6279	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵	洵
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6280~6289	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
6290~6299	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
6301~6309	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
6310~6319	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
6320~6329	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
6330~6339	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
6340~6349	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
6350~6359	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
6360~6369	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
6370~6379	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
6380~6389	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
6390~6399	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
6401~6409	燧	燧	燧	燧	燧	燧	燧	燧	燧	燧
6410~6419	燧	燧	燧	燧	燧	燧	燧	燧	燧	燧
6420~6429	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂
6430~6439	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎
6440~6449	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗
6450~6459	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎
6460~6469	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏
6470~6479	琅	琅	琅	琅	琅	琅	琅	琅	琅	琅
6480~6489	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠
6490~6499	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠
6501~6509	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠
6510~6519	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷
6520~6529	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦
6530~6539	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎
6540~6549	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎
6550~6559	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝
6560~6569	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝
6570~6579	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋
6580~6589	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
6590~6599	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
6601~6609	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
6610~6619	皖	皖	皖	皖	皖	皖	皖	皖	皖	皖
6620~6629	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍
6630~6639	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
6640~6649	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
6650~6659	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞
6660~6669	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞
6670~6679	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞
6680~6689	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞
6690~6699	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾
6701~6709	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧
6710~6719	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧
6720~6729	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧
6730~6739	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧
6740~6749	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟
6750~6759	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢
6760~6769	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖
6770~6779	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊
6780~6789	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9



区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7810~7819	遞	逖	逖	逖	逖	逖	逖	逖	逖	逖
7820~7829	邊	邊	邨	邨	邨	邨	邨	邨	邨	邨
7830~7839	酏	酏	酏	酏	酏	酏	酏	酏	酏	酏
7840~7849	酥	酏	酏	酏	酏	酏	酏	酏	酏	酏
7850~7859	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪
7860~7869	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵
7870~7879	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕
7880~7889	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤
7890~7899	錠	錠	錠	錠	錠	錠	錠	錠	錠	錠
7901~7909	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙
7910~7919	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼
7920~7929	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
7930~7939	鑲	鑲	鑲	鑲	鑲	鑲	鑲	鑲	鑲	鑲
7940~7949	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
7950~7959	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
7960~7969	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏
7970~7979	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏
7980~7989	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關
7990~7999	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附
8001~8009	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝
8010~8019	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險
8020~8029	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚
8030~8039	霈	霈	霈	霈	霈	霈	霈	霈	霈	霈
8040~8049	霈	霈	霈	霈	霈	霈	霈	霈	霈	霈
8050~8059	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲
8060~8069	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋
8070~8079	鞣	鞣	鞣	鞣	鞣	鞣	鞣	鞣	鞣	鞣
8080~8089	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶
8090~8099	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏
8101~8109	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏
8110~8119	飶	飶	飶	飶	飶	飶	飶	飶	飶	飶
8120~8129	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞
8130~8139	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞
8140~8149	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
8150~8159	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟
8160~8169	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅
8170~8179	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢
8180~8189	懷	懷	懷	懷	懷	懷	懷	懷	懷	懷
8190~8199	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
8201~8209	鬢	鬢	鬢	鬢	鬢	鬢	鬢	鬢	鬢	鬢
8210~8219	鬢	鬢	鬢	鬢	鬢	鬢	鬢	鬢	鬢	鬢
8220~8229	魍	魍	魍	魍	魍	魍	魍	魍	魍	魍
8230~8239	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑
8240~8249	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑
8250~8259	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑
8260~8269	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑
8270~8279	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑
8280~8289	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑
8290~8299	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑
8301~8309	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
8310~8319	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8320~8329	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
8330~8339	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
8340~8349	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩
8350~8359	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩
8360~8369	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩
8370~8379	龜	龜	龜	龜	龜	龜	龜	龜	龜	龜
8380~8389	龜	龜	龜	龜	龜	龜	龜	龜	龜	龜
8390~8399	龜	龜	龜	龜	龜	龜	龜	龜	龜	龜
8401~8409	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯
8410~8419										
8420~8429										
8430~8439										
8440~8449										
8450~8459										
8460~8469										
8470~8479										
8480~8489										
8490~8499										

## その他

以下の132文字は本機特有の漢字です。  
文字上の数字はコードの下2桁を表します。

コード		
85	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 鴈 葛 祇 麩 鰯 鰯 鰯 鰯 鰯 鰯 鰯 鰯 鰯 鰯 鰯	
	16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 酸 崎 菜 濱 高 吉 構 昇 柳 榭 粥 抄 醬 麵 逸	
	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 謁 絲 橫 漬 禍 悔 海 湯 寬 漢 祈 器 虛 響 勤	
	46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 謹 薰 揭 黃 黑 穀 社 視 社 者 煮 臭 祝 暑 署	
	61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 緒 諸 祥 涉 狀 神 瀨 節 祖 巢 僧 層 增 僧 贈	
	76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 即 嘆 著 徵 懲 都 德 突 難 梅 繁 晚 卑 碑 賓	
	91 92 93 94 敏 侮 福 勉	
	86	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 步 墨 每 賴 欄 虜 綠 淚 類 曆 歷 練 練 郎 朗
		16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 廊 錄 綠 祐 禎 渚 才 迂 喰 倦 堵 撰 屏 瀆 齷
		31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 曹 詰 琦 瑋 曙 崑 蟬 清

# 記号一覧表









## !! 注意 !!

記号一覧表の記号と印刷される記号の結果が異なるものがあります。

分類	記号
記述	、。、。・。：；「」?!— — / \ ~ @ ~ _ § † ‡ 、 ∼ > < // 全々 / …… ※ *
省略	、 ∼ > < // 全々 / …… # No. & 〒 ㊞ © ® ㊞印 ㊞注 ㊞控 ㊞検 ㊞問 ㊞答 ㊞祝 ㊞休 ㊞祭 ㊞代 ㊞内 ㊞直 ㊞呼 ㊞株 K.K. (有) ㊞財 ㊞社 ㊞特 ㊞学 TEL FAX
カッコ	“ ” ( ) [ ] { } < > 《 》 「 」 『 』 【 】
矢印	→ ← ↑ ↓ ↘ ↙ ↗ ↖ → ← ↑ ↓ ↔ ↕
○△□☆	○ ● ◎ △ ▲ ▽ ▿ ◇ ◆ □ ■ ☆ ★ ◆ ◆ ♠ ♣ ♥ ♥ ♣ ♣
単位	% ‰ μ mm cm m km ft mile c㎡ m² a ha km² c㎡ m³ mg g kg t cc ml dl l kl mol ¥ (円) \$ € £ Fr ¢ A V Ω W kWhz dB HP Å @ ° ' " °C °F ct
算数	+ - ± × ÷ = ≠ < > ≤ ≥ ∞ ∴ ≡ ≐ √ ∞ ∧ ∫
数字	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳○ 一 二 三 四 五 六 七 八 九 I II III IV V VI VII VIII IX X i ii iii iv v vi vii viii ix X 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ¹ ² ³ ⁴ ⁵ ⁶ ⁷ ⁸ ⁹ ⁰ + - ½ ⅓ ⅔ ¼ ¾
2桁数字	00 ~ 99

分類	記号
公共表示	
環境	
荷物	
警告用	
仕事	
スポーツ	
遊び	
ビデオ	
音楽	
生き物	



分類	記号
乗り物	
食べ物	
予定	
暮らし	
シーズン	
家族	
干支	
星座	
ギリシャ	<p>Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω</p> <p>α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω</p>
欧州	<p>ä ë ì ö ü Ä È Ì Ò Ù á é í ó ú Á É Í Ó Ú à è ì ò</p> <p>ù À È Ì Ò Ù â ê î ô û Ä Ê Î Ô Û ñ Ñ ß Ç ç Œ œ ¿</p> <p>i</p>

分類	記号
案内記号	
編集	
季節風景	
お店	
学校	
建設	
病院	

分類	記号	
イラスト	POP	SALE 本特等 備前博 夜交 祝賀品 [夜交] 大好評 入荷比 露集中
	顔文字	(^^>(+_+)(・・:)(>_<)(T_T)(^o^)(m(_)_m(・_・)(^_^)(`´)
	お店	特売品 超特価 元々 初売品 在庫 直輸入 半額 母の日 感謝
		お祝い 感謝書 感謝状 清涼感 NEW 定休日 28 無罪案 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 10% 10%
	学校	登校日 入学式 卒業式 (着席) 運動会 体育祭 文化祭 運動会 入学式 入学式
		避難訓練 春休 夏休 冬休 多 部活動 委員会 給食当番 授業評価 目直 自読 卓学会 生徒会 遠足 社会見学
	建設	危険! 立入禁止 路上注意 足元注意 整理整頓 安全第 電圧降中 警備中 工事道 通行中
		加工中 電線工事 作業中 降音機 現場事務所 現場事務所 段差注意
	病院	外来 初診の方 再診の方 (休診) 入院 面会 受付 時間 新生児
		健康診断 問診 血圧測定 血液検査 聴力検査 視力検査 尿検査 入籍検査 健康保険 受付

# ローマ字変換表

あ	あ A	い I YI	う U WU	え E	お O
か	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ	さ SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
た	た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	は HA	ひ HI	ふ HU FU	へ HE	ほ HO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	や YA	い YI I	ゆ YU	いえ YE	よ YO
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	わ WA		う WU U		を WO
ん	ん N+(Y以外の子音) (例) N+N→ん N+P→んP				
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ざ ZA	じ ZI JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
きゃ	きゃ KYA	きい KYI	きゅ KYU	きえ KYE	きよ KYO
しゃ	しゃ SYA SHA	しい SYI	しゅ SYU SHU	しえ SYE SHE	しよ SYO SHO
ちゃ	ちゃ TYA CHA CYA	ちい TYI CYI	ちゅ TYU CHU CYU	ちえ TYE CHE CYE	ちよ TYO CHO CYO
てや	てや THA	てい THI	てゅ THU	てえ THE	てよ THO
にや	にや NYA	にい NYI	にゅ NYU	にえ NYE	によ NYO
ひや	ひや HYA	ひい HYI	ひゅ HYU	ひえ HYE	ひよ HYO
みや	みや MYA	みい MYI	みゅ MYU	みえ MYE	みよ MYO

りや	りや RYA	りい RYI	りゅ RYU	りえ RYE	りよ RYO
ぎゃ	ぎゃ GYA	ぎい GYI	ぎゅ GYU	ぎえ GYE	ぎよ GYO
じゃ	じゃ ZYA JA JYA	じい ZYI JI JYI	じゅ ZYU JU JYU	じえ ZYE JE JYE	じよ ZYO JO JYO
ぢゃ	ぢゃ DYA	ぢい DYI	ぢゅ DYU	ぢえ DYE	ぢよ DYO
びゃ	びゃ BYA	びい BYI	びゅ BYU	びえ BYE	びよ BYO
ぴゃ	ぴゃ PYA	ぴい PYI	ぴゅ PYU	ぴえ PYE	ぴよ PYO
つあ	つあ TSA	つい TSI		つえ TSE	つお TSO
でや	でや DHA	でい DHI	でゅ DHU	でえ DHE	でよ DHO
ふあ	ふあ FA	ふい FI FYI		ふえ FE FYE	ふお FO
ふゃ	ふゃ FYA	ふい FYI FI	ふゅ FYU	ふえ FYE FE	ふよ FYO
うあ	うあ VA	うい VI	うゅ VU	うえ VE	うお VO
あ	あ LA XA	い LI XI LYI XYI	う LU XU	え LE XE LYE XYE	お LO XO
か	か LKA XKA			け LKE XKE	
つ	つ LTU XTU 同一の子音+子音=つ+子音 (N以外有効)				
や	や LYA XYA		ゅ LYU XYU		よ LYO XYO
わ	わ LWA XWA				

# おもな仕様

## ■入力

入力装置	JIS配列準拠キーボード式（59鍵） 文字ボタン39、機能ボタン20
入力状態	ローマ字入力 かなめくり入力 ABC入力 小文字入力、小文字ロック（ABC入力時のみ）、記号入力、外字入力、コード変換入力（区点コード・JISコード・シフトJISコード）、部首読み入力、部首画数入力、ABC半角入力（QRコード時のみ）
漢字変換方式	ATOK for テブラ（予測入力、学習機能付き連文節変換） 搭載語句数 約119,000語（追加可能）

## ■表示

表示装置	ドットマトリクスSTN液晶パネル（バックライト付き）
文字表示	102dot×64dot（6chr×4line）
表示濃度	-5～ふつう～+5（11段階）
インジケータ	21個

## ■記憶

文章メモリー	約175文字
内蔵ファイル	可変長データ式（あて名・名前と共用） 約5,000文字/最大99ファイル（ファイル名を含む）
辞書登録	最大30件
外字登録	ビットマップフルライン自動拡大登録 フルライン（16・24・32・48ドット）×4文字
あて名登録	最大99件
名前登録	最大40件
印刷履歴	最大5件

## ■フォント

内蔵文字数	全8,221文字 漢字 JIS第1水準2,965文字 漢字 JIS第2水準3,390文字 漢字 その他132文字 ひらがな・カタカナ 英数字・記号・その他 ビットマップフォント
内蔵フォント	明朝体 : 漢字書体・かな書体・英数字書体 ゴシック体 : 漢字書体・かな書体・英数字書体 太ゴシック体 : 漢字書体・かな書体・英数字書体 行書体 : 漢字書体・かな書体・英数字書体 隷書体 : 漢字書体・かな書体・英数字書体 えれん体 : かな書体 ハッピー体 : かな書体 あしび体 : かな書体 てまり体 : かな書体 サンセリフHV体 : 英数字書体 クラレンドン・ローマン体 : 英数字書体 スクリプトBR体 : 英数字書体

スクリプトPL体 : 英数書体  
サンセリフST体 : 英数書体  
クロイスター・ブラック体 : 英数書体

## ■印刷

印刷方式 熱転写PRO印刷方式  
印刷濃度 -3~ふつう~+3(7段階)  
ヘッド構成 薄膜サーマルヘッド・128dot、180dpi  
テープ幅検出 Pテープ規格検出孔対応(7種検出)  
テープカートリッジ Pテープ規格ワнтаイム・テープカートリッジ、たるみ・逆転防止機構付、  
耐摩擦PRO印刷式、4・6・9・12・18・24・24\*mm幅  
カッター オートカッター

## ■印刷機能

文字構成 7段階49種(拡大印刷を含むと17段階121種)  
P字 16×16dot(6ポイント相当)  
S字 24×24dot(10ポイント相当)  
M字 32×32dot(13ポイント相当)  
L字 48×48dot(19ポイント相当)  
G字 64×64dot(26ポイント相当)  
U字 96×96dot(38ポイント相当)  
H字 120×120dot(48ポイント相当)  
30種(テンプレート式)  
4種  
デザインフォーム 99件 カスタマバーコード印刷機能付  
特殊フォーム 40件  
あて名印刷最大 でか<sup>2</sup>、鏡文字  
名前印刷最大 加算一方向(繰り返し回数指定可)、1桁連番、2桁連番  
特殊印刷 QRコード、JAN-13、JAN-8、UPC-A、UPC-E、NW-7、ITF(7種)  
連番機能  
バーコード

## ■電源、その他

主電源 AC100V(同梱ACアダプタAC1116J使用のこと)  
補助バッテリー 単3形アルカリ乾電池×6  
電源スイッチ ボタン式  
パワーオフ 操作終了後、約5分で電源を自動的にオフする(外字作成・修正中を除く)  
寸法 約100W×105D×104H(mm)  
重量 約550g(電池、テープカートリッジを除く)  
同梱品 試用PROテープカートリッジ(18mm幅)  
ACアダプタ(AC1116J)  
取扱説明書  
保証書  
別売品 PROテープカートリッジ  
ヘッド・クリーニングキット(RC15)  
ヘッド・クリーニングテープ(SR24C)  
トリマー(RT36W)  
ハーフカッター(RH24)  
ラベルラミネーター(RL18)

## ■使用条件

温度環境 動作時 5℃～35℃  
保存時 -10℃～55℃  
湿度環境 動作時 30%～80%(非結露)  
保存時 5%～80%(非結露)

# 索引

## 記号

■ (バーコードマーク) .....	117
┌ (全角スペース) .....	40
┐ (半角スペース) .....	40
☒ (印刷不可行頭マーク) .....	20、47
① ② (連番マーク) .....	114
Ⓢ (記号) .....	63
◀ (フルメモリーマーク) .....	20
▶ (文字モード指定マーク) .....	20、57
⏪ ⏩ (カーソルボタン) .....	19
① ② (空白行頭マーク) .....	20、47
① ② (実質行頭マーク) .....	20、47
Ⓢ (電源) .....	18

## 英数字

1桁 (連続番号) .....	113、114
2桁 (連続番号) .....	113、114
2桁数字 (記号) .....	53、136
2倍でか <sup>2</sup> .....	120、121
3倍でか <sup>3</sup> .....	120、121
4倍でか <sup>4</sup> .....	120、121
8mmビデオ (定長印刷) .....	61、68
8mmビデオ (フォーム) .....	76、77
A4ファイル (定長印刷) .....	61、68
A4ファイル (フォーム) .....	76、78
ABC入力 .....	34
ABC入力【半角】 (QRコード) .....	118
ACアダプタ .....	10、24
ACアダプタ差込み口 .....	16
ATOK変換画面 .....	33
ATOK予測入力画面 .....	32
B5ファイル (定長印刷) .....	61、68
B5ファイル (フォーム) .....	76、78
C/D (バーコード) .....	113、116
CDケース (定長印刷) .....	61、68
CDケース (フォーム) .....	76、77
DAT (フォーム) .....	76、78
FD・MO (定長印刷) .....	61、68
FD・MO (フォーム) .....	76、77
ITF (バーコード) .....	113、116
JAN-13 (バーコード) .....	113、116
JAN-8 (バーコード) .....	113、116
MD (定長印刷) .....	61、68
MD (フォーム) .....	76、78
NW-7 (バーコード) .....	113、116
POP .....	137、161
Print .....	18
QR携帯1 (フォーム) .....	76、81
QR携帯2 (フォーム) .....	76、81

QR携帯3 (フォーム) .....	76、82
QRコード (バーコード) .....	113、118
QR備品管理 (フォーム) .....	76、82
Shift .....	19
UPC-A (バーコード) .....	113、116
UPC-E (バーコード) .....	113、116
URL (QRコード) .....	113、118
VHS (定長印刷) .....	61、68
VHS (縦) (フォーム) .....	76、77
VHS (横) (フォーム) .....	76、77

## あ

あ-ア .....	19
アイロン転写テープ .....	139
アイロンラベル .....	139
あて名 .....	88、93
印刷 .....	96
修正 .....	95
消去 .....	95
登録 .....	94
複写 .....	96
あて名/名前/辞書 .....	93
後揃え (割付け) .....	61、70
網かけ (囲み・網) .....	61
誤り訂正率 (QRコード) .....	113、118
一般 (QRコード) .....	113、118
イラスト .....	41、137、161
印刷 .....	42
印刷イメージ .....	20
印刷情報 .....	20
印刷設定 .....	18、124
印刷濃度 (印刷設定) .....	124、126
印刷不可行頭マーク (☒ ☒) .....	20
印刷履歴 .....	88、92
消去 .....	92
呼出 .....	92
インジケーター .....	20
インデックスラベル .....	84、139
上カバー .....	16
上書き呼出 (ファイル) .....	90
英字 .....	39
英数字体 .....	60、64
エラーメッセージ .....	140
お祝い (フォーム) .....	76、80
オート・パワーオフ .....	28
オープンボタン .....	16
多め (余白) .....	60、65
送りカット (テープ送り) .....	29、138
おまかせフォーマット (文字サイズ) .....	62、71

お店 (記号)	137、160
お店 (外枠・表組)	59
終わり?	130
音楽テープ (定長印刷)	61、68
音楽テープ (フォーム)	76、78

## か

カーソル	20、45
~の位置 (機能)	55
カーソルジャンプ	19
カーソルボタン (◀▶▶▶)	19、45
改行	47
外字	104、137
参照修正	109
参照作成	109
修正	107
消去	108
登録	106
複写	108
呼出	107
改段落	19、49
回覧の捺印 (フォーム)	76、78
顔文字 (記号)	137、161
鏡文字印刷	120、123
角囲み (囲み・網)	61
角囲網 (囲み・網)	61
拡大印刷	120、121
確定文字	20
影文字 (飾り字)	60、67
囲み・網 (編集)	61、68、127
飾り字 (編集)	60、67、127
カスタマバーコード (あて名)	97
下線 (囲み・網)	61
カタカナ	35
学校 (記号)	137、160
学校 (外枠・表組)	59
学校持ち物 (フォーム)	76、80
カット (テープ送り)	138
かな書体	60、64
かな入力	34
画面	20
仮確定文字	33
環境設定	18、127
~メニュー一覧	127
漢字	32
漢字検索	19、110
~メニュー一覧	110
漢字書体	60、64
漢字変換表	149
 記号	18
記号	40
~一覧表	157
~メニュー一覧	136

季節風景 (記号)	137、160
機能の説明	
編集	55
行	47
鏡像	123
強調 (斜体・強調)	60、67
行頭マーク (1 2 · ☒ 1 2 · ☒)	20
極少 (余白)	60、65
禁止! (フォーム)	76、81
均等 (文字サイズ)	62、71
空白	40
空白行頭マーク (1 2)	20、47
区点コード	111、149
クリーニングテープ	146
繰り返し回数 (連続番号)	113、114
グレー文字ラベル	139
黒塗り (外字)	105
罫入力記号 (罫)	63
ケーブル (フォーム)	76、79
ケーブル表示ラベル	84
ケーブル用 (特殊フォーム)	76、84
建設 (記号)	137、160
建設 (外枠・表組)	59
候補 (ATOK変換画面)	33
コード検索 (漢字検索)	110
固定フック	17
細かく (伸・縮)	61、67
小文字ロック	19、39

## さ

サイズ (文字サイズ)	54、62、71
	19
削除	46
辞書	88、102
修正	103
消去	103
登録	102
呼び出す	102
実行行頭マーク (1 2)	20、47
指定範囲 (機能)	55
自動 (英数書体)	60
自動 (かな書体)	60
自動 (文字サイズ)	62
自動多め (余白)	60、65
自動カット	124
~しない	125
自動少なめ (余白)	60、65
地紋印刷 (編集)	61、70
斜強調 (斜体・強調)	60、67
斜体 (斜体・強調)	60、67
斜体・強調 (編集)	60、67
住所&氏名 (フォーム)	76、79



仕様	163
消去	19、46、50
～メニュー一覧	138
上質紙ラベル	139
初期化	131
初期設定値	129
初期値 (連続番号)	113、114
書体 (編集)	60、64、127
白抜き (飾り字)	60、67
白抜き影 (飾り字)	60、67
白塗り (外字)	105
伸・縮 (編集)	61、67
伸縮ラベル	139
少なめ (余白)	60、65
スペース	40
税込札帳 (フォーム)	76、80
正体 (斜体・強調)	60、67
狭い (文字間)	60、66
セルサイズ (QRコード)	113、118
全角スペース ( )	40
全体の幅 (バーコード)	113、116
<b>選択</b>	19
全文消去 (消去)	46、138
操作パネル	18
促音	36
外枠 (外枠・表組)	58、63
外枠・表組 (編集)	58、63、127

## た

濁音	36
たて書き (縦・横)	52、61、70
<b>縦横</b>	18、52
縦・横 (編集)	61、70
誕生祝い (フォーム)	76、80
段落	49
段落消去 (消去)	50、138
小さく (伸・縮)	61、67
チェックデジット (バーコード)	116
縮める (伸・縮)	61、67
注意! (フォーム)	76、81
つめ <sup>2</sup>	69
ディスプレイ	16、20
訂正線 (囲み・網)	61
定長印刷 (編集)	61、68、127
テープ送り	18、29、138
～メニュー一覧	138
テープカートリッジ	26、139
～をセットする	26
テープカートリッジケース	17
テープ通路	17
テープ出口	16
テープ幅	47、72

<b>でか</b>	18
でか <sup>2</sup>	120、121
テキスト画面	20
デザインフォーム	73
～見本	77
～メニュー一覧	76
デモ印刷	133
電源	
～を入れる	28
～を切る	44
転写テープ	139
電池	24
電池カバー	16
電池ボックス	16
同梱品	40
透明つや消しラベル	139
特殊印刷	18、120
～メニュー一覧	120
特殊フォーム	76
～見本	82
～メニュー一覧	76
トリマー	11

## な

長い文章	38
中挿え (割付け)	61、70
なし (囲み・網)	61
名前	88、99
印刷	101
修正	100
消去	100
登録	99
なまえ (縦) (フォーム)	76、79
なまえ (横) (フォーム)	76、79
<b>画</b>	19
入力文字一覧表	147
ネガ文字	20
熱収縮チューブ	139
伸ばす (伸・縮)	61、67

## は

バーコード	113、116
バーコードマーク (■)	117
バックライト	23、127
ハーフカッター	11
半角スペース ( )	40
反射ラベル	139
半濁音	36
ピッチ固定 (文字間)	60、66
ピッチ自動 (文字間)	60、66
備品管理票 (フォーム)	76、79
病院 (記号)	137、160

病院 (外枠・表組).....	59
描画エリア (外字).....	105
表組み (外枠・表組).....	58、63
表示濃度 (環境設定).....	23、127
表示の切り換え.....	22
ひらがな.....	35
広い (文字間).....	60、66
<b>ファイル</b> .....	18、88
ファイル.....	88、89
消去.....	91
登録.....	89
～メニュー一覧.....	88
呼出.....	90
ファイル/印刷履歴/あて名/名前/辞書 ～メニュー一覧.....	88
フォーム.....	73
～見本.....	77
フォーム/特殊フォーム.....	18
～メニュー一覧.....	76
フォルダー山 (フォーム).....	76、78
複数ラベル (特殊フォーム).....	76、85
部首画数 (漢字検索).....	110、112
部首読み (漢字検索).....	110、112
ふせん紙ラベル.....	139
ふつう (飾り字).....	60、67
ふつう (伸・縮).....	61、67
ふつう (文字間).....	60、66
ふつう (余白).....	60、65
ふりがな (名前).....	101
フルメモリーマーク (◀).....	20
<b>印刷</b> .....	18、22
プレビュー.....	18、41
文章 ～を消去する.....	46
～をファイルする.....	89
ヘッド・クリーニングキット.....	11、145
ヘッド・クリーニングテープ.....	11、146
別売品.....	11
<b>変換</b> .....	19
変換.....	35
変換候補一覧 (ATOK変換画面).....	33
変換候補数 (ATOK変換画面).....	33
変換候補番号 (ATOK変換画面).....	33
変換対象 (ATOK変換画面).....	33
編集.....	55
～メニュー一覧.....	58
編集 (記号).....	137、160
細・太の比率 (バーコード).....	113、116
保存値.....	127、129
保存値設定 (環境設定).....	127、130
保存値復元 (環境設定).....	127、130

## ま

前揃え (割付け).....	61、70
マグネットテープ.....	139
丸囲み (囲み・網).....	61
丸囲網 (囲み・網).....	61
みえ <sup>2</sup> .....	22
見出し (縦) (特殊フォーム).....	76、83
見出し (横) (特殊フォーム).....	76、83
密着 (文字間).....	60、66
ミニDV (定長印刷).....	61、68
ミニDV (フォーム).....	76、78
無変換.....	35
銘板 (フォーム).....	76、80
メッセージ (フォーム).....	76、81
メニュー一覧.....	58、136
印刷設定.....	124
環境設定.....	127
漢字検索.....	110
記号.....	136
消去.....	138
テープ送り.....	138
特殊印刷.....	120
ファイル.....	88
ファイル/印刷履歴/あて名/名前/辞書.....	88
フォーム/特殊フォーム.....	76
編集.....	58
連番・バーコード.....	113

## 文字

～を削除する.....	46
～を挿入する.....	46
～を入力する.....	35、45
文字間 (編集).....	60、66、127
<b>文字サイズ</b> .....	18、54
文字サイズ (編集).....	62、71、127
～を変更する.....	54
文字入力.....	32
文字変換.....	19
文字ボタン.....	19
文字モード指定マーク (▶).....	20、57

## や

夜光ラベル.....	139
有効範囲.....	56
有効範囲は？ 編集.....	56
拗音.....	36
用途 (QRコード).....	113、118
よこ書き (縦・横).....	52、61、70
予測.....	32
予測候補数 (ATOK予測入力画面).....	32
予測候補番号 (ATOK予測入力画面).....	32

予測入力 .....	32、37
予測入力候補一覧 ( ATOK予測入力画面) .....	32
余白 (編集) .....	60、65、127
読みの長さ .....	38

## ら

らく <sup>2</sup> (文字サイズ) .....	62、71
リセット (印刷設定) .....	124、126
連結呼出 (ファイル) .....	90
連続番号 .....	113、114
連番 .....	18、113、114
連番・バーコード .....	18、113
～メニュー一覧 .....	113
連番マーク (1 <sup>1</sup> 2 <sup>2</sup> N) .....	114
ローマ字入力 .....	34
ローマ字変換表 .....	162

## わ

割付け (編集) .....	61、70、127
割付け (割付け) .....	61、70





# アフターサービスについて

## ■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

## ■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中のACアダプタ・テープカートリッジなど一式と保証書をお買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店までお持ちください。

なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。また、修理のとき一部代替部品を使わせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

## ■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル(全国共通)

ネットクのパートナー

お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

携帯電話・PHSをご使用の場合は、以下をご利用ください。

お客様相談室

東京 TEL 03-3864-1234

名古屋 TEL 052-935-4038

大阪 TEL 06-6263-1654

福岡 TEL 092-413-3977

受付時間：平日（月曜日～金曜日） 午前9時～午後5時30分

## ■最新情報については

「テブラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>

## ■別売品のお求めでお困りのときは

取扱説明書、カートリッジなど別売品のご購入に際し、どこで、どの様にして購入したら良いかお困りのときは、お買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店、または下記へお問い合わせください。

株式会社キングジム 〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目10番18号

札幌 TEL 011-811-0593

名古屋 TEL 052-935-4038

仙台 TEL 022-236-4110

大阪 TEL 06-6263-1654

さいたま TEL 048-651-0198

広島 TEL 082-291-8458

本社 TEL 03-3864-1234

福岡 TEL 092-413-3977

横浜 TEL 045-212-3280

株式会社キングビジネスサポート

TEL 03-3864-5646 FAX 03-3864-5647

172

付録

---

「テブラ」PRO SR600 取扱説明書

2008年 6月 第1版

**株式会社キングジム**

〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目10番18号

# SR600

## 取扱説明書



### ・お問い合わせ

フリーダイヤル(全国共通) ナットクのパートナー  
**お客様相談室 ☎ 0120-79-8107**

受付時間：平日(月曜日～金曜日)午前9時～午後5時30分

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>